

令和6年度(2024 年度)

# 地域運営学校 活動事例集



八王子市教育委員会

## 目次

### ◆掲載校一覧

|          |    |             |    |
|----------|----|-------------|----|
| 第一小学校    | 1  | 式分方小学校      | 29 |
| 第二小学校    | 2  | 横川小学校・横川中学校 | 30 |
| 第三小学校    | 3  | 恩方第一小学校     | 31 |
| 第四小学校    | 4  | 恩方第二小学校     | 32 |
| 第五小学校    | 5  | 元木小学校       | 33 |
| 第七小学校    | 6  | 川口小学校       | 34 |
| 第八小学校    | 7  | 陶鎔小学校       | 35 |
| 第九小学校    | 8  | 上川口小学校      | 36 |
| 第十小学校    | 9  | 美山小学校       | 37 |
| 中野北小学校   | 10 | 檜原小学校       | 38 |
| 清水小学校    | 11 | 松枝小学校       | 39 |
| 大和田小学校   | 12 | 加住小中学校      | 40 |
| 小宮小学校    | 13 | 由井第一小学校     | 41 |
| 高倉小学校    | 14 | 由井第二小学校     | 42 |
| 宇津木台小学校  | 15 | 由井第三小学校     | 43 |
| 横山第一小学校  | 16 | 長沼小学校       | 44 |
| 横山第二小学校  | 17 | 片倉台小学校      | 45 |
| 散田小学校    | 18 | 高嶺小学校       | 46 |
| 長房小学校    | 19 | みなみ野小中学校    | 47 |
| 船田小学校    | 20 | みなみ野君田小学校   | 48 |
| 館小中学校    | 21 | 七国小学校・七国中学校 | 49 |
| 山田小学校    | 22 | 浅川小学校       | 50 |
| 櫛田小学校    | 23 | 東浅川小学校      | 51 |
| 緑が丘小学校   | 24 | 由木中央小学校     | 52 |
| 元八王子小学校  | 25 | 由木東小学校      | 53 |
| 元八王子東小学校 | 26 | 由木西小学校      | 54 |
| 上壺分方小学校  | 27 | 鹿島小学校       | 55 |
| 城山小学校    | 28 | 松が谷小学校      | 56 |

◆掲載校一覧

|          |    |             |     |
|----------|----|-------------|-----|
| 中山小学校    | 57 | 恩方中学校       | 85  |
| 柏木小学校    | 58 | 川口中学校       | 86  |
| 南大沢小学校   | 59 | 檜原中学校       | 87  |
| 宮上小学校    | 60 | 由井中学校       | 88  |
| 秋葉台小学校   | 61 | 打越中学校       | 89  |
| 別所小学校    | 62 | 浅川中学校       | 90  |
| 愛宕小学校    | 63 | 陵南中学校       | 91  |
| 松木小学校    | 64 | 由木中学校       | 92  |
| 下柚木小学校   | 65 | 松が谷中学校      | 93  |
| 上柚木小学校   | 66 | 中山中学校       | 94  |
| 長池小学校    | 67 | 南大沢中学校      | 95  |
| 鍵水小学校    | 68 | 宮上中学校       | 96  |
| 高尾山学園    | 69 | 別所中学校       | 97  |
| 第一中学校    | 70 | 上柚木中学校      | 98  |
| 第二中学校    | 71 | 松木中学校       | 99  |
| 第四中学校    | 72 | 鍵水中学校       | 100 |
| 第五中学校    | 73 | いずみの森義務教育学校 | 101 |
| 第六中学校    | 74 |             |     |
| 第七中学校    | 75 |             |     |
| ひよどり山中学校 | 76 |             |     |
| 甲ノ原中学校   | 77 |             |     |
| 石川中学校    | 78 |             |     |
| 横山中学校    | 79 |             |     |
| 長房中学校    | 80 |             |     |
| 梶田中学校    | 81 |             |     |
| 元八王子中学校  | 82 |             |     |
| 四谷中学校    | 83 |             |     |
| 城山中学校    | 84 |             |     |

学校運営協議会設置年数一覧

| 設置年度      | 設置校数 | 設置校                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 19年度      | 3校   | 東浅川小学校<br>第六中学校、宮上中学校                                                                                                                                                                                                                       |
| 20年度      | 4校   | 陶鎔小学校、浅川小学校<br>元八王子中学校、城山中学校                                                                                                                                                                                                                |
| 21年度      | 6校   | 梶田小学校、中山小学校、宮上小学校、下柚木小学校<br>第一中学校、陵南中学校                                                                                                                                                                                                     |
| 22年度      | 8校   | 第七小学校、館小学校、加住小学校、愛宕小学校<br>館中学校、加住中学校、浅川中学校、松木中学校                                                                                                                                                                                            |
| 23年度      | 6校   | 長房小学校、柏木小学校、南大沢小学校、松木小学校、長池小学校<br>南大沢中学校                                                                                                                                                                                                    |
| 24年度      | 4校   | 横山第一小学校、上川口小学校<br>恩方中学校、由木中学校                                                                                                                                                                                                               |
| 25年度      | 6校   | 第二小学校、高倉小学校、高嶺小学校<br>ひよどり山中学校、由井中学校、中山中学校                                                                                                                                                                                                   |
| 26年度      | 7校   | 第五小学校、清水小学校、宇津木台小学校、式分方小学校、<br>由井第三小学校<br>横山中学校、川口中学校                                                                                                                                                                                       |
| 27年度      | 6校   | 緑が丘小学校、長沼小学校、由木西小学校、高尾山学園(小学部)<br>梶田中学校、高尾山学園(中学部)                                                                                                                                                                                          |
| 28年度      | 6校   | 第四小学校、第九小学校、中野北小学校、小宮小学校、<br>散田小学校、山田小学校                                                                                                                                                                                                    |
| 29年度      | 30校  | 第一小学校、大和田小学校、横山第二小学校、<br>元八王子小学校、元八王子東小学校、上壱分方小学校、城山小学校、<br>横川小学校、恩方第一小学校、恩方第二小学校、元木小学校、<br>檜原小学校、由井第二小学校、片倉台小学校、由木中央小学校、<br>由木東小学校、鹿島小学校、松が谷小学校、上柚木小学校、<br>鍵水小学校<br>第五中学校、第七中学校、甲ノ原中学校、石川中学校、<br>長房中学校、横川中学校、打越中学校、松が谷中学校、<br>上柚木中学校、鍵水中学校 |
| 30年度      | 12校  | 第三小学校、第十小学校、松枝小学校、由井第一小学校、<br>みなみ野小学校、みなみ野君田小学校、秋葉台小学校、別所小学校<br>第二中学校、第四中学校、檜原中学校、みなみ野中学校                                                                                                                                                   |
| 31年度(元年度) | 8校   | 第八小学校、船田小学校、川口小学校、美山小学校、七国小学校<br>四谷中学校、七国中学校、別所中学校                                                                                                                                                                                          |
| 2年度       | 1校   | いずみの森義務教育学校(※)                                                                                                                                                                                                                              |
| 合計        | 107校 |                                                                                                                                                                                                                                             |

※学校運営協議会の設置は、いずみの森小中学校であった平成29年度。義務教育学校化に伴い、令和2年度に名称変更。

## 令和6年度の運営目標

## 運営体制

### ○学校運営に係る協議

学校・家庭・地域の協力関係を深め、連携を強化することで、地域に開かれた信頼される学校づくりをめざす。

### ○教育活動に係る支援

学校運営協議会の授業参観、学校行事への参加、広報活動を通して、学校・家庭・地域の連携を図り、児童の健全育成を行う。

### 地域学校協働活動

- |         |                                             |
|---------|---------------------------------------------|
| ① 学習支援  | 放課後学習支援<br>漢字検定<br>図書ボランティア等<br>ゲストティーチャー紹介 |
| ② 広報    | 学運協だより<br>広報誌<br>学校 HP 等                    |
| ③ 保護者支援 | 交流会及び啓発活動                                   |
| ④ 地域協力  | 防災訓練等                                       |

### 第一小学校

### 学校運営協議会

## 令和6年度の特徴ある取組

### ○放課後学習支援「るり丸教室」

学習習慣の定着、基礎学力の向上を目指して、令和5年度から全校児童対象に学習支援教室「るり丸教室※」を開催している。今年度から放課後子ども教室と共催になり、指導補助として、ボランティア（学生、シルバー、地域）が毎回1～4名参加して活動を支えている。児童は、宿題に取り組んだり、用意したプリント（3分間計算チャレンジ、漢検対策プリント等）に取り組んだり、読書をしたりと自分のペースで学習を進めている。また、ボランティアとの交流も楽しいひと時となっている。

令和6年度は、週2回（水・木曜日）開催した。令和7年度は週3回（月・火・木曜日）に増やし、更に充実を図っていく。

### ○将棋教室

将棋のもつ精神文化「勝った喜び」「負けた悔しさ」、「礼節マナーなどを通して相手を思いやる心」を学ぶことを目的にして、伝統文化としての将棋を体験する機会を設けた。講師として、日本将棋連盟から棋士2名が来てくださった。初めて将棋に触れる児童もいれば、将棋が好きな児童、得意な児童と様々な児童が参加したが、児童の実態に合わせて指導してくださった。将棋の歴史や駒の動かし方、世界の国々の将棋の紹介、簡単にできる将棋、プロ棋士との対局等について、映像や実物の提示、クイズを交えるなど児童の興味・関心を高める工夫をしながら将棋について教えてくださった。参加した40名の児童は、興味津々に話を聞いた。対局をしたりと、将棋の世界を楽しんでいた。

### ○漢字検定

準会場として年に1回検定を行っており、令和6年度は2月に実施した。保護者ボランティアの協力も得ながら運営している。今年度は約150名ものの児童が受検した。受検前には「るり丸教室」で漢検のプリントに熱心に取り組んでいる児童の姿が見られた。合格率は92%と高く、満点合格の児童も約20名いた。児童の学習の励みとなっている。来年度も引き続き多くの児童が受検、合格できるよう支援していく。



※教室の名前の「るり丸」とは、開校150周年記念にちなんで児童が作ったキャラクターであり、市の鳥「おおるり」がモチーフとなっている。





## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

- ・義務教育学校開校に向けた小中学校運営協議会の連携(継続・強化)。
- ・学校運営協議会を年10回開催。開会前は授業参観実施(継続・強化)。
- ・研究指定校としての取組。小中合同研究日参観、小中一貫教育の日(研究授業)参観等、児童・教員等の顔を知る。
- ・学校運営協議会の企画事業への参加。学力の向上、体力の向上、地域とのかかわりを深める(継続・強化)。

### ○教育活動に係る支援

- ・学校運営協議会と連携した漢字検定への参加(継続・強化)
- ・地域住民や保護者への積極的な情報提供(継続・強化)
- ・児童の「学力の向上」「体力の向上」「地域行事への活動」への取組(継続・強化)

## ■運営体制

### 学校運営協議会の取り組み



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ＜地域の力を生かした学校づくりの推進＞

#### ○本校の教育活動のさらなる充実・推進

- ・地域の参画による学校運営を推進し、地域の幅広いネットワークを活かした教育活動を推進した。
- ・教育課程の適正実施・基礎基本を重視した指導方法・更なる充実を目指した学校行事の精選・児童の安全を最優先にした学校施設の検討等について意見交換を実施した。



織物組合見学

#### ○第二小学校がある町を知り地域の方々との交流を通して地域を愛する心を育てる活動

- ・日光ウォッチング
- ・織物組合・商店街見学、地域探検
- ・琴体験
- ・学校地域合同防災訓練



お琴体験



学校地域合同防災訓練

#### ○地域の力を高める学校づくり

地域(12町会)、八王子市(防災課・学校施設課)、八王子消防署・消防団、第四中学校、光明第一保育園等と連携した学校地域合同防災訓練実施。

#### ○義務教育学校開校に向けて

- ・令和9年度義務教育学校開校予定  
令和6年度 市研究指定校  
(「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童・生徒の育成」  
義務教育学校9年間の系統的・継続的な学習指導の充実を通して)

#### ○第二小学校がある町を知り地域の方々との交流を通して地域を愛する心を育てる学習

- ➡ 地域が誇れる学校。地域の学校としての誇り
- ➡ 八王子まつりへの参加

#### ○基礎的・基本的学力の習熟

児童一人一人に確かな学力定着を目的に、学校運営協議会委員・地域住民と教員が協力し、全学年を対象とした個別・補習学習を実施した。



地域ボランティア・九九検定



八王子まつり。町会の一員として、子どもたちはお囃子や踊り等に参加。

#### ＜協議会での主な協議事項＞

- ・学校経営計画・教育課程届。学校運営協議会運営目標・予算
- ・各種アンケート集計・分析  
(学校公開・運動会・展覧会・道徳授業地区公開講座)
- ・学校評価アンケート集計・分析(前・後期)
- ・義務教育学校開校に向けた取組・小中一貫教育(研究指定校)
- ・漢字検定の実施
- ・児童・学校生活等の情報提供・共有(学校サポートチーム等)

## 令和6年度の運営目標

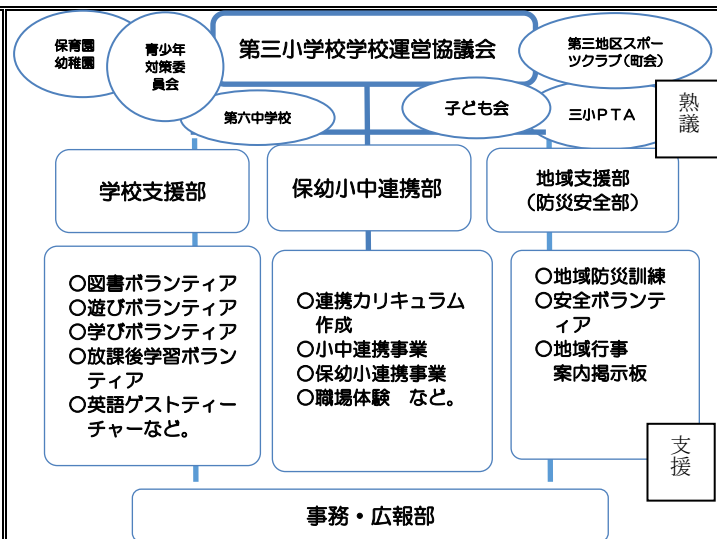
### ○学校運営に係る協議

- ・第六中学校の学校運営協議会とも連携し、小中一貫の視点を踏まえ、家庭・地域・社会が連携した学校づくりを推進していく。
- ・学校運営協議会の運営に関する地域への広報としての「コミュニティーカレンダー」の作成とともに、継続的な作成の仕組みを整える。

### ○教育活動に係る支援

- ・いじめ防止、不登校対応についての情報共有と、第六中学校、地域との連携の強化を図る。
- ・第六中学校との総合避難訓練の合同実施。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○いじめの早期発見や防止、確実な対応に向けた協議

学校運営協議会では、子どもたちが安心して過ごせる学校づくり、子どもたちの居場所づくりを目指し、令和6年度は、年間8回の学校運営協議会を開催し、そのうち1回は、第六中学校との小中合同学校運営協議会を行った。

協議会では、学校いじめ対策委員会の報告をもとに、支援部と連携し子どもたちの見守り体制の協議を重ねた。

### ○こっこや(子どもの居場所づくりの取組)

平成30年度から毎週、『C o c c o』の皆さんに憩いの部屋や廊下で「こっこや」を開催していただいている。『C o c c o』とは、第三小学校を卒業した児童の保護者で組織されており、こっこやの目的は、「いつでも話ができる大人が学校にいる」という環境を整えていくことであり、学年にあった遊べる用具を用意していただいている。

令和6年度は、1年間で37回実施することができた。毎週のこっこやの活動後は、その日の様子を『C o c c o』と学校が共有している。担任では分からない児童の様子やつぶやきを知ることができ、児童の理解にもつながっている。

### ○学校・地域・保護者をつなぐコミュニティーカレンダー

第六中学校と第三小学校と地域の情報をまとめたコミュニティーカレンダーを作成した。第六中学校と第三小学校が多く地域の皆様に支えられていることを再確認し、その尊い伝統と「子ども達のために」という思いが、これからも末永く次世代につながっていくことを願い作成したものである。令和6年度は、本校のパソコンクラブの児童が作成に関わることができた。

第三小学校は、地域・保護者の皆様との活動を通して、子どもたちの笑顔があふれる地域運営学校として、これからも地域と手をつなぎ、地域の大人がそばにるのが当たり前活動をさらに広げていきます。





## 令和6年度の運営目標

## 運営体制

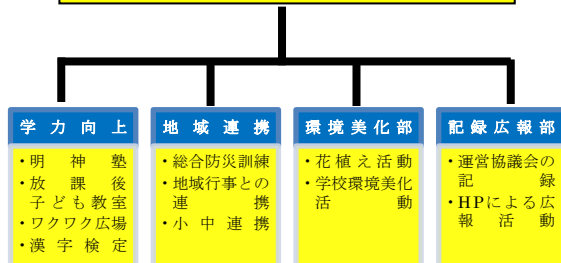
### ○学校運営に係る協議

「学力向上」「地域連携」「環境美化」「記録・広報」の4つの分科会を柱とし、未来を担う子どもたちの健やかな育成のために、学校・保護者・地域・関係機関が一体となって学校支援活動を行い、社会に開かれた学校教育を行う。

### ○教育活動に係る支援

学校の教育目標である「すすんで学びよく考える子・心豊かでみんなのためにはたらく子・健康でいのちを大切にする子」を、学校運営協議会が中心になって、学校・保護者・地域の連携と協働で達成していく。

### 第四小学校学校運営協議会



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会の開催

学校運営協議会を月1回開催し、協議事項について話し合う重要な場とした。学校運営や児童の状況について様々な視点から意見を共有することで、より良い学校環境を築くことにつながった。学校全体の教育方針や具体的な取り組みについての理解が深まり、地域との連携が一層強化された。

### ○総合防災訓練

9月に地域の消防署と協力して総合防災訓練を実施した。児童が煙体験や消火体験・起震車体験に参加し、実際の防災活動を体験することで、自助・共助の重要性を学び、防災意識を高めることができた。今年度より地域の防災訓練も実施され、地域連携が深まった。

### ○放課後子ども教室の充実

放課後子ども教室では、外遊びの見守りや学習支援を行い、多くの児童が参加する充実した取組となった。家庭での学習を補完するなど、学びの場を確保することができた。また、事故やけがの対応を円滑に行うために、ノートの交換を実施し、迅速な情報共有を図ることができた。児童が安心して遊んだり学んだりする環境を整えている。



### ○学力向上の取組

漢字検定の実施を通じて児童の学力向上を図る取組を強化した。事前に練習問題を配布するなど呼びかけを強化し、100名以上の児童が受験した。教職員の担当と連携して、準備や支援を行うことで、円滑な運営を実現した。

### ○ワクワク広場の定期開催

ワクワク広場を定期的に計画し、地域や保護者と連携した子どもの居場所を提供する取組を行った。折り紙教室やけん玉講座など多彩な活動を通じて、児童が楽しみながら、体験を通じて児童同士のコミュニケーションを図るなど、児童の成長を支援した。



### ○地域の花植え活動

花植え活動では、委員会活動や高学年の地域学習と連動して、なかよし公園や学校の周囲に花植えと水やりを行った。環境づくりと一緒に協力して行うことで、地域への愛着を深めている。

### ○児童の見守りと学習支援

学校運営協議会や学校公開のときに、学校の見守りや児童の支援を行い、教職員と情報共有を行うことで安心した学校活動を支えている。



### ■令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

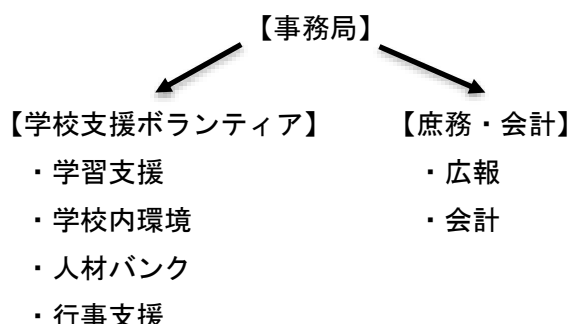
地域と連携しながら、子どもたちの健全育成を図るために、学校運営協議会の組織化と事務局体制の確立を進める。

#### ○教育活動に係る支援

教育活動が充実したものとなるよう、地域の人材を活用する。

### ■運営体制

#### 第五小学校学校運営協議会



### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○学校運営協議会での協議等

学校運営協議会を毎月（8月除く）の初めに開催しており、令和6年度は11回実施した。

学校運営協議会では、「放課後補習教室（スマイル教室）」「漢字検定」「放課後子ども教室」「校内クリーン活動」「地域合同防災訓練」等について協議を進めた。

令和7年度に本校は開校90周年を迎えるため、令和6年度は、実行委員会立ち上げのための準備委員会を発足し、学校運営協議会後に引き続き協議を行った。

#### ○放課後子ども教室

本校の放課後子ども教室は、土日を除くほぼ毎日実施されており、多くの児童が参加していて、放課後の子供たちの居場所となっている。

また、70名を超す地域の方が安全管理員として登録してくださり運営している。

定期的に土曜日にサタデースクールが開催され、万華鏡づくりや空気砲づくり等、子どもたちにとって楽しいイベントが行われた。



#### ○放課後補習教室（スマイル教室）

令和5年度は3・4年生対象のみの実施であったが、令和6年度は毎週木曜日に隔週で、5・6年生対象の放課後補習教室を開催した。内容は、計算力の向上を目指して、かけ算九九の習得を中心に行った。また運営は、学校運営協議会委員で担当を分担し、地域の方と共に見守りを行った。

#### ○漢字検定

P T A の協力を得て、年間2回の漢字検定を実施した。1回目55名、2回目77名の児童が受検した。

## 令和6年度の運営目標

## 運営体制

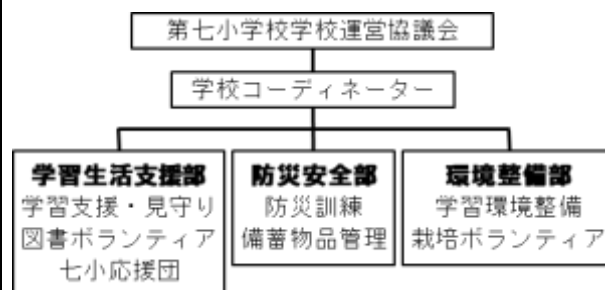
### ○学校運営に係る協議

地域の将来を担う子どもたちに「生きる力」を身に付けさせることを目的とし、学校目標及び学校経営計画について、様々な角度からの意見を述べ、教育活動や地域連携に関する取組につなげる。

### ○教育活動に係る協議

・学習環境の整備を行い、児童の学力向上を図る取組を充実させる。(放課後算数教室や漢字検定等を実施し、児童の学力定着や学習意欲の向上を図る。地域の方々と協力した清掃活動を行う。)

・学校運営の充実を図るために、外部講師を招いた活動を取り入れ、教育活動の充実を図る。



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営の充実に向けた協議

学校運営協議会では、児童に「生きる力」を身に付けさせるために、学校経営計画や本校の教育活動について、様々な角度から協議し意見を述べた。

年に1回、教職員と直接話し合う懇談会を設定し、学校運営協議会員と教職員が話し合いを行った。この話し合いを通じて、学校の強みや改善点について情報を共有し、さらなる学校運営の充実にむけた協議を行った。

### ○放課後算数教室の取組

児童の学力や学習意欲の向上を目指し、令和6年6月から月に2回、学習支援ボランティアの方を中心に、算数教室を開催した。

学校から提供された個々の児童の課題を分析し、児童一人ひとりに合わせた教材を作成して、短時間に集中して行った。

はじめは渋っていた児童も、回を重ねるたびにできた実感や達成感を味わい、意欲的に取り組めるようになってきた。

### ○学校・保護者・地域が連携した清掃活動

学校の教育活動の中に清掃活動はあるが、児童と教員に限られた時間の中で行うため、清掃できる箇所には限りがある。児童が清潔で安全に学習できる環境をより整えるために、学校運営協議会が中心となり、学校、保護者、地域が一体となって清掃できる機会を設定した。

一緒に活動を行う中で、学校、保護者、地域のつながりを深めることができ、学校に対する愛情もさらに持つことができる機会となった。



## ■令和6年度の運営目標

## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

教育課程に記された学校目標・校長の学校経営方針を受けて、児童・保護者・地域にとって有意義な教育活動が行えるよう各委員の立場から自由に意見を出し合い、協議し、実効性のある方策を立てて実施して学校をより良くしていく。

### ○教育活動に係る支援

学校の課題である学力向上に資するために、学習内容の補完をする放課後補習教室の運営、放課後の居場所づくりのための「さくらっ子広場」の運営サポートをしながら、学校の教育活動をさらに充実したものにしていく。

### 構成委員

- 八小ボランティアの会（保護者の会）
- 民生児童委員   ○学校コーディネーター
- 主任児童委員   ○学校サポーター
- 町会関係者   ○学童保育所長
- 学識経験者   ○校長

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議

- ・それぞれの立場や視点をもとに忌憚なく協議し、よりよい学校運営に取り組んでいる。
- ・さくらサロン（保護者同士、保護者と地域との関係を深める場として、学校公開時に学校運営協議会委員が運営）の開催により、保護者同士、保護者と教員、学童職員、関係機関との繋がりを持つことができた。保護者にもすっかり定着してきており、遊戯室も開放し幼児連れで学校公開に参加する保護者の数が急増した。参加した保護者の中には、学校運営協議会に興味をもつ方も見られた。
- ・令和6年度は、放課後子ども教室の運営を社会福祉協議会へ移行する仲介役を行った。
- ・ボランティアの会の運営に対するアドバイスを行い、夏季休業中に花火大会を開催することができた。
- ・学校運営協議会委員と教職員の懇談の場を設け、教職員の率直な意見を聞いて、学校改善のための学校運営協議会の役割を考えるきっかけになった。



### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組

- ・放課後補習教室「わくわくスタディ」を年間30回、夏季休業中の学習場所「わくわくワーク」を4回実施した。地域のボランティアだけでなく、近隣校中学生に学習ボランティアとして参加してもらうため、曜日を変更して行った。参加したボランティアの中学生の自己有用感が高まり、小中一貫教育の一助ともなった。
- ・放課後の居場所「さくらっ子広場」の運営に協力し、児童の主体性を育んだ。異学年との交流により、相乗効果を生むことができた。
- ・漢字検定を平日開催した。休日開催とのメリットの比較ができ、令和7年度も平日に開催する。





## ■令和6年度の運営目標

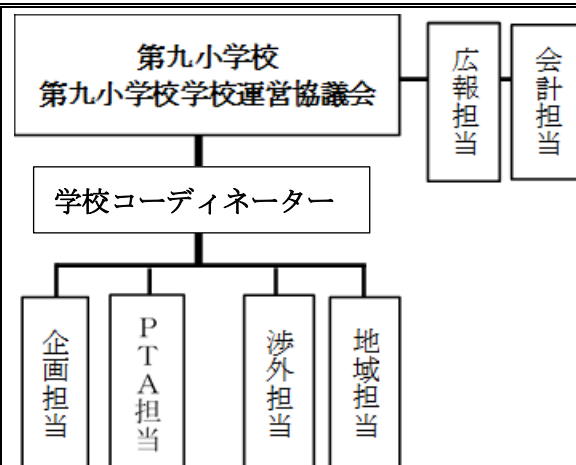
### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営協議会・地域・PTAと連携し、学校行事の実施方法を協議し、推進していく。
- ・今年度から校内別室指導がスタートするため、児童にとって安心の場になるよう、協議していく。

### ○教育活動に係る支援

地域の教育力を活用し、児童の学習の基礎・基本の定着を目標にして学力向上を図る。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

学校運営協議会では、教育活動についての協議や学校・児童の現状及び放課後子ども教室や地域での子どもたちの様子について情報共有している。

令和6年度は、主に本校の大きな課題「登校支援」を中心に学校・家庭・地域の連携について協議した。

不登校児童の状況報告の他、校内別室支援教室「けやきゅうの部屋」の様子を学校コーディネーターから伝え、学校運営協議会として何ができるかについて協議した。学校運営協議会で協議をした成果で、民生委員の方に支援員をしてもらったり、地域の方の協力で農園をししたりし、子どもたちの活動が充実した。

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### ・音読だいく

教員のおすすめの詩を集めた冊子「音読だいく」を全児童に配布し、詩に親しみ、声を出して音読する活動を、学力向上の取組の一つとして学校運営協議会と連携して実施した。

子どもたちにとって、教員だけでなく、委員の方々などたくさんの大人に音読を聞いてもらえることが励みになり、すすんで取り組む子どもが増えている。また、地域の方々に子どもたちの頑張りを見てもらうよい機会となっている。

令和6年度も多くの保護者、地域の方に聞いてもらうことができた。

今後も継続して行っていく。



#### ・わいがや

子育ての不安や困りごとを自由に語り合う「わいがや」を令和6年度も開催した。学校運営協議会の委員も参加し、保護者の方の不安や悩みを聞いたりアドバイスや体験談を話したり、わいわいがやが楽しい時間となった。今年度は道徳授業地区公開講座の意見交換会と「わいがや」をタイアップし、講演会と保護者同士の協議会を行った。参加した保護者からは悩みを相談できてよかったなど好評であった。



#### ・漢字検定

夏季休業中、保護者の有志と学校運営協議会主催で漢字検定を実施した。多くの子どもたちが申し込み、受検した。参加した子どもたちは学校でも空いた時間に進んで漢字練習を行うなど、当日に向けて努力していた。漢字の定着とともに主体的に学ぶ姿が見られた。今後も継続して行う予定である。

## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

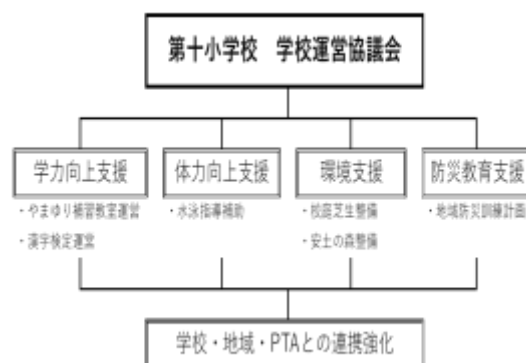
第十小学校の学校経営計画が具現化するように、地域や保護者と共に教育活動や学校運営に参画できる方策を協議する。

また、最大の教育環境は教職員であることから、CS 公募制度を活用した十小への応募者をあらゆる機会を捉えて募る。

### ○教育活動に係る支援

学力向上のために、漢字検定を実施し、児童が知的活動の基盤である言語の獲得への意欲と機会を提供する。水泳指導、校外活動に係る人的支援ができるよう、地域や保護者に働きかけをする。また、学校行事への中学生サポーターを募集する役割を担う。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

- ・「教員不足や問題解決のための対応」、「人事や学級編成、教育活動の在り方」、「持続可能な教育活動が実現できる学校経営」について熟議した。
- ・学力向上の取り組みとして「放課後補習教室」の再開に向けて協議を行った。
- ・学力向上の取り組みとして「漢字検定」の実施に向けて協議を行った。
- ・運動会の午前中開催、6年生の宿泊行事の宿泊日数について協議を行った

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### ・学力向上支援

本校を準会場として1月下旬に漢字検定を実施し、200件を超える受検があった。今後の検討課題としては、小中一貫校として連携しているひよどり山中学校と検定の実施等についての情報・行動連携をすすめることである。

#### ・体力向上支援

水泳指導における安全配慮の充実のため、2学級単位の指導に、安全管理員として1名を配置しており、学校コーディネーター（学校運営協議会委員）がその配置運営を行った。

#### ・環境支援

安土の森の充実のため、町会長及び育成指導員（ともに学校運営協議会委員）が、稲を提供してくださる協力者を斡旋した。また、夏季休業中に2回、学校運営協議会の働きかけにより、地域の方々と教職員、保護者が一体となり、校庭緑地スペースの草刈り等の整備をした。

## 令和6年度の運営目標

◎地域で子どもを育てる中北スクール

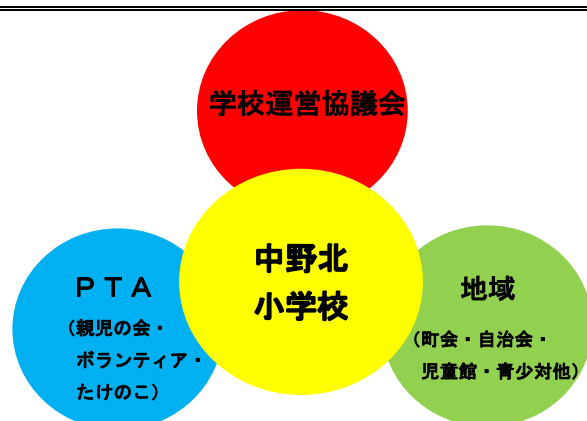
### ○学校運営に係る協議

児童・教職員・保護者・地域が一つにまとまった学校運営の実現に向け、地域が学校とかかわりがもてるような活動を推進する。

### ○教育活動に係る支援

学力向上・体力向上及び体験学習に協力してくれる地域人材を発掘する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学力向上の取組



本校では学力向上の取組として「わからない子をそのままにしない」丁寧な個別指導を実施している。その中の一つである水曜日の放課後開催の「中北ベーシック」、夏季休業中開催の「中北サマースクール」では、学校運営協議会委員を通して地域で学習ボランティアを募り、より多くの指導者が入ることで子どもたちに「わかる喜び」を実感させている。

また、令和6年度も漢検にも取り組み、児童は目標とする級を取ることができた。

### ○放課後子ども教室「たけのこ」

毎週火曜日と木曜日の放課後と、各学年の保護者会の時の放課後に、たけのこ推進委員（安全管理員）の方々が、子どもたちの遊びや安全を見守っている。子どもたちが楽しめるようカラフルなボールや遊び道具等をそろえている。自主学習の場も設定しており、そこで宿題に取り組む児童もいた。



### ○地域人材の活用



「投げる力」を伸ばすために、学校運営協議会委員の紹介で地域の野球チームのコーチによる「投げ方教室」を行った。子どもの能力に応じた丁寧な指導を受け、体力テストではその成果を発揮することができた。令和6年度も学校公開日に実施し保護者の方からも好評だった。

### ○親児の会

田起こしやお餅つき等、日本の伝統行事を子どもたちに体験させた。お餅つきを楽しみにしている子どもたちは多く、参加人数も大勢いた。



## ■令和6年度の運営目標

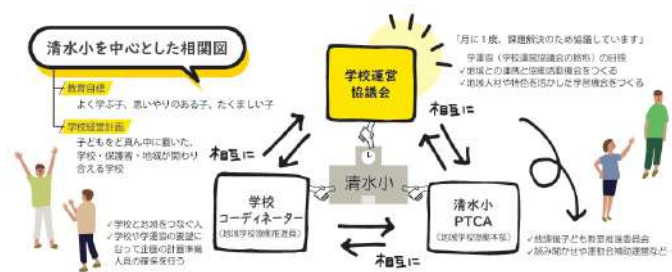
### ○学校運営に係る協議

・地域との連携と協働活動機会の創出  
地域の想う小学校・児童・保護者の姿を学校と共有し、本校の教育目標である「よく学ぶ子」「思いやりのある子」「たくましい子」を地域と学校が連携し協働して育てていく環境をつくる。

### ○教育活動に係る協議

・地域人材や特色を活用した学習機会の創出  
学校運営協議会が主体的に協議し、ボランティア参画希望者の関わりやすい環境づくり（学習活動行事の企画、児童図書等のリユース品を地域から募るなど）を行い、学習支援の機会を創出する。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○＜協議→実施＞放課後子ども教室推進委員会活動の推進

「放課後の宿題支援」や「学校休業日の体験活動」に関する学習支援や心やからだのたくましさを育む活動と成果について協議。通常登校時の居場所づくりを毎週水曜日に「朝の子ども教室」として実施。運動能力の底上げや運動習慣の定着を狙い、稼働していない学校施設利用推進を図り毎週末に児童向けに「体育館の開放」を実施。まずは運営側の実施定着を図り、児童が望んだ時に出来る身近な環境づくりを実践する事ができた。

### ○＜協議→実施＞算数(数学)・漢字検定の実施企画

常時課題となっている児童の基礎学力定着について協議。当初は学力定着度の低い児童に対して地域が協働する事を模索していたが、教員との対話の結果、基礎学力は定着している児童の応用力への支援も必要と判明。個別の習熟度への学習機会として6月に算数検定、2月に漢字検定を実施した。清水小児童だけでなく、清水小卒業生である中学生も受験機会を生かし、延べ68名が受験した。

### ○＜協議＞周年記念行事式典来賓の選定

創立50周年記念式典への来賓招待に際し、学校教職員では把握しきれない来賓の選定を学校運営協議会委員と協働。開催までの事務オペレーションや当日の来賓対応含め、学校と地域が一体となって無事に執り行うことができた。

### ○＜協議→実施＞通学児童及び通勤教職員の安全確保

登校時間に児童の車両送迎が頻発し、20分間に60台の車両が校門前停車や敷地内に進入。児童の徒歩登校を推進し、車両送迎の禁止を学校運営協議会で合意形成。学校だよりや校門付近への掲示で注意喚起を行い、現状は10台程度に減少。

### ○＜協議→実施＞地域の特色を生かした教育

校長主体での地域の特色を生かした教育の推進について協議。学校近隣の農家、歴史保存会、清水小卒業の元プロスポーツ選手による教育支援や、河川・神社・店舗・公園などの施設などを活用した地域の特色を生かした教育活動を計画的に行った。学校運営協議会や学校コーディネーターのほか、安全ボランティアなどと協力しながら実施する事ができた。

### ○＜協議→実施＞地域住民の教育支援活動参画

地域住民による学校での調理で“ふれあいランチ”。体育倉庫などの教材収納庫の整理整頓・不要物処分。花壇や畑の整備など、児童への直接的な関りではない部分での学校運営支援活動を実施する事で、関わり方の多様化を図り、学校訪問者の機会創出を行った結果、地域に開かれた学校運営となった。

## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

- ・『楽しい学校』『みんなの学校（地域とともにある学校）』を目指し活動する。
- ・学校内および周辺の安全・防犯・防災体制を再確認する。

### ○教育活動に係る支援

大きく変化する環境や社会の中で、SDGs、多様性を尊重した人権教育を進め、児童・教職員・保護者・地域住民の皆が、自ら考え行動できる思考力・判断力・表現力を協働しながら育ていく。

## ■運営体制

### 大和田小学校 学校運営協議会

#### 地域学校協働活動推進員（学校コーディネーター）

#### ① 学習支援

- ・図書室整備
- ・読み聞かせ
- ・漢字検定
- ・大和田っ子農園
- ・囲碁教室等

#### ② 地域交流

- ・大和田っ子ガーデン
- ・障がい者交流会
- ・はちビバ南大谷との交流

#### ③ 保護者啓発

- ・特別支援研修
- ・学校HP
- ・広報活動 等

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○大和田っ子ガーデン

プロガーデナーと美化活動をしながら、PTA会員や地域住民の方々と交流を図り、ガーデニングの知識を学ぶとともに、きれいな畑をすることにより地域の目を学校に向け、子供たちの安全を守る活動を行った。



### ○大和田っ子農園

多摩・八王子江戸東京野菜研究会代表の農家の方から、SDGsをともに考え、子どもたちの未来に向けて、理科園にて、無農薬で遺伝子組み換えのない種を次世代に引き継ぐ知識を学ぶ活動を行った。

### ○ふれあいコンサート

会場いっぱい張り巡らされた糸から流れ出すクラシック音楽や童謡、アニメソングの数々…。そして動物の鳴き声までも。魅惑のハーモニーが響く「糸の森の音楽会」がやってきた。演奏者の指先からは様々な音楽が紡ぎだされます。世界に一つだけの楽器の演奏を楽しむとともに、自分たちでも体験し交流する取組を行った。



### ○地域交流

地域運営学校の周知により、PTA、おやじの会、町内会、はちビバ南大谷等の機関の目を学校に向け連携を図ることで、地域と学校の協働体制を強化し、お互いが支えあえる関係を創出した。また、地域の保育園の年長のために学校の見学会を計画し交流したり、地域の方が飼育しているポニーと一年生の交流も行ったりした。



### ○漢字検定

学校主催から地域人材を活用しながら学校運営協議会主催に移行した。7月と11月の年2回、各回とも30名以上の子供たちが挑戦し、真剣に取り組んでいる。

### 令和6年度の運営目標

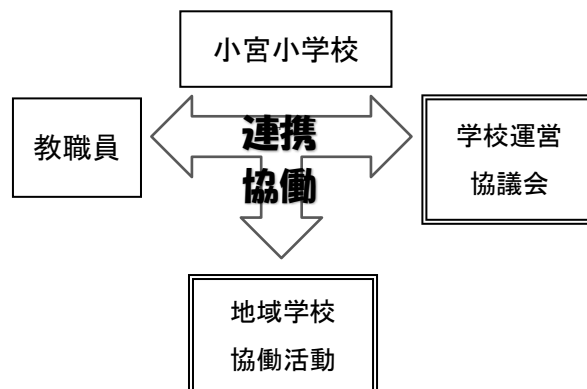
### 運営体制

#### ○学校運営に係る協議

学校運営協議会委員と教職員とが互いに知り合い、親しみを深め、打ち解ける関係性をめざして、教職員とのコミュニケーション向上を図る。

#### ○教育活動に係る支援

放課後算数教室、漢字検定の運営、P C指導の充実など、学校運営協議会の活動の充実を図る。



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○学運協委員と教職員とのコミュニケーション向上を図る取組

1 学期：職員打ち合わせに参加し、教職員との顔合わせの会を実施

2 学期：委員と教員とが一緒にチームビルディングを実施

##### 《成果》

委員と教員が一緒にチームビルディングを楽しむことで、自然とコミュニケーション向上が図れた。親しみをもって打ち解ける関係性が一歩前進した。

#### ○漢字検定の充実を図る取組

漢字検定の受験可能者拡大をめざした、漢字検定家族受検を継続実施。

##### 《成果》

父母祖父母兄弟の参加は18人となり、着実に受験者が増えている。今後さらに拡大することが期待される。全体の受験者は170人に達した。

#### ○放課後算数教室の充実を図る取組

月3回程度、毎週火曜日に、2年生～6年生を対象に実施。

##### 《成果》

放課後子ども教室「こみー」との実施日を調整したことで、参加が安定した。「算数が楽しくなった」、「授業よりも先生と話してできるから楽しい」等子どもたちの算数好きが向上した。毎回40～50人の参加。

#### ○プログラミング教育の充実を図る取組

P C指導協力者の助言によりプログラミング授業のモデルが共通理解され、スクラッチを利用した全学年でのプログラミング教育が定着している。U16 プロコン八王子大会には3年生以上の全児童が作品を応募し、多数の入賞者を輩出している。





## ■令和6年度の運営目標

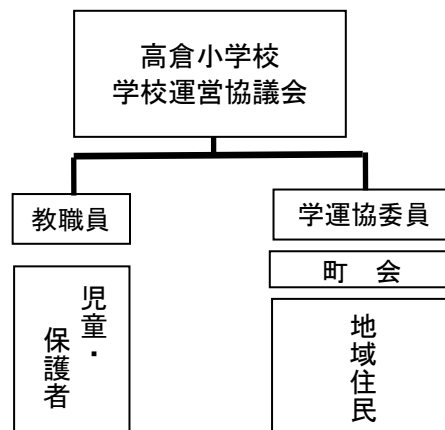
## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

- ・学校・家庭・地域の役割を再確認し、それぞれの立場で児童のために何ができるか熟議を重ねる。
- ・学校と地域が熟議を重ね、育てたい児童像を共有し、「チーム高倉」としての力を高める。

### ○教育活動に係る支援

- ・児童が自己肯定感や自尊感情を高められるために、児童の個性や能力を伸ばし、活躍できる場を企画する。



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○漢字検定

- ・「児童の学力を向上させたい」「目標に向かって努力する態度を育てたい」との思いから、平成27年度より継続して実施している漢字検定に、令和6年度も取り組んだ。11月と2月の年2回、いずれも金曜日の放課後に実施し、第1回には44名、第2回には58名の児童が受検した。
- ・運営は学校運営協議会が担い、試験当日は保護者や地域住民のボランティアが試験監督として参加するなど、地域と連携した活動として定着している。また、地域住民にも受検の機会を開くことで、学校を拠点とした地域ぐるみの学びの場づくりにも取り組んだ。

### ○ニュースポーツ

- ・令和6年度も、学校運営協議会が中心となって、土曜日に「ニュースポーツ体験」を開催した。
- ・「ボッチャ」「キンボール」「ラダーゲッター」など、誰にでもルールが理解しやすく、運動が苦手な人でも楽しめるニュースポーツを通して、児童・保護者・地域住民がともに楽しい時間を過ごし、「チーム高倉」としての一体感を育むことができた。
- ・運営にはPTAや地域住民も加わり、児童については、事前申込制とした。各回の参加人数はおおよそ40名で、毎回継続して参加する児童も多かった。また、卒業生の参加や、高学年児童による運営サポートなど、主体的な関わりも見られ、地域に根差した活動として定着してきている。

### ○放課後子ども教室における「学習スペース」

- ・放課後子ども教室の一角に「学習スペース」を設け、児童が自主的に学習に取り組む場として活用した。児童は、友達とともに学び合ったり、地域の方から教えていただいたりしながら、落ち着いた雰囲気の中で学習を進めており、まるで寺子屋のような空間となっている。
- ・学校コーディネーターの働きかけにより、小中一貫教育グループの第一中学校および隣接する都立八王子東高等学校の生徒がボランティアとして参加し、中・高校生との交流を楽しみにしている児童も多く見られた。このように、異学年の関わりを通じた学びの広がりが生まれている。



### 令和6年度の運営目標

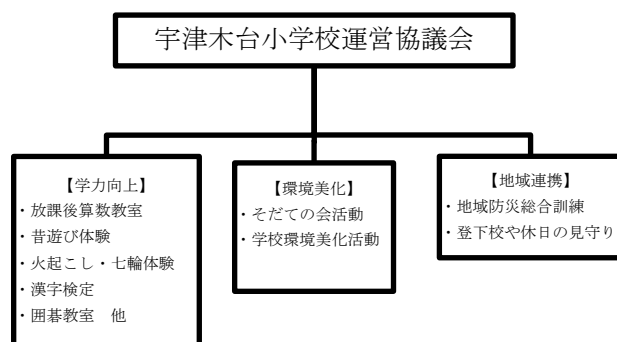
#### ○学校運営に係る協議

本校の学校教育目標である「よく考え、すすんで学ぶ子・協力し、思いやりのある子・体をきたえ、ねばり強い子」を、学校・保護者・地域の連携と協働で達成していく。

#### ○教育活動に係る支援

学校運営協議会は、「学力向上」「環境美化」「地域連携」の3つを柱とし、未来を担う子どもたちの育成のために、地域と学校が一体となって様々な教育活動を行う中で、子どもたちにいろいろな体験を積ませ、豊かな心と健康な体を育むことを目的として活動する。

### 運営体制



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○「学力向上」の取組

放課後算数教室「わくわく算数教室」を毎週月曜日の放課後、3年生から6年生の希望者を募り、3つの教室に分かれて1時間実施した。指導は、保護者や地域の方が9人体制で担当しており、学習内容は、東京ベーシックドリルの診断シートの結果を踏まえて、東京ベーシックドリルや現学年の学習の定着を図るよう指導している。

また、3年生は、外部講師を招き、昔遊びの体験や火起こし・七輪体験学習を行った。日本文化の良さを学ぶ機会となった。

令和5年度から漢字検定は学校運営協議会が主催になり、令和6年度も、昨年度の反省を生かしながら本校で実施した。受検者は小学生だけでなく、中・高生や大人まで申し込みがあり、130名を超える受検者がいた。学力向上の一助となるよう今後も継続していく。

#### ○「環境美化」の取組

今年度より地域の方やPTAに呼び掛けてメンバーを募り、「そだての会」を発足した。校舎前と正門前にある花壇の手入れや球根等を植えるなどの環境整備を行った。

#### ○「地域連携」の取組

土砂災害の二次被害の訓練では、八王子消防署小宮出張所の方と連携を取り、二次避難を行ったり、講話を聞いたりした。また、地域のボランティアの方により、登下校や放課後・休日の公園等での見守りやパトロールを行った。



わくわく算数教室



囲碁教室

## 令和6年度の運営目標

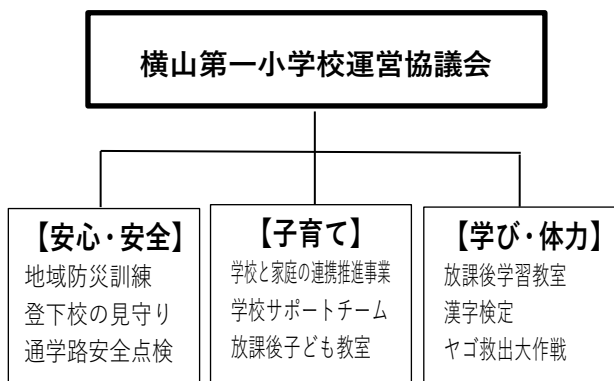
### ○学校運営に係る協議

- ・教育活動の進め方について学校運営協議会での情報共有と協議を行い、助言と承認を得ながら方向性を決定していく。
- ・学校運営協議会企画事業予算を活用し、地域人材を活用した講演会や出前授業等を実施し、教員の指導力と児童の資質能力の向上を目指す。

### ○教育活動に係る支援

学校運営協議会と地域人材との連携・協力を図りながら、「漢字検定」「ヤゴ救出大作戦」「地域防災訓練」「どんど焼き」などの行事や放課後子ども教室での活動の充実を図る。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○ヤゴ救出大作戦(5月)

学校運営協議会や地域人材・PTA・ボランティアの協力を得ながら、毎年ヤゴ救出大作戦を行った。普段できない体験を提供することで、学びが深まるだけでなく、地域の方とふれ合う機会となった。



### ○漢字検定(2月)

学校運営協議会が中心となって漢字検定を行った。子どもたちは自主的に参加し、漢字学習への動機づけや、漢字の習得への意欲につながった。



### ○放課後子ども教室(年間約 180 回)

学校運営協議会に放課後子ども教室事務局を設置し、子どもたちの放課後の居場所づくりとして、放課後子ども教室を実施した。毎日の学習教室を始め、はちびバ(子ども・若者育成支援センター)や地域学習ボランティア等と連携し、様々な行事を企画し実施した。



### ○地域防災会議(年間2回、地域防災訓練 12 月)

「安全・安心部会」が中心となり、地域の町会・自治会長や防災担当者と防災会議を行っている。12月に、学校を避難所とした地域防災訓練を実施し、139名が参加した。





## ■令和6年度の運営目標

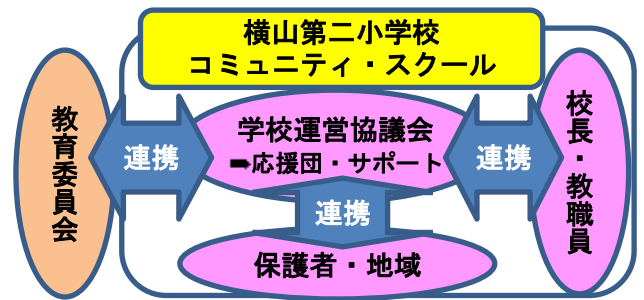
### ○学校運営に係る協議

- ・学校教育目標(思いやりのある子、よく考える子、体をきたえる子)、学校経営方針の具現化を目指し、児童にとり安心で安全で居場所のある学校づくりを実現する。
- ・「花と緑と笑顔の学校」をスローガンとし、地域も、保護者も教職員も誇れる学校づくりを実現する。

### ○教育活動に係る支援

- ・学校・家庭・地域社会が連携した地域運営学校づくりの推進
- ・学校運営協議会の活動を広く周知することを通じた地域住民の教育活動への参画意識の向上
- ・地域教材・人的資源との繋がりを強化する教育活動支援

## ■運営体制



- ・学校運営協議会開催(年8回)
- ・学校だよりにより毎月「学校運営協議会」掲載
- ・地域運営学校だより発行(協議会終了後)
- ・活動内容、協議会の内容等報告

## ■令和6年度の特徴ある取組



### ＜顔合わせ＞

- 新年度、開催時に教職員との顔合わせ会を実施した。互いの顔と名前を知り、信頼関係を構築した。



### ＜学校運営協議会＞

- 議事進行が滞りなく進行するよう最新の資料を迅速、的確に提供し、情報共有を図った。委員も活発に発言していた。



### ＜活動紹介・発信＞

- 校内の情報掲示板や学校ホームページ、地域運営学校だより等で学校運営協議会の活動内容を発信した。



### ＜学校評価アンケート＞

- 学校評価アンケートを地域住民に配布した。いただいたご意見を教職員で共有し、教育課程に反映させた。



### ＜授業参観＞

- 学校運営協議会開催日に授業を参観する機会を設け、学校課題等を共有した。児童の実態に即した授業の在り方を一緒に考えた。



### ＜創立90周年記念事業＞

- 様々な周年企画への参加を保護者・地域へ呼び掛けた。児童も含めた地域全体で周年を祝福し、改めて愛校心、郷土愛を育む契機とした。



### ＜保護者会時の見守り＞

- 新1年生が放課後子ども教室に参加できない時期の保護者会の際に、委員を中心に遊び場を開催した。保護者の安心の保障に繋がった。



### ＜放課後子ども教室＞

- 毎週金曜日に基礎学力を付けるための学習環境を整え、委員などが見守りをした。児童の学習内容の定着につながった。



### ＜安全ボランティア＞

- 児童の登下校の見守りを毎日行った。「地域の子どもは地域で育てる」児童には「いつも見守られている安心感」が育まれ、地域を誇りに思う気持ちが育った。



### ＜学校花壇の栽培活動＞

- 学校運営協議会予算を苗の購入等に充て、手入れを行い、「花と緑と笑顔の学校」づくりを支えた。また、創立90周年記念式典に向けた学校花壇の整備において、来賓を迎えるのに十分な苗を購入できた。学校裏手にある南浅川沿いの花壇は様々な教科の学習に活用されている。咲いた花を校内にも飾ることで、児童の自然を愛する心情の醸成につながった。



### ＜地域人材に協力いただく教育活動＞

- 地域の方をゲストティーチャーに迎え、得意分野を生かした授業を実施した。また、校外での活動などの際に保護者に児童の見守りの協力をいただき、安全な活動を行った。地域全体で子供を育てていくという思いを共有した。

## 令和6年度の運営目標

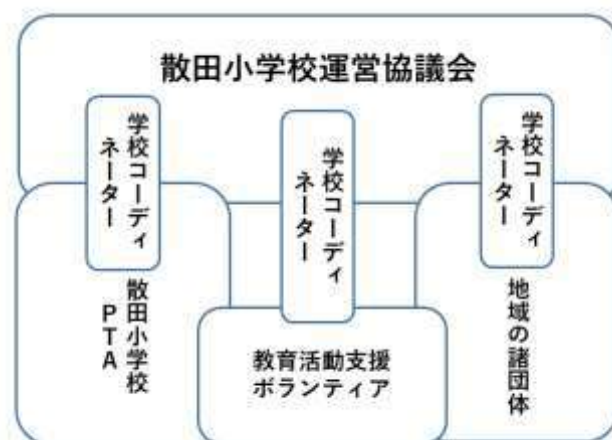
## 運営体制

### ○学校運営に係る協議

- ・「学ぶ歓び」を感じさせる「わかる・できる」授業と「子どもが学び方を選択する」授業の充実（発展継続）

### ○教育活動に係る支援

- ・開校 60 周年記念事業における地域と協働した「学びを伝承する活動」の充実（発展継続）
- ・配慮を要する児童や家庭に組織的に対応する学校づくりの推進（発展継続）



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校経営計画の評価の実施

本校の学校経営方針には、取組指標と成果指標が示されている。これらの指標に基づき、授業参観、各行事への参加、各種調査結果を踏まえて評価を行い、学校経営や運営に関する助言を行った。

| 短期経営目標<br>(1年間)                                                                     | 具体的方策                                                                                                   | 取組指標              | 評価  | 成果指標                   | 評価  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----|------------------------|-----|
| 国語についての基本的な理解や使い方、数量や図形などについての基本的な理解や数理的な処理の仕方について児童の認知や身体に着目して指導方法を工夫し、定着できるようにする。 | ①対象児童の状況を把握し、「たつじん調査」の結果を踏まえた国語・算数習熟度別指導の授業改善を行う。<br>②散田タイム・個別指導等においてドリルパークの活用を含め、知識・技能に関する内容を繰り返し指導する。 | 4 ほぼ計画通り実施した      | 3.4 | 4 改善した対象児童の割合が80%以上だった | 3.0 |
|                                                                                     |                                                                                                         | 3 70%以上程度計画通り実施した |     | 3 改善した対象児童の割合が60%以上だった |     |
|                                                                                     |                                                                                                         | 2 60%以上程度計画通り実施した |     | 2 改善した対象児童の割合が40%以上だった |     |
|                                                                                     |                                                                                                         | 1 計画的に実施できなかった    |     | 1 改善した対象児童の割合が40%未満だった |     |
|                                                                                     |                                                                                                         |                   |     |                        |     |

### ○地域と交流・協働した「学びを伝承する活動」の実施

「学びを伝承する活動」は本校の大きな特色である。例えば6年生では、西川古柳先生のご指導の下、散田車人形「歴史をつむぐ」の学習を実施し、開校 60 周年記念学習発表会にて発表した。他学年でも地域と交流・協働した学びが展開され、自学年にとどまらず、他学年や地域に発信した。これらの持続的可能な実施のため、人材のコーディネートや運営上の助言等を行った。

### ○開校 60 周年記念事業の実施

開校 60 周年記念事業の中で、3つのイベントを企画・運営した。

「自然園を整備しよう」では、地域の事業者の協力をいただき、2日間にわたって整備作業を行った。

和やかな雰囲気、参加した親子の記憶に残る取組となった。なお、自然園は子どもたちの投票により「さんだの森」という愛称がつけられた。

また、記念式典においては、学校運営協議会のコーディネートにより、本校を卒業した西川古柳座の座員が三番叟を舞った。郷土芸能の伝承で活躍する先輩の姿を見ることができ、大変に意義深いものとなった。





### 令和6年度の運営目標

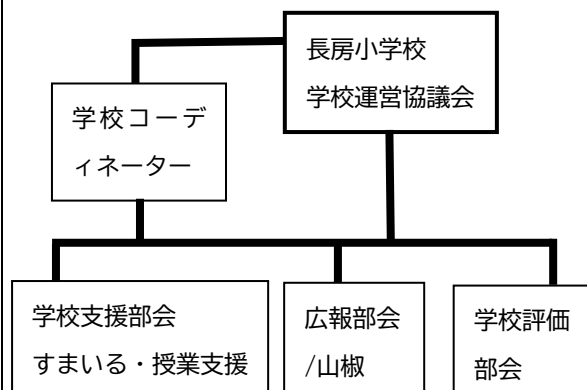
#### ○学校運営に係る協議

- ・学校敷地内の畑「長房ファーム」の取組を充実させる。
- ・地域行事の精選とともに地域が一体となる取組に協力する。
- ・「心の教育をめざす長房小」として、道徳授業地区公開講座の充実を図る。
- ・小中一貫教育の充実を図るとともに、各自治会が合同となる長房地区防災訓練の実施の在り方や計画について検討する。

#### ○教育活動に係る支援

- ・八王子市長房中学校区地域づくり推進協議会の5年間のアクションプランに協力をする。
- ・放課後子ども教室「すまいる」を、年間通して実施できるように支援する。
- ・夏休み算数教室を開催し補習を行い、既習内容の定着を支援する。
- ・青少年対策長房地区委員会主体で行う三校交流会について、各校教員の担当及び各PTAの代表と連携して児童参加や交流会運営の支援を行う。

### 運営体制



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○教育活動に係る支援

- ・八王子市長房地区地域づくり推進協議会の5年間のアクションプランに協力。
- ・放課後子ども教室「すまいる」について、年間を通して実施できるよう支援。
- ・夏休み算数教室を開催し補習を行い、既習内容の定着を支援。
- ・三校交流会を青少年対策長房地区委員会主体のもとで、三校（長房中・長房小・船田小）が、各校教員の担当及び各PTAの代表による連携を通して、児童参加と交流会運営を支援。



#### ○地域と連携した取組

- ・学校コーディネーターを中心に地域ボランティアを募り、地域人材と児童との授業や長房ファームでの交流。  
【花壇整備、どんぐり笛、昔遊び(生活科授業)、野菜づくり・校庭での焼き芋大会】
- ・地域行事である「端午祭り」「いちょう祭り」への参加を「父母と先生の会」と連携して実施。
- ・道徳授業地区公開講座で地域・学校・保護者が障害や共生社会への理解を深めるため講師(消防庁八王子市浅川出張所救急救命士)を招へいし、命の大切さの全学年講話と6年児童の救急救命体験授業を実施。
- ・小中一貫教育グループでの合同学校運営協議会を開催。
- ・地域づくり推進会議についての情報を共有し、各行事や学校の取組（キャリア教育出前授業）の実施。
- ・放課後子ども教室「すまいる」の会議に連携推進及び「夏休み算数教室」の実施。
- ・三校交流会参加による教職員・保護者と青少年対策長房地区委員会との連携推進。





## 令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

学校と地域・家庭が連携し、目指す子ども像を明確にした学校づくりを推進する。

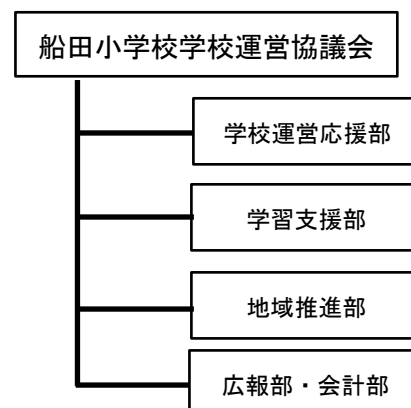
- ・地域住民や保護者に呼びかけ、協働・連携した取組を実践するとともに協議結果を情報提供していく。
- ・会合を年12回行い、学校・家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

### ○教育活動に係る支援

地域と連携し、学力向上の取組を推進する。

- ・学力向上に向けた課題や児童の実態（家庭環境を含む）を学運協で共有し、課題解決に向けて協議する。
- ・学習支援ボランティアや環境整備ボランティア等の活動を充実させるための環境づくりを行う。
- ・学習活動の充実（授業中の子どもたちの支援）のために、地域人材を活用した学習支援ボランティアに取り組む。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○地域との連携強化に向けて

学校運営協議会では、「学校を核として地域のよさを伝える」ために、協議を重ねてきた。地域の方と連携し、子どもたちや保護者に向けての企画を立案した。令和6年度は、令和4年度から実施している「おむすび大作戦」「座禅体験」「落語体験」「かたくりを見る会」の企画を継続して実施した。

### ○学校運営応援部

#### ・図書ボランティア

学校司書、図書担当教員らと連携し、図書館整備（蔵書整理・廃棄・掲示物・表示等）や読み聞かせ等を行い、児童の読書環境の充実に努めた。

#### ・園芸ボランティア

年間を通して校内環境整備事業として花壇の植栽等園芸ボランティアが活動している。

#### ・学校安全ボランティア

登校時や学校行事において児童の見守りを行い、安全を確保した。児童が、地域に守られているという安心感をもち、地域の一員としての自覚や地域に愛着がもてるようになった。

#### ・おむすびボランティア

年間6回、朝の登校時刻に朝ご飯として、地域や保護者支援者が握ってくれたおむすびを食べる機会を設けた。子どもたちが地域の大人たちからの愛情を実感するとともに、子どもたちの朝ご飯の重要性を再確認することができた。

### ○学習支援部

- ・夏季休業日当初の2～3日間を補習学習期間と設定し、学習ボランティアの力で補習学習の補助を行った。
- ・夏季休業中に学校運営協議会主催の漢字検定を行った。令和元年度より毎年実施している。年々参加者は増加し、令和6年度も100人近い児童、保護者、地域の参加があった。運営事務については地域・保護者にボランティアをお願いし、安全に効率よく運営した。
- ・地域人材の発掘に伴う学習支援の一環として、令和2年度より「星空を見る夕べ」を開催しており、令和6年度も天文学に造詣の深い地域の方の協力で実施した。また、令和4年度からは、「かたくりを見る会」を開催しており、令和6年度も「城山手親林の会」にご協力いただき、地域の希少な植物を観察することができた。



### ■令和6年度の運営目標

### ■運営体制

#### ○学校運営に係る協議

小中一貫校教育目標である、「高める自己」、「かがやく笑顔」、「あふれる学校」を学校・家庭・地域と連携・協働し、校訓にある「笑顔笑声」を実現する学校を目指す。

#### ○教育活動に係る支援

学校運営協議会を年11回開催し、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。



### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○命の授業

3月に命の授業としてバースコーディネーターの青木千景先生を招いて講演を行った。

どのようにして赤ちゃんは生まれてくるかを、妊娠の週数を追いながら説明するなど、写真や赤ちゃんの人形を使った、児童生徒にとっても大変わかりやすい講演であった。生命の誕生がいかに尊いものなのかを学ぶことで、子供たちが自分自身を大切にする心について深く考える機会となった。



#### ○薬物乱用防止教室

3月に薬物乱用防止教室として八王子ダルクから代表理事の加藤隆先生を招いて講演を行った。加藤先生自身の体験談をもとに薬物使用に至ったきっかけや、いかにして生活してきたかなど話があり、家族や友人の支えがとても大事であることも講演から学ぶことができた。

全体を通して、本校の児童・生徒にも深く印象に残る講演であり、薬物使用の危険性や人生に及ぼす影響などとても心に深く残る内容であった。



#### ○花いっぱい運動

本校舎、分校舎どちらも四季を通してたくさんの花が咲き誇っている。これは、種や苗から色とりどりの花を育てることで、心豊かな生徒の育成をサポートする活動である。

また、地域や保護者の方々からも「いつもお花がきれいです。」「季節ごとに違う花を見るのを楽しみにしています。」というお話をいただいている。



## 令和6年度の運営目標

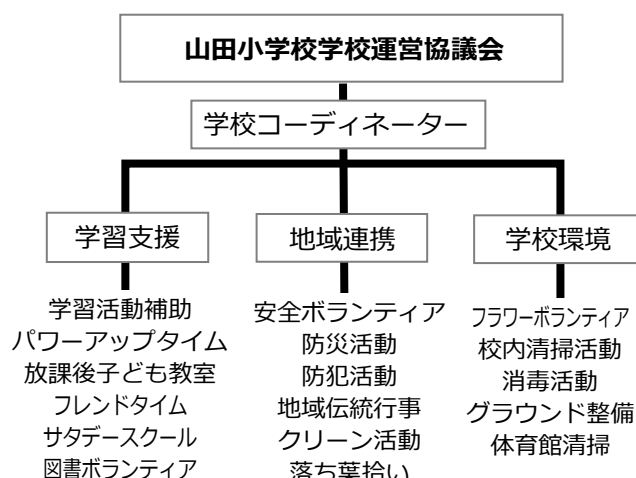
### ○学校運営に係る協議

教育目標（すすんで学びあう子ども・思いやりのある子ども・たくましく生きる子ども）の達成。

### ○教育活動に係る支援

地域と連携したどんど焼きの開催や防災訓練を実施する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○防災体験教室

全校児童に対し、災害時において自らの命を自分で守り、また地域の一人として他者を守る方法について体験活動を通して学ぶなど、自助・共助の意識を高めることをねらいとして行っている。令和6年度は9月25日、学校公開日に実施した。煙体験、起震車体験、AED体験、初期消火訓練等、様々な体験を行った。学校運営協議会、PTA本部に加え、八王子消防署、八王子市役所、八王子市赤十字奉仕団の協力のもと開催し、児童約500名、保護者約300名参加し、防災への意識を高めることができた。



### ○学校環境整備

令和元年度から、学校運営協議会とPTA、地域が連携して、環境整備を進めている。グラウンド整備や体育館清掃などの他、校内清掃なども定期的に行っている。令和6年度も、児童の清掃活動では手の届かない箇所（窓ガラスや高所）の清掃を行い、児童はすっきりした環境で学校生活を送ることができた。

### ○フラワーボランティア活動

平成29年度から、保護者のボランティア活動の一環として始まり、ガーデニングに詳しい地域の方の協力を得て、花の美しさを見たり感じたりできる学校環境の整備に取り組んでいる。東門から西門に伸びる通路は「山田小フラワーロード」と名付けられ、色とりどりの花が咲き、美しさを途切れることなく感じられるよう工夫されている。令和6年度は6月、10月、3月に活動し、30名近いボランティアの協力のもと、花の植え替えや雑草抜きなど手入れを行い、四季折々の花を楽しむことができた。

### ○山田小学校かるた

平成29年の「八王子市市制100周年」を記念して、「山田小学校かるた」を作成した。イラストは地域に住む方が作成した。児童や保護者、地域の方に、郷土のよさを感じてもらうため、地域や学校に関わる事柄をかるたにした。第3学年児童は八王子かるた、山田小かるたを使って郷土学習を実施している。また、令和元年度には地域の方に英訳をお願いし、英語版を作成、遊びを通して英語に触れることができるようになった。令和4年度までは予防接種会場の待機場所に掲示し、好評であった。令和6年度は校舎内に掲示し、児童がいつでも目に触れるようにしている。



## 令和6年度の運営目標

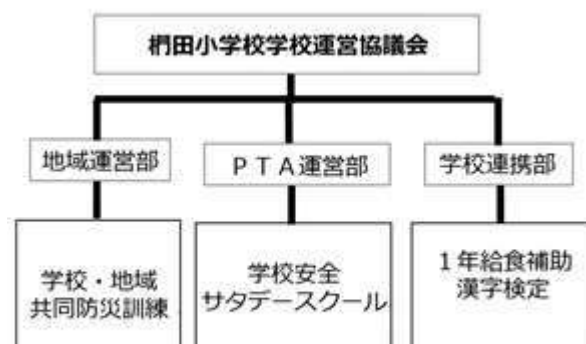
### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- ・運動会や移動教室及び学習発表会など各種行事の実施について協議し、児童の心のケアについて主に提言する。
- ・校内のいじめや不登校など生活指導について共通理解を図る。
- ・6年生の防災学習を地域と連携して行うことについて、全面的にサポートする。

### ○教育活動に係る支援

- ・年間行動目標を「学力向上」とし、漢字検定の実施などについて学校運営協議会として協議を行う。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校・地域共同防災訓練(地域運営部)

学校運営協議会、PTA役員、八王子消防署消防士、八王子消防団第9分団の協力のもと、平成24年度から隔年で実施。平成30年度から毎年実施する方向で運営している。

令和6年度は、9月21日(土)の学校公開の際に、6年生の総合的な学習の時間「梶田防災プロジェクト」と合同して開催した。校庭、体育館合わせて10か所設置し、自由にブースを回る形式で、協力してくださった地域の方々以外にも、参観に来校した保護者も参加した。会場には、6年生の保護者だけではなく、他学年の保護者も参加する様子も見られた。

#### 【各ブース名】

「煙ハウス体験」「初期消火訓練」「AED救助訓練」「通報訓練」「応急手当訓練」「各地区の防災訓練設備について紹介」「簡単に作成できる防災グッズについて」「避難場所紹介」「地震や火事からの身の守り方」「梶田防災プロジェクトの活動説明」

### ○漢字検定(学校連携部)

平成26年度から学校主体で平日の放課後に実施していたが、令和元年度より学校運営協議会が主体となって実施している。

土曜日の実施として、保護者等ボランティアを募り、新たに運営が始まった。現在は教員の有志も支援に入るが、保護者等ボランティアをさらに募集し、地域で運営していくという目標をもっている。

令和6年度は、100名近い本校の児童が受検をした。受検者の動線などにも配慮し、安心して受検できるように学校運営協議会、地域・保護者ボランティアの皆様と協力して実施することができた。



### 令和6年度の運営目標

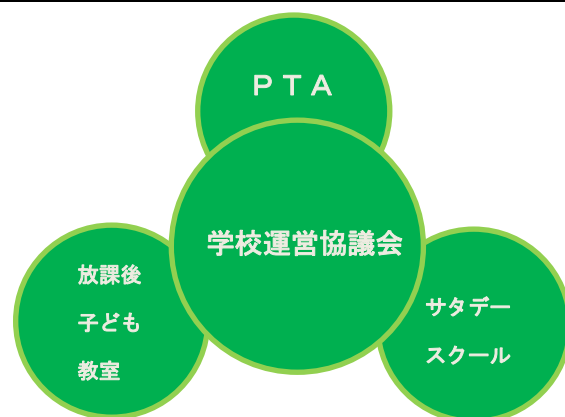
#### ○学校運営に係る協議

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

#### ○教育活動に係る支援

年間行動目標を「学校支援活動の推進」とし、学校の応援団として保護者や地域住民が協力して「地域で育ち、地域に生きる子の育成」に向け学校運営協議会として協議を行う。

### 運営体制



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○日本漢字能力検定に協力

緑が丘小学校では、団体として登録することで、学校を準会場として使うことができることから、令和5年度まで毎年2回の日本漢字能力検定をPTA主催で行っていたが、令和6年度の2回目からは、学校運営協議会が主催で行うこととした。受検する児童にとっては、普段から慣れている学校の教室で受検できるので、保護者や児童の負担を減らすこともできる。学校運営協議会としても、漢字検定の取組を、児童の学習意欲につながる良い機会ととらえ、全面的に支援している。

当日は、検定会場となる教室の掲示物をはずしたり、目隠しをしたりするなど検定開始2時間前から準備を行った。また、受検前に児童が使う控室での見守りや試験監督なども務め、片付けまで当日の運営についてPTAと協力して行った。



#### ○学校行事のサポートやPTA・学校と協働した取組

##### ・学校行事

運動会では、開門前に並んでいる保護者への声掛けや、受付、競技中、校庭と校門周辺の見回りを実施し、学校行事の支援に取り組んだ。

##### ・サタデースクール

スライムづくり、のど自慢大会、わりばしを使った工作、アイスクリーム食品サンプルづくり、クリスマスリース、お正月飾りづくり、起震車体験、アルファ化米カレーの試食などを行った。

##### ・放課後子ども教室

夏休みを除く、月曜日から金曜日まで毎日開催した。

##### ・PTA

漢字検定・運動会・サタデースクール・放課後子ども教室すべてにおいて、PTAボランティアとして児童育成に関わった。

### ■令和6年度の運営目標

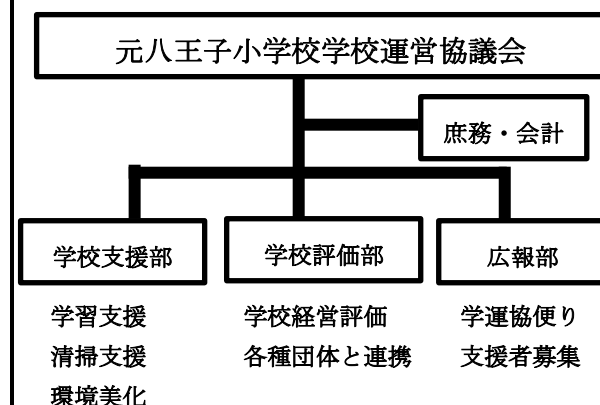
#### ○学校運営に係る協議

保護者・地域協働の学力・生活指導への取組について協議する。

#### ○教育活動に係る支援

日々の授業・研究協議会への参加を通し、元八王子小学校の指導方針や指導法について多様な視点から意見を集約し、授業改善に活かす。

### ■運営体制



### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○地域・保護者と連携した学力・生活指導力の向上に向けた協議

丸付けボランティアや読書活動の推進、また地域での交通安全、危険個所についての意見交換を行った。子どもたちが安全に生活し、安心して学びを深めるためにできる支援体制についても協議を続けた。

#### ○スマイルボランティアを活用した学校支援活動

平成30年度から始め、令和6年度も学校支援の人材を地域から広く募集し、授業や朝学習、清掃活動等、普段の学校生活で子どもたちを支援した。

##### ・丸付けボランティア

ベーシックドリルや補充プリントの丸付け支援を実施した。

##### ・図書ボランティア

朝の読み聞かせや図書室整備を日常的に行った。児童の読書環境を整えることで、本に興味をもち、読書が身近になる子が増えてきた。PTCAとも連携して取り組んだ。

#### ○保護者・地域協働型キャリア教育

子どもたちが主体的に自分の将来を考え、自立（律）した生き方ができるよう、「保護者・地域協働型キャリア教育」を進めた。地域人材と協働したキャリアガイダンスや職業インタビューを実施した。

#### ○児童会活動や学校行事と連携した学校支援活動

校内美化活動として、「愛～でる元八ガーデン」の整備を実施した。各学級の係活動や当番活動を関連づけることで、子どもたちが主体的に関わることができるようにした。（元八王子地区青少対と連携）

#### ○放課後手作り教室

学校運営協議会、八王子市高齢者あんしん相談センターとの連携事業として実施した。放課後に地域指導者によるものづくり体験を通して、地域の高齢者と児童、保護者のふれあいの場を作った。





## 令和6年度の運営目標

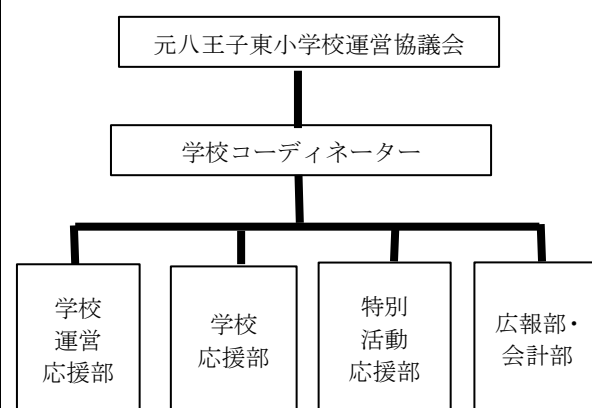
### ○学校運営に係る協議

将来、地域を背負っていける子どもたちを育てていくことを目的に、地域と連携した学力向上、自己肯定感の醸成、自己愛に満ちた子どもの育成について協議を重ねる。

### ○教育活動に係る支援

学校が地域にできること、地域が学校にできることを考え、お互いを補完できるような活動を目指し、学校と地域が一体となって学校・地域の活性化を図るよう、様々な活動に取り組む体制を構築する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○園芸ボランティア

令和6年度は学校環境の充実のため、地域ボランティアの方と共に花壇整備や花植え活動を行った。花壇づくりから行い、四季折々にきれいな花が彩られ、子どもの豊かな情操を育てることにつながった。

### ○安全ボランティア

登下校時の見守りや通学路の見守りを行った。毎朝子ども一人一人に声をかけ、安心して学校生活を送ることにつながった。

### ○図書ボランティア

学校図書館の充実のため、図書ボランティアの活動を毎月実施し、図書の補修や図書室の掲示の装飾などを行った。季節に合わせた装飾をすることで、楽しく、読書に親しみたくなる環境となっている。

### ○東小スタディ

週に1日放課後に、放課後子供教室「東小スタディ」を実施した。地域の方に学習ボランティアとして御協力いただき、それぞれの子どもの習熟に応じて基礎学力の定着を進める取組を行った。一人一人個別のファイルを作成し、自身で取り組んだ足跡が振り返られるようにして、努力を続ける大切さを感じるとともに学力の定着につながっている。令和6年度は中学生も学習ボランティアとして招いて実施した。

### ○漢字検定

漢字検定を夏と冬の2回実施しており、約50名の子どもたちが参加した。漢字を学ぶ意欲を高めるとともに、基礎学力の向上につながった。

### ○茶道教室

令和6年度から月1回程度実施しており、ボランティアの先生から日本の伝統文化について学んだ。



### 令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

学校の教育目標の一つである「地域とともに歩む学校」の実現に向け、学校の教育活動が有意義なものとなり、生き生きとした子供たちを育てるために、学校・保護者・地域の連携を図る。

#### ○教育活動に係る支援

児童の自尊感情を育むために、教育活動全般を支援する。

### 運営体制

上壱分方小学校学校運営協議会

学校コーディネーター



かみっこ教室  
放課後学習教室



各種ボランティア



地域自治会等

### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○全校遠足の立ち上げ

延べ30名ほどの保護者・地域ボランティアを登用し、教職員とともに、児童にとって有意義な全校遠足を発足させた。活動の中では、ボランティアと児童、児童同士の交流の中でたくさんの笑顔が見られた。

#### ○漢字検定の実施

本校の漢字検定は、平成29年度より開始。令和6年度も、本校の全児童から受検者を募り、漢字検定準会場として登録し、実施した。試験官は、学校運営協議会委員が分担した。

これまでに延べ800人以上の児童が受検し、およそ8割が合格することができた。この合格率は各家庭での保護者の教育の成果である。事前に検定対策のための資料を受検児童に配布し、学習の一助としている。

また、日本漢字能力検定協会から送付されてくる合格証、賞状に加え、独自の基準（受検回数、得点率、合格率等）で学校運営協議会会長賞、努力賞、校長賞等を設け、より多くの児童が努力を賞賛され、自尊感情をさらに伸長するよう工夫して取組を進めている。

#### ○読み聞かせ・キャリア教育・水泳指導補助等ボランティアのコーディネート

子どもたちが、学習、運動それぞれの面で、自分の好きなこと、得意なことに能動的に挑戦する機会を設定することができ、自尊感情の向上へとつながった。

#### ○トップアスリート出前授業の実施

上壱分方小学校 2020 レガシーの実現のため、以下の学年でトップアスリートや専門家を招へいし、出前授業を行った。今年度初めて体系化することができたので、次年度以降も継続したい。

【3年】なわとび（生山ヒジキ氏）出前授業

【4年】陣取り型ゴールゲーム（七国スピリッツ）出前授業

手を使ったゴール型ゲーム（八王子ビートレインズ）出前授業

【5年】足を使ったゴール型ゲーム（立川アスレティックFC）出前授業

【6年】手を使ったゴール型ゲーム（八王子ビートレインズ）出前授業





## 令和6年度の運営目標

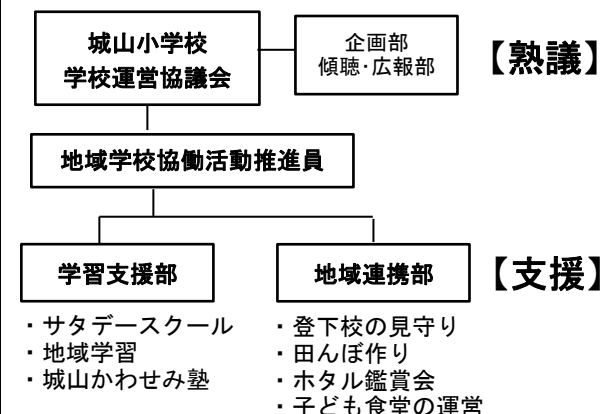
### ○学校運営に係る協議

- ・教育目標の「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」《みんなでのびる城山の子》を学校・家庭・地域の三者協働により具現化していく。
- ・城山中学校とつながり、小中合同の運営協議会を各学期1回開催し、9年間を地域が見ていく形で家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

### ○教育活動に係る支援

年間行動目標を「児童・教職員支援」とし、学校運営協議会として実施方法を熟議し、遂行する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議

本校児童の学力調査結果では、読むことや書くことなどの基礎的な問題に課題が見られる。そのため本校では、習熟度別の少人数指導を行い、学力向上を図った。また、令和6年度も学運協が主催し漢字検定を実施。漢字検定に向けての学習会も実施し漢字検定を活用して国語の書き取り能力向上を図った。

また、地域の特色を生かし、サタデースクールを年3回実施した。これからも、専門性の高い講師を招き講演をしたり、自然体験をしたりすることで、子供たちの豊かな心を育てていく。

### ○教育活動に係わる支援及び地域と連携した取組

- ・課題を改善するため、本校では、習熟度別の算数少人数指導を行い、学力向上を図った。
- ・学校サポーターが支援に入り、日々子ども達と先生の補助を行った。
- ・低学年遠足に付き添い、子ども達の見守りも行った。
- ・サタデースクールは、5月かけっこ教室、6月ホタル鑑賞会、11月防災訓練の3回実施することができた。かけっこ教室では中学校校長が指導を行い、小中学校の連携もはかれた。

また、5年生についてはサタデースクールとは別に、構内にある水田を活用した田植えと稲刈り体験や、ハンドボール体験会を実施した。これらの活動の際には地域の経験者に指導してもらった。

・地域で行っている子ども食堂や、学校運営協議会で運営しているかわせみ塾の活動も継続して実施することができた。なお、かわせみ塾は令和7年度より実行委員会運営となり新たなスタートとなる。







## ■令和6年度の運営目標

## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

横川小学校・中学校合同学校運営協議会が中心となって、小中の教職員・保護者、青少年対策横川地区委員会等の地域諸団体と連携を図る。

### ○教育活動に係る支援

学習支援部が中心となり「良い学校創り」を目指して横川地区の子どもである、横川小学校、横川中学校の児童・生徒の健全育成、学力向上に向けて支援するとともに、地域支援部が中心となり「良い地域創り」の仕組み作りをめざす。

### 横川小中合同学校運営協議会

#### 学習支援部

- ・学習教室
- ・漢字・英語検定
- ・日常の学習支援

#### 地域連携部

- ・地域防災
- ・小中合同引取り訓練

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○小学校の学習支援、地域のボランティアの活用

ボランティアの内容は多岐にわたり、令和6年度は1学期に花いっぱいボランティアとして花植え活動を行った。2学期は、家庭科のミシンボランティアや生活科の「町たんけん」の引率ボランティア、3学期は、社会科の「昔の道具紹介」ボランティアと様々な地域人材集めの中心を担っている。地域の様々な特技をもつ人材が集まることにより、体験的でダイナミックな学習を展開することができ、学習を活性化することができた。また学習の中でのちょっとした関わりが、地域での関わりにつながり、学校安全ボランティアや地域行事での出会いを通して、児童のより密接な地域とのつながりとなり、地域の一員としての自覚を高めている。



「町たんけん」引率ボランティア



七輪体験ボランティア

### ○コミュニティカレンダーの作成

小学校・中学校・幼稚園・保育園・町内会・青少対が連携し、それぞれの行事予定をいれこんだコミュニティカレンダーを作成し、地域に配布した。

### ○クリーンデイの参加

中学校区の青少年対策協議会とタイアップで行っているクリーンデイは、毎年3回行う恒例の行事となっている。特に、小学校からは、多数の児童と保護者・教員が参加して、中学校の生徒・保護者・教員に地域の方々と合わせて一大行事となっている。

令和6年度は、青少年対策協議会、中学校PTAが中心となって、清掃後飲み物を振舞いながら、小中間、青少隊との交流の場にもなる一大イベントとなった。

### ○漢字検定・英語検定の実施

中学校PTAの協力を得て、漢字検定・英語検定を年間3回ずつ実施した。小学生、中学生だけでなく、保護者も受検できるように募集をかけている。年度の終わりの保護者会では、次年度の予定を配布し説明するなどして、計画的に取り組むきっかけとなるよう、保護者にも早めにお知らせをしている。

特に中学校では、受験の資格として、認められているので、検定を目標として、勉強している生徒も多い。年々、受験生も増加しているところである。



## 令和6年度の運営目標

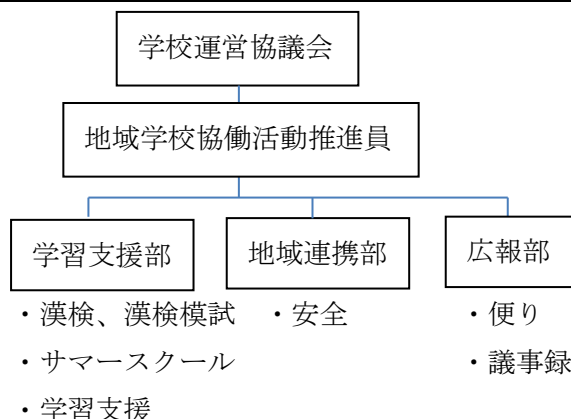
### ○学校運営に係る協議

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを実現する。

### ○教育活動に係る支援

- ・学校と協働して、児童の学力向上の取組を推進する。
- ・学校と協働して、家庭・地域社会が連携した学校づくりを実現する。
- ・学校と協働して、150周年関連行事を運営する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○地域清掃活動

青少対恩方地区委員会やAFC（旧PTA）などと連携・協働して年3回の地域清掃活動を実施している。

児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員が協働して行う清掃活動を通して、相互の交流を図るとともに、地域を知り、地域を愛する心を養っている。令和6年度も駐在所の方や学童の職員も参加していただいた。



### ○漢字検定・漢字検定模試(ボランティア)

恩方第一小学校では、漢字検定を準会場として行っており、年2回の漢字検定と漢字検定前の模試を行った。学校運営協議会を中心として、地域・AFC（旧PTA）と連携して会場運営や模試の丸付けを行っている。子どもたちの参加だけではなく、生涯学習の観点からも保護者等にも参加を募集している。

また、恩方中学校と連携して各校での実施の通知を行い、恩方地区で年間計5回の漢字検定受験の機会を設定している。児童数の減少に伴い、受験者も減少しているが、お知らせを工夫しながら継続して行っていく。



### ○サマースクール支援(学習ボランティア)

夏季休業中に学校で実施するサマースクールの運営を支援した。

サマースクールは、学年ごとに教室や時間帯を分け、夏休みの課題等を、家庭で学習する場がなかったり、一人で進められなかったりする児童に向けて自主学習の場を提供している。

学校運営協議会として、ボランティア募集を行ったり、丸付けボランティアとして児童の学習プリントの丸付けを行ったりといった支援を行った。令和6年度も多数の児童が参加していた。





### ■令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

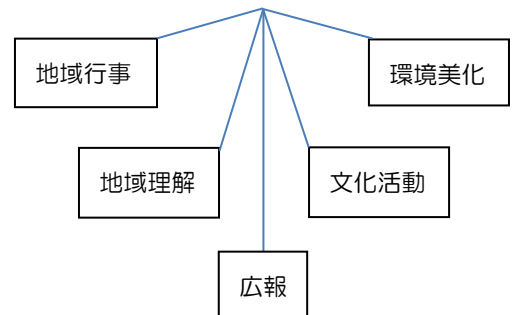
- ・教育目標の「かنگえる子」「なかよくする子」「じょうぶな子」を学校、保護者、地域の協働により達成していく。
- ・他校学校運営協議会と連携し、必要な情報交換・情報取得に努め、教育内容の充実に助力する。

#### ○教育活動に係る支援

- ・当協議会の会議をできる限り月1回行い、学校行事等にも積極的に参加し、学校、保護者、地域が一体となった学校作りを推進する。
- ・地域の特性を生かした学校運営に当協議会としても積極的に関わり必要な支援を提供する。

### ■運営体制

#### 恩方第二小学校学校運営協議会



学校・地域・家庭の協働

### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○豊かな学習機会の設定に向けた熟議

学校運営協議会では、子どもたちが学習する機会や場の確保を第一に考え、協議を重ねてきた。

校庭や裏山、ビオトープで学習する際、草木が生い茂り支障があるため、計画的に美化活動を行うことや、本物の良さに触れる体験をという考えから、地域に在住しているプロの音楽家による演奏会を開くことなど、地域の人材を活用し、児童が豊かな学習機会を得られるよう熟議を重ねた。

#### ○学校の教育環境整備

校庭の雑草を取り除いたり、裏山やビオトープに生い茂っていた木々を剪定したりして、子どもが安心して活動できる環境を整えた。裏山でタケノコ掘りをしたり、探検をしたりして自然環境を活かした活動に取り組んだ。

#### ○音楽会鑑賞会の実施

NPO法人あさかわ「ぽこ あ ぽこ ハンドベルアンサンブル」の演奏会を企画し実施した。

子どもたちが知っている曲を多数演奏してくださり、生演奏でしか感じられない迫力を肌で感じる事ができた。

#### ○地域を生かした教育活動 ～ヤマメの里親教室～

奥多摩さかな養殖センターと恩方漁業協同組合の協力のもと、自然豊かな地域を活かしたヤマメ里親体験を全児童で行った。

ヤマメの育て方を知り、ヤマメを卵から育て稚魚を放流することで命の大切さを学び、また、地域の環境について考え、環境保全に努めようとする態度も育てている。



### ■令和6年度の運営目標

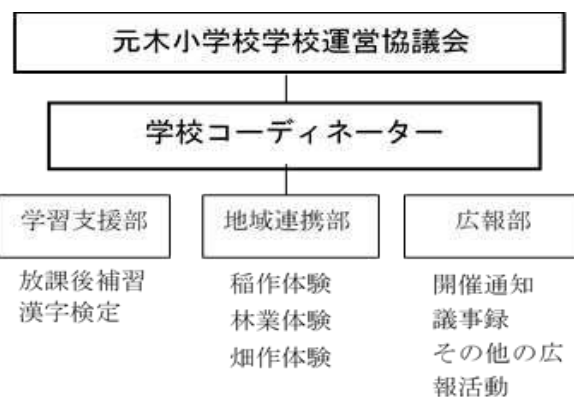
#### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営協議会を年10回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。必要に応じて、部会的なものも行い、提案・議事の進行および活動の迅速化を図る。
- ・学校運営協議会会報誌を各学期に発刊する。

#### ○教育活動に係る支援

- ・教育目標の「考える子 思いやりのある子 やりぬく子 元気な子」を学校・家庭・地域が強く連携して達成していく。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの視点を取り入れた授業参観、いじめの未然防止・早期発見を視野に入れた協議を行う。その結果を必要に応じて、地域住民や保護者に対し情報提供していく。

### ■運営体制



### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○水曜放課後補習

従前から毎週水曜日に3～6年生の希望者を対象に実施している放課後補習教室。(平成29年度から学校運営協議会が実施主体)令和6年度からは3・4年生を対象を絞って活動を展開。地域の方や高校生に学習アドバイザーとして協力していただき、基礎学力の定着に向けて、学習のつまづきをなくす取組を行った。児童は意欲的に参加し、「できる・分かる喜び」を味わっている。

#### ○NPO法人小津倶楽部と連携した活動

平成29年度から、3年生を対象にNPO法人小津倶楽部と連携した農業・林業体験活動を実施している。耕作放棄地を活用した農業活動では、学校運営協議会、NPO法人小津倶楽部が立会いのもとで、児童・保護者が参加し、オリーブ植樹を実施。60本のオリーブが植樹され、その成長を見守っている。植樹されたオリーブの管理は、日本オリーブ協会の指導により、市の協力のもと、学校、学校運営協議会、NPO法人小津倶楽部が連携して行っている。

令和6年度は、元木小おやじの会も参加して、木製ブンブンゴマを作成。子どもたちは丸い板に穴をあけ、ひもを通して好きな絵を描き、オリジナルブンブンゴマ作りを楽しんだ。回し方のコツも教えていただき、上手に回すことができるようになり、大事な宝物となった。

#### ○漢字検定の実施

令和6年度は恩方中学校で5月、元木小学校で1月に実施し、小中連携しての事業となっている。

#### ○熟議

- ・学校経営方針(案)を検討した。
- ・大きな行事について、実施方法等を検討した。
- ・様々な日常の諸問題について、対応策を検討した。



令和6年「水曜放課後補習」  
学校運営協議会・地域の方々



令和6年「木製ブンブンゴマ作り」  
小津倶楽部・おやじの会

## 令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

地域に根ざした学校運営を進めるため、青少対、各町会地域組織と連携した学校運営協議会を運営し、学校の応援団として教育活動を支えていく。

### ○教育活動に係る支援

- ・家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。
- ・地域の人材を活用し、教育活動の充実をめざす。

## 運営体制

川口小学校 学校運営協議会

地域学校協働活動推進員  
(学校コーディネーター)

地域団体  
青少対・町会・PTA

## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学運協だよりの発行

定期的に学運協だよりを発行し、協議内容や活動の報告を行った。また、子どもたちが地域活動に参加する機会を増やすために、「地域イベントカレンダー」を作成した。川口小の子どもたちが地域活動を通じて貴重な経験を積み、将来の「夢」に繋げるためのサポートをしている。



### ○学校・地域・行政が連携した合同防災訓練

地震災害を想定し、合同防災訓練を実施した。学校を避難所として集合し避難誘導訓練を行い、川口の自然災害について学んだ。

当日は川口中学校のバスケットボール部とバドミントン部から20名の生徒がボランティアとして参加。地域との絆をさらに深める貴重な機会となった。



### ○プロから学ぶ

6年生の総合学習の授業で、地域で活躍するプロフェッショナルを講師として招き、仕事のやりがいや苦労話など、さまざまなお話を伺った。

令和6年度は、イラストレーター、ジュエリーデザイナー、画家、カフェのオーナー、保育士、JAXAの元職員の6名の地域の専門家が登壇。児童たちは真剣な眼差しで話を聞き、悩みを相談するなど、心が温まる授業となった。



### ○「教育漫才ワークショップ」

学校運営協議会企画事業として、教育漫才ワークショップを開催した。

漫才教育は、何事も面白いがる力=“芸人思考”を育むことを目的としており、漫才作りの過程で、大喜利的発想力でいろんな角度から見る力をつけ、ネタ収集力で失敗を楽しみエピソードに変える精神を養い、コミュニケーション力で相手に対しての思いやりや対話力を学んだ。

子どもたちが実際に自分たちでネタを考え、舞台上立って漫才を披露する姿はとても生き生きとしていた。





### ■令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

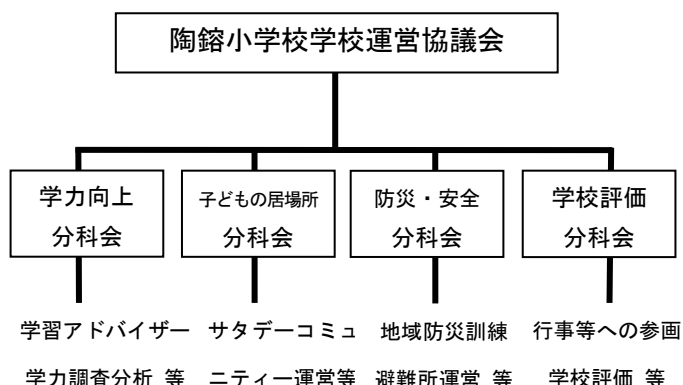
学校の実態を正確に把握するために、学校運営協議会委員による定期的な授業参観等への参加を行う。

また、学校運営協議会委員と教員とが直接会って懇談する機会を年に2回は設け、互いに気付いた課題について協議する等、情報を共有する。

#### ○教育活動に係る支援

学校の児童の実態に即した、特色ある教育活動を学校運営協議会の委員と学校とが協働して取り組む。学校や保護者や地域が一つになって児童の笑顔につながる活動を企画・運営していく。

### ■運営体制



### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○陶鎔サタデーコミュニティ

子どもたちの「サードプレイス（心のよりどころとして集う場所）」の実現をめざし、毎月第1土曜日にPTAサタコミ委員会を中心に運営を行う「サタデーコミュニティ」にも共に参画し、地域の方を指導者として、様々な体験的な活動を展開している。

令和6年度も「和太鼓」「ソフトボール」「ライキネ」「合唱」「英会話」等の講座を開設し、100名以上の子どもたちが活動に参加した。また、「和太鼓」は、地域のお祭りや地域の老人ホームで演奏を披露した。

さらに「陶鎔小学校おやじの会」との共催で、暑い夏を楽しむ「ウォータースプラッシュ（水鉄砲大会）」や夜の学校を巡る「ナイトツアー」、秋には「逃走中」「ランタンナイト」、冬には「餅つき大会」も行った。

これらは毎年実施し、300名以上が参加する地域行事となっている。

#### ○学習アドバイザー

学習指導や児童の心理について見識の深い委員が、週1回「学習アドバイザー」として、各学級を巡回している。学校生活になじめない子どもや学習に困難を感じている子どもたちへのサポートや教員への指導方法についても、温かく具体的なアドバイスを行っている。年2度の懇談会では学習に関しての積極的な意見交流も行うことができた。

#### ○「どんぐり山」「心の池」「成長の池」の改修工事とメンテナンス

おやじの会との連携により、平成29年度は「どんぐり山」、平成30年度は「心の池」、令和3年度は「成長の池」の改修工事を実施。人件費をゼロにするために、おやじの会のメンバーが、熱心に工事を行い、それぞれ1年近くかけて完成した。毎年、年度末に行っている池の清掃では、おやじの会主導のもと、池の水を全部抜いてごみや落ち葉拾いをし、新年度に向けて心の池をきれいにすることができた。



### 令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

- ・通学路の環境整備に向けた方策を考える。
- ・小中一貫教育、小小連携、保・幼・小連携の強化を目指す方策を考える。

#### ○教育活動に係る支援

地域の方と協働した活動や地域の自然を生かした活動を多く取り入れ、特色ある教育活動を展開していくことを支援する。

### 運営体制

上川口小学校 学校運営協議会

地域学校協働活動推進員

『熟議』

『支援』

- ・通学路点検
- ・上川の里 稲作活動
- ・地域のゲストティーチャーの招へい

### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○通学路の安全確保に向けた協議

通学路の安全点検と、昨年度、気になった場所の安全確認を実施した。それを踏まえて安全を確保するための協議をし、今後の安全対策への具体的な見通しをもつことができた。

#### ○上川の里 稲作活動

上川の里の稲作活動において、PTAや地域、近隣校に呼びかけ、代掻き、田植え、草刈り、稲刈り、脱穀の作業を行った。

12月には、上川の里で新米試食会を開催し、協力をいただいた方々と収穫を祝った。近隣校などの新たな協力者や保護者・地域の参加者が増え、持続可能な取組となりつつある。



#### ○ゲストティーチャーの招へい

地域にゆかりのある方をゲストティーチャーとして招へいし、野鳥観察や染め物体験、木工体験などを実施した。

児童が体験を通して興味・関心をもったり、学びを深める機会をもったりすることができた。



## ■令和6年度の運営目標

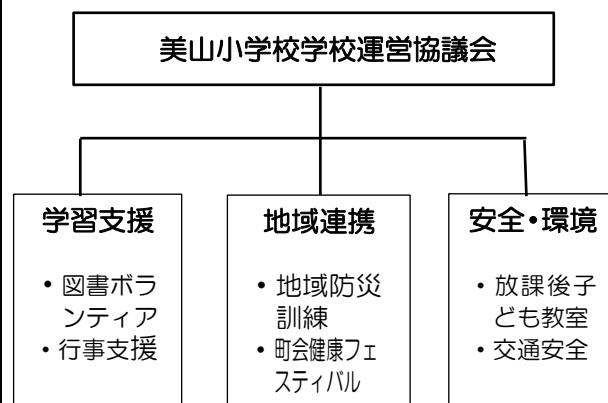
### ○学校運営に係る協議

教育目標「考える子」「やさしい子」「元気な子」を育てるために、学校と保護者・地域が連携して諸課題に取り組み、地域と共に発展する学校をめざす。

### ○教育活動に係る支援

学校運営協議会の中で、学校や地域の課題解決となる支援について検討したり、実施したりすることで、地域を愛し、地域の発展を願う児童の育成をめざす。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

- ・年2回実施した学校評価（保護者・児童アンケート等）や八王子市学力調査の結果などをもとに、教育活動の課題を明確にし、課題解決に向けて学校運営の在り方を協議した。
- ・学校の地域行事へのかかわり方や、地域の学校行事へのかかわり方を検討した。
- ・開校 150 周年記念式典の方向性、地域のかかわり等を熟議した。



### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

- ・美山町会が八王子市（防災課）、消防署、消防団と連携して行った地域防災訓練や、同じく美山町主催の健康フェスティバルへの児童の参加を促した。また、音楽会に地域の方々を招待した。
- ・開校 150 周年記念行事に向け、6年生が総合的な学習の時間で美山小の歴史を調べ、地域の方をゲストティーチャーに迎えて昔の美山小の様子や生活を話してもらった。
- ・道徳授業地区公開講座で「スクールカウンセラーから見た成長段階ごとの子育てポイント（思春期を中心に）」について、保護者地域向けの講演会を行った。
- ・「美山農園」の獣害対策として学校運営協議会の意見を伺い、地域の方々の協力によって防護ネット支柱の修理を行った。





## 令和6年度の運営目標

### 〇学校運営に係る協議

- ・次年度の創立 50 周年記念に向けて諸準備を進める。
- ・全教職員と学運協委員との熟議の日を設け交流する。
- ・小中一貫連携校との合同学運協を開催する。

### 〇教育活動に係る支援

- ・檜原小の追求学習のための「体験活動」の充実
- ・不登校生徒のための支援体制整備
- ・漢検の実施運営
- ・毎朝の「ならはらスポーツタイム」実施

## 運営体制

### 檜原小応援団

学校運営協議会(10名)

 事務局・副校長・学校コーディネーター(3名)  
 教員担当・会計担当・広報「ならはらチャレンジ」担当

|             |   |                |          |                |                |          |                |
|-------------|---|----------------|----------|----------------|----------------|----------|----------------|
| P<br>T<br>A | → | 体験<br>学習<br>支援 | 学習<br>支援 | 読書<br>活動<br>支援 | 行事<br>運営<br>支援 | 安全<br>支援 | 環境<br>整備<br>支援 |
|-------------|---|----------------|----------|----------------|----------------|----------|----------------|

地域ボランティア

報告・発信 協働 連携 承認・支援

## 令和6年度の特徴ある取組

### 〇広報活動・情報共有

地域運営学校としての取組を学運協だより「ならはらチャレンジ！」で発信し、学校だよりやPTA通信でも紹介した。毎回の議事の中で、自治会や青少対の情報ははじめ、地域の行事についても、情報を共有した。また、地域運営学校としての理念と目的意識を共有するために、全教職員との熟議を行った。

### 〇地域人材・地域団体の活用

- ・学校コーディネーターを中心に、保護者・地域からボランティアを募り、教育の充実を図った。教員・保護者以外の大人との交流が、子どもたちの多様な人と関わる機会となり、学びを広げ深めることにつながっている。また、こども園・幼稚園の園児と児童の交流ができ、保幼小の交流も深まっている。
- ・檜原小学校を会場とした檜原東部町会防災訓練を地域行事として開催し、学校 HP でも発信した。
- ・令和7年度の檜原小創立 50 周年記念行事に向けて、プレ行事を実施した。PTA パパサングズに運営を依頼し、第1回檜小まつりを開催した。

### 〇学校支援活動

PTAや地域による支援活動(学校行事支援や安全見守り、読書活動、体験活動の支援など)に加え、下記項目等にも力を入れて活動を推進した。

#### ・学校農園「ハピネスファーム」の整備

敷地に隣接する学校農園用地を活用し、地域の専門家と連携した、農作物栽培体験活動を充実させた。

#### ・不登校支援のための「ハピネスルーム」の整備

不登校児童に教室、保健室以外の居場所を整備し、学校コーディネーターを中心に運営した。

#### ・漢字検定の実施

令和6年度は学校運営協議会主催で年に2回実施した。

#### ・様々な学習支援と体験活動の充実

総合的な学習の時間や家庭科等の実習授業や校外授業等の支援を行った。

また、放課後子ども教室「ならっこ」にも学習アドバイザーを配置し、児童の見守りと支援を積極的に行った。

授業や放課後子ども教室に専門家を呼び、教育の充実を図った。



ボランティアによる読み聞かせ



令和6年度第1回漢字検定

### ■令和6年度の運営目標

### ■運営体制

#### ○学校運営に係る協議

学校経営計画にある「すべての子供たちに居場所があり、一人一人を大切にする」「子どもたちの良さや可能性を伸ばす」「子供・保護者・地域・教職員に愛される」をめざし、重点目標である「学び子」の育成を図るために、全体会、分科会を毎月行い、学校と共に家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

#### ○教育活動に係る支援

「居場所づくり」「良さや可能性を伸ばす」「愛される学校」をめざし、健やかな成長を最優先とし、「安全」「読書」「学び・遊び」の柱を核とし、学校運営協議会として、現在抱えている児童の課題等に対する取り組みを企画立案し、具体的な教育活動に係る支援について協議を行い、その実現に向けて対応する。

学校運営協議会

防災・安全グループ(地域防災会議)

読書のまちグループ(読み聞かせ)

学び・遊びグループ(放課後子ども教室)

学校連携グループ(保・中・高校など)

### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○防災・安全グループ(地域防災会議・登校の見守り・おむすび大作戦・通学路点検)

【活動内容】学校安全ボランティアの拡充と継続、地域と連携した見守りの取組(おむすび大作戦)を行う。地域防災会議等との連携を図り、地域五町会合同避難訓練に児童も参加し地域防災への関心を高めた。(11月に実施し、延べ200名参加した。)

P.T.A.・からまつ明生会・交通安全協会で曜日等を分担し、子どもたちの安全な登校を見守る。(毎月実施し延べ120名が参加、地域と子供たちとのつながりを深めた。)

児童が安心して学習に励むことができるように、週1回おむすびを町内会館で食べさせて見守った。(ボランティアが常時3名以上参加し、取り組んだ。児童はおおむね15~25名が参加している。)

・防災会議(五町会合同) ・学校安全ボランティア ・P.T.A.校外



#### ○読書のまちグループ(読み聞かせボランティア・放課後子ども教室)

【活動内容】特色ある教育活動として読書の充実を図るため地域の人材を活用し推進する。

ボランティア団体「りいでいんぐくらぶ」が、毎月1回、全学級一斉に読み聞かせを行う。(毎月10名程度の図書ボランティアが参加し、年間通して10回の読み聞かせを行った。)

放課後子ども教室においても読み聞かせを行い、本に触れさせる。(「絵本 にじいろ」による読み聞かせを10回以上行った。参加した児童は、延べ240名以上になり、本を読む楽しさを味わっていた。)

・町内会、自治会 ・図書館ボランティア ・P.T.A. ・放課後子ども推進委員会

#### ○学び・遊びグループ(放課後子ども教室・漢字検定)

【活動内容】放課後や長期休業中における安全な学び・遊び場の居場所づくりを行う。

主催するNPO法人と連携し、週5日の放課後子ども教室(松枝っ子)を支援し、学習アドバイザーの配置、かけっこ教室、ボール運動教室等の企画等を行う。放課後も長期休業中も入学式等の行事の日でも、児童が宿題をしたり遊んだりできる場所を確保する。(学習アドバイザーの配置により、児童が積極的に宿題に取り組むなど、学力向上に寄与した。)

多数の参加がある漢字検定に加え、算数検定を年に一度ずつ行い、学ぼうとする意欲を高める機会を設ける。(三学期に算数検定1回、漢字検定1回を行った。その結果、合わせて延べ60名以上が受検した。)

・町内会、自治会 ・放課後子ども推進委員会 ・P.T.A.

#### ○学校連携グループ(幼保中・学童クラブ・川口児童館・子ども家庭支援センター・民生児童委員等との連携)

【活動内容】保幼・学童クラブの連携、地域団体との連携による、子どもたちの健全育成を図る。

新一年生や卒業生の情報共有等を行う。(三学期に実施)小中一貫教育では、地域郷土学習として訪問したり、合唱祭りハーサルに参加したりし、交流活動を行う。(川口中学校郷土資料室に訪問した際、学運協委員を含めた地域の方から地域の歴史について、3年生が学んだ。)学童保育所や子ども家庭支援センター、民生児童委員と連携を図る。(常時行うことにより、多方面の機関とつながるなど連携の深まりが見られた。)

・からまつ学童保育所 ・からまつ保育園 ・川口中学校区(上川口小・美山小・川口小)・川口児童館



## ■令和6年度の運営目標

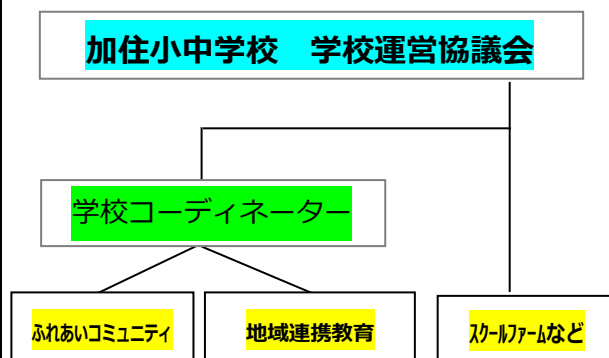
### ○学校運営に係る協議

- ・地域運営学校を基盤とした小中一貫校として教育を推進していく上での基本的な計画や方針を推進する。
- ・加住小中児童生徒の課題解決・改善に向けた効果的な取組を検討し計画を立てる。
- ・学校運営協議会を年 11 回開催。

### ○教育活動に係る支援

- ・学校・保護者・地域の連携を図る推進役及びまとめ役としての機能を充実させ、自然豊かな加住地域ならではの特色ある取組の改善策を検討する。
- ・児童生徒の生活・学習支援の人材を発掘し、学校運営協議会の活動の充実を図る。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○本校の教育活動のさらなる充実・推進

本校の教育課程の適正な実施に向けて、体育祭、学習発表会（音楽発表・総合発表）等に参加した。児童・生徒の学習の成果を確認し、教育活動のさらなる充実・推進に向けた協議を行った。



### ○スクールファーム

地域の方の協力のもと、総合的な学習の時間を活用し、スクールファーム（学校における農業体験）に取り組んだ。栽培した野菜は、宿題として家に持ち帰った後に、料理・レポート作成を行い、学習発表会で掲示することで、地域の方にも成果を見ていただき、地域交流の輪が着実に広がっている。



### ○ふれあいコミュニティ

学校コーディネーターが中心となり、「輪投げ」や「藍&校庭の桜染め」、「春の七草植え」、「折り紙」など、地域の高齢者の方々と本校児童の交流体験を実施した。

地域の方々との交流の中で、高齢者の方々に対する思いやりや感謝の心を育んだ。





## 令和6年度の運営目標

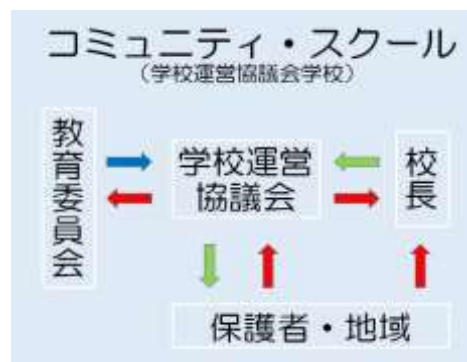
## 運営体制

### ○学校運営に係る協議

地域運営学校7年目となり、学校運営協議会、学校サポートチーム、PTA、学校コーディネーターとの連携した活動を行っていく。

### ○教育活動に係る支援

地域の教育力をより活用できるよう、学校・地域・保護者が連携をさらに強めていくことができるように動き、教育活動に積極的にかかわるようにより様々な課題解決に参画していきたい。



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会（1回/月）

町会長、連携保育園長、PTAOB会委員、学校コーディネーター、PTA会長等を委員とし、地域で学校をバックアップできるような体制を作った。年度当初に学校経営計画について協議し、年度末には学校長より評価を説明し、次年度の計画に活かした。

また、地域での安全・安心について随時協議し、地元町会と連携して、情報交換したり検討したりした。

### ○朝・放課後子ども教室（毎日開催）

放課後子ども教室推進委員会が中心となり、子ども達の放課後の居場所づくりだけでなく、令和5年度より朝の居場所の提供を開始し、令和6年度も引き続き実施した。

校庭や体育館での自由遊びだけでなく、空き教室を使った教室での学習や工作教室など地域のボランティアが多数かわり、子どもたちの見守りを行った。

### ○保護者・地域と連携した取組

PTA図書ボランティアによる全学級読み聞かせ（1回/月）を始め、地域協力者による稲づくり、近隣3校と連携した挨拶運動、警察署と連携した安全の見守りに取り組んだ。



### ○おやじの学校

PTAのOBを中心とした「おやじの学校」では、地域子ども連合会とも連携しながら様々な取組を行った。ペットボトルロケットやデイキャンプなどを通して、地域の方と楽しくふれ合う機会となった。



## 令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

学校運営協議会委員との会合と漢字検定作業部会・夏季補習活動日を合わせて年間8回程度行い、学校の「学力向上」を踏まえ、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを協議し、推進する。

### ○教育活動に係る支援

「放課後子ども教室運営の定着」（安全な居場所づくり）をめざし、放課後子ども教室との連携を強化していく。

## 運営体制

### 由井第二小学校学校運営協議会

学習支援担当  
放課後子ども教室担当

教職員  
地域  
サポート隊  
近隣小中学校

## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営に関する協議

年度当初に学校経営計画について協議し、年度末には学校長より評価を説明し、次年度の計画に活かしている。また、地域での安全・安心について随時協議し、地元町会と連携して、防犯カメラの設置や交通安全の取り組み等について情報交換したり検討したりしている。

### ○放課後子ども教室

「放課後子ども教室」を平日毎日開催し、1年生から6年生までの放課後の安全な居場所として機能した。学校の時間割に応じて、体育館や校庭、家庭科室などを使用し、子どもたちは、宿題をしたり、校庭で運動遊びをしたり、将棋やカードゲーム等を楽しんだりしている。

### ○漢字検定の学習支援等

今年度は、昨年度と同様に、年間2回、7月と11月に漢字検定を実施した。毎回多くの児童が受検した。検定当日には、地域のボランティアに協力いただき、運営を行った。漢字検定の実施を通して、基礎学力の向上や漢検に対する意識が高まってきている。

### ○地域行事への参加

令和6年度は、青少対主催のCC大作戦（地域清掃活動）へ2回参加し、由井中学校、由井第三小学校、片倉台小学校と小中一貫教育グループとして連携して活動することができた。

### ○地域人材の活用

夏季休業日最初の2日間、各学年の補習に、地域のボランティアの方が参加し、児童の学習支援を行った。また、6月と12月に、保護者を含めた地域のボランティアの方が参加し、朝学習の時間を使って全学年の児童に対して本の読み聞かせを行った。さらに、1月に、地域のボランティアの方をお願いして、昔遊びゲストティーチャーとして2年生にコマ回しや羽根つき等の遊びを教えていただいた。2年生は、教えていただいたことを活かして、1年生に対して昔遊びを教えて、異学年交流を行った。



## 令和6年度の運営目標

## 運営体制

### ○学校運営に係る協議

安全、安心部会として、校内施設・設備の安全点検、清掃、修繕を行う。通学路等、校外環境の安全確保、児童を見守る体制の充実。

### ○教育活動に係る支援

学習応援部会として、地域の教育資源を活用しながら、本校の特色ある教育活動である夢大地の取り組み（自然観察・農業体験・伝統芸能習得活動等）、地域の調べ学習、昔遊びの支援、海洋教育の支援を行う。運動会前に走り方教室を開く。

### 学習応援部会

- 夢大地の取組
- 地域の調べ学習、昔遊びの支援
- 海洋教育の支援

### 安全・安心部会

- 校内施設・設備の安全点検・改修等促進
- 通学路等、校外環境の安全確保
- 児童を見守る体制の充実

## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

#### ・校内施設の清掃

11年前に校地改良をした本校であるが、雨天時に校庭の土が排水溝に流され、排水溝が機能しない問題が学校運営協議会で挙がった。協議会で検討した結果、一昨年度11月に協議会主催で校庭の排水溝の清掃が企画され、PTAの協力を得て共催という形をとり、今年度も2回実施した。CC大作戦と同じ日に開催し、由井中学校の生徒や地域のクラブチームの児童や保護者も加わり、たくさんの人に協力をお願いすることができた。今後も継続的に改善点を相談しながら、校庭施設の清掃、修繕を行っていく。

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### ・海洋教育

平成30年度に、東京海洋大学の教授を招へいし由井中学校区における小中一貫教育プログラムとして、日本財団の「海洋教育パイオニアスクールプログラム」に参加以降、毎年学校運営協議会の主催行事として実施している出前授業である。

今年度も協議会で実施計画が検討され、4年生以上の学年において、2～3時間の授業を実施した。4～6年生は、サメの化石を観察しながら、サメの生態や海の環境問題、ごみ問題について考えることができた。5年生は、総合的な学習の中で、ごみ問題について学習していることから、今回学習した、海の環境問題の視点をもちながら、今後のごみ問題の学習に結び付けることができた。6年生は、4時間目にカルビー株式会社による、食物連鎖、栄養成分の学習を行い、5・6時間目の海洋教育の学習につなげて考えることができた。児童は豪華な講師、ボランティアの学生による学習に意欲的に取り組んでいた。



#### ・夢大地

本校の特色ある教育活動「夢大地」の取組は、学校運営協議会の支援によって一層充実した活動となり、学校周辺の豊かな自然とのふれあいや、古くから伝わる伝統文化の理解につながる教育が更に充実した。

1年生は、学校の隣の広場で季節ごとに虫や植物の変化を楽しみ、2年生は、この地域ならではの牧場見学を行った。3年生は、地域の方からお借りしている畑で、野菜の栽培について教えていただき、ほうれん草や大根を育てた。4年生は、学校のそばを流れる湯殿川を探検し、5年生は、地域のごみ拾い活動やお琴の先生に教わるお琴体験、6年生は、太鼓の先生に教わり、運動会で豊年太鼓を披露した。





## ■令和6年度の運営目標

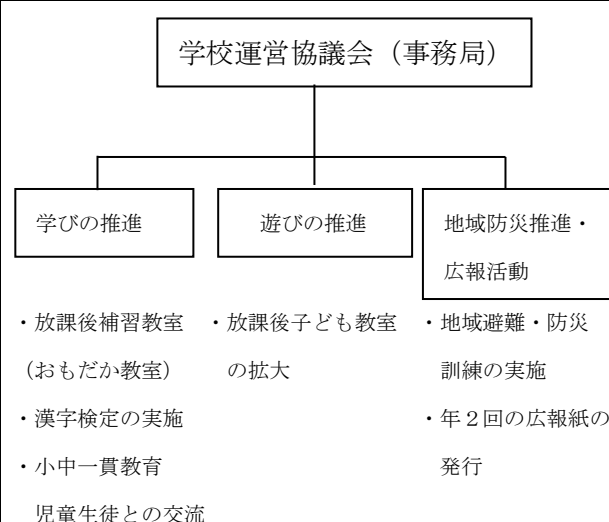
### ○学校運営に係る協議

学校・保護者・地域が協働して、学校教育目標「元気で明るい子ども、よく考え創造力のある子ども、思いやりのある子ども、責任を重んずる子ども」の実現をめざすとともに、共に子どもを育てる「共育」の取組を推進し、地域や学校を愛する子どもを育成する。

### ○教育活動に係る支援

豊かな人間性の向上、学力向上、体力の向上と健康の保持増進、信頼される学校づくりの4つの学校経営課題の改善に向けて、放課後の子どもの居場所づくり、親の子育て力の向上、地域防災など、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進する。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議

道徳授業地区公開講座の講師について相談した。招へいた講師に「ペップトーク！子どものやる気を引き出す言葉の力」について講演していただき、「子どもと家族の絆」を深めることができた。また、学校行事について協議を行った。

### ○地域のボランティアと連携した放課後補習教室の運営

高学年児童を対象として基礎・基本の定着を目的にした補習支援を展開している。地域・保護者から学習ボランティアを募り、子どもたちには課題を決めさせ、自主学習を支援する活動を行っている。地域の方々と子どもたちとの交流も深まっている。

### ○地域人材を活用した農業体験

生活科・総合的な学習の時間の野菜作りや米作りの取組に対して、地域の方をゲストティーチャーとして招き、学習の充実を図った。地域の方の田畑を借りて、稲作や野菜作りするなど、子どもたちの体験活動を充実させることができた。

### ○放課後子ども教室とサタデースクールの実施

放課後子ども教室を、水曜日と金曜日の週2回、地域の安全管理員にお願いして実施した。子どもたちの放課後の居場所の確保だけでなく、学力や体力の向上にもつながっている。また、サタデースクールを各学期に1回実施した。「スポーツチャンバラ」、「野球教室」等、子どもたちが興味関心をもって参加できるものを実施している。

### ○地域防災訓練について

令和6年度は、11月30日（土）の学校公開日に合わせて実施とし、地域の方々が運営する地域防災訓練に本校の児童・保護者が参加できるように計画した。

起震車や放水体験、煙ハウス等、防災について実際に体験し、各教室で振り返りを行った。子どもたちの防災に対する意識が高まった。令和7年度は12月6日（土）に行う予定である。



## ■令和6年度の運営目標

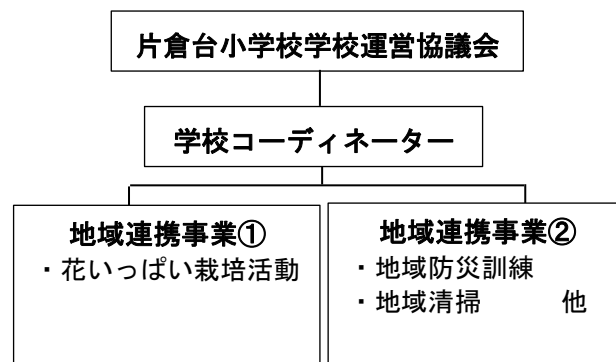
### ○学校運営に係る協議

地域に開かれた教育課程の編成。

### ○教育活動に係る支援

地域人材の活用を図り、教育活動を充実させる。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

片倉台小学校は、設置から8年を迎え、年間を通して学校運営協議会との綿密な連絡や相談を行い、協力を得ながら、教育活動の充実を図ることができた。

今後も、学校や家庭、地域の連携をより発展させていく。

### ○花いっぱい笑顔いっぱいの学校を目指した活動

学校運営協議会の設置に伴い、「花いっぱいの栽培活動」を地域の方々と連携して実施している。

月に1回程度、校内で行う縦割り班活動に地域の方が各班に加わっていただき、児童と地域の方が一緒になって花を植えたり花壇の整理をしたりした。



### ○学校・家庭・地域・行政が連携した総合防災訓練

学校運営協議会の設置を契機に、地域と学校、関係団体が一体となって災害に立ち向かう体制づくりを行うため、学校や自治会が個々に行っていた防災訓練をより連携を深めて実施している。令和6年度も実施に向けて学校運営協議会で検討を重ね実施した。

訓練は授業の一環として全校児童が参加している。たてわり班に分かれ、地域や保護者の方と一緒に体験コーナーを回って体験訓練を行うことで、地域のつながりが深まり、お互いの顔を知ることができるように工夫している。

また、訓練内容は、市や消防と連携して、応急救護や初期消火など、本格的な内容となっており、学校を拠点とした防災体制の確立につながっている。





## ■令和6年度の運営目標

## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

「地域みんなで育てる高嶺っ子」を合言葉とし、学校運営協議会を核とした、学校と家庭、地域とが連携・協力した教育活動の充実を図る。

### ○教育活動に係る支援

年間行動目標を「学力の向上」「豊かな感性の育成」「自己肯定感、自己有用感の育成」とし、学校運営協議会で協議を行い、実践していく。

|         |           |                                      |
|---------|-----------|--------------------------------------|
| 学校運営協議会 | 環境美化部     | 「花壇、校庭の草取り」「池、高嶺富士の清掃」「花植え」等         |
|         | 学習支援部     | 「放課後補習教室『くすの木教室』」「漢字検定」等             |
|         | 体験活動部     | 「講演会」「焼き芋体験」等                        |
|         | 安全対策部     | 「交通安全教室」「登下校時の見守り」「行事の安全対策」「総合防災訓練」等 |
|         | 子ども保護者支援部 | 「親子草取り」「青少対クリーン活動」「世話人会と連携」等         |

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○新しい学習スタイルの浸透・定着に向けて

本校は、文部科学省の提唱する『令和の日本型学校教育』の構築を目指した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るために、新しい学習スタイルに変えている。

その形や効果を十分に保護者、地域の方に理解してもらうために、学校運営協議会が側面から支援し、講演会・座談会の開催に協力した。

新しい学習スタイルの浸透・定着にはまだ時間を要するが、教育活動が偏った考え方で進んでしまったり、強硬に推し進めていたりしないよう、学校運営協議会でも語りながら、児童主体の学びへ授業改善を進めた。



### ○学校運営協議会企画事業報償費を活用したさまざまな特別授業

これまでも企画事業報償費を活用し、原爆先生による特別授業や箏の専門家による音楽の授業を行ってきた。今年度は、助産師による「命の授業」や、けん玉世界チャンピオンによるパフォーマンス・けん玉講座を実施した。地域の人材や著名人から、専門性の高い知識や経験を学び、夢や希望をもらい、人生を豊かにすることができた。





## ■令和6年度の運営目標

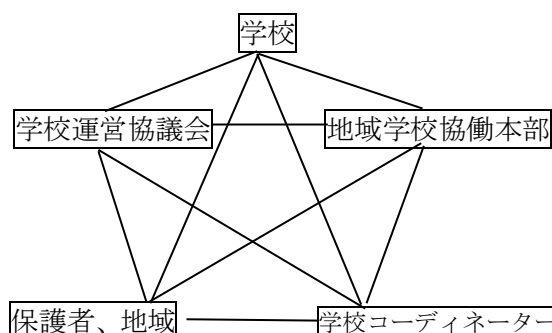
## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

学校運営協議会の役割を確認し、「みなみ野小中地域学校協働本部」の共創・協働・連携の体制を整え、令和6年度学校経営方針を踏まえ、意義ある協議を計画的に行う。

### ○教育活動に係る支援

みなみ野小中学校地域学校協働本部を中心とし、みなみ野会、かたくりの会、青少対、自治会、各種団体、大学、企業、住民など地域の幅広い参画を得て、地域と学校が共創、連携、協働して子どもたちの学びや成長を支える様々な活動（事業）に取り組む。



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

- ・学校運営協議会委員と教員とでミニワークショップを開催し、学校運営協議会での協議を充実させるための意見交換を行った。そのなかで、委員がみなみ野小中学校の教育をリアルに見学等し、率直に意見交換し、教育の充実を図るとことの重要性を改めて認識し、活動の充実を図った。学校公開、スポーツフェスティバル、合唱祭などに参加した委員と教員とで具体的な意見交換を行うことにより、相互理解を深めることができた。
- ・学校運営協議会と地域学校協働本部との連携について、学校コーディネーターを中心に、検討を行った。
- ・地域学校協働本部を、地域にあった組織として、コンパクトで機能的にするための協議を行った。
- ・年間の活動計画、予算などについて、学校運営協議会と地域学校協働本部の機能について、原点に立ち戻り検討した。
- ・令和7年度に地域学校協働本部を再編することとした。
- ・校外行事について、そもそもの意義、安全性や保護者の経済的負担などを含め協議した。
- ・中学校の部活動の在り方について協議した。

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

- ・学校コーディネーターを中心として地域学校協働本部が担っているスポーツフェスティバル、蔵書点検などの運営補助、みなみ野会が募集する図書係・緑化係などの運営、漢字検定、英語検定などのボランティア活動について、さらなる充実を図るため協議した。
- ・学校コーディネーターを中心に、地域住民・諸団体、保護者の会である「みなみ野会」「かたくりの会」などの教育活動の支援、連携、協同の状況について、俯瞰し全体像を捉えられる図などの作成に取り組んだ。
- ・菜の花畑づくり、大しだれ桜の保護、稲作、目籠づくりなど、地域の里山環境・文化を継承する活動について、地域の人たちとのつながりを構築することについて協議した。
- ・卒業生、大学生などとの協同について協議した。



## ■令和6年度の運営目標

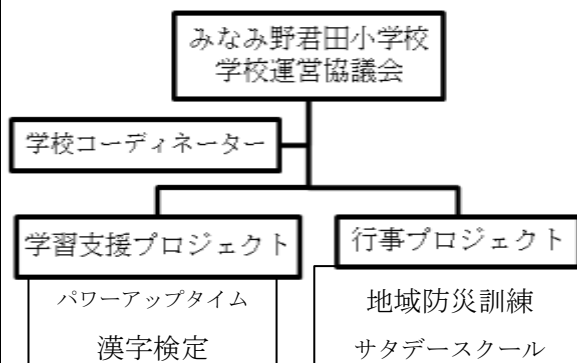
## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

- ・教育目標の「学んで伸びる子・強く優しい子・健康に過ごす子」を学校・家庭・地域の協働により達成する。
- ・地域住民や保護者に対し、運営目標や協議の結果を積極的に情報提供する。

### ○教育活動に係る支援

- ・人材発掘を通して地域の教育力を活用し、良質な学習環境を整えることで地域を大切に育む心の育成を図り、教育目標が達成できるよう、より一層の支援を行う為に協議や熟議をする。
- ・みなみ野小中学校との連携を視野に入れ、放課後・学校休業日を活用し「子どもたちを地域で見守り・育てる」意識のもと、学校・保護者・地域が一体となって多様な活動を行う。



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

- ・「教育課程」「早朝や放課後、週休日の子どもの居場所」「いじめ対策」「青少対活動」「PTAに準ずる組織の運営」「学校情報の発信」「漢字検定」などについて、経営、運営に参画した。
- ・「教育活動支援」「学習支援」「別室指導（ぼかぼかルーム）支援」などについて、教育活動のねらいを受け、教育活動の意に沿った地域人材の確保をすすめた。

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### 地域防災訓練

- ・放課後子ども教室推進委員会との共催で、身近な地域における児童の防災意識を高めることを目的に行った。毎年、町会の協力を仰ぎ、消防署・消防団・応急救護団体等を招いて初期消火訓練やロープワーク、心肺蘇生法など体験活動を多く取り入れた。

#### 漢字検定

- ・学力向上の一環として団体の準会場受検を行っている。家庭の関心が高く、例年全校児童の半数近くが挑戦している。
- ・学校運営協議会でボランティア（監督者）を募り、会場の環境整備や試験監督等の運営を実施した。

#### 早朝きみだランド・サタデースクール・パワーアップタイム

- ・地域人材を活用して、令和6年4月よりほぼ全ての登校日に「早朝きみだランド」を開催した。
- ・放課後子ども教室推進委員会との共催で、パワーアップタイム（放課後補習教室）を毎週2回、サタデースクールを土曜日に毎月1回、漢字検定を年に1回それぞれ行った。
- ・学校のクラブ活動や地域の団体が集まり、音楽、ダンス、演劇など多様なジャンルの表現活動を披露し合う場となっている。



## ■令和6年度の運営目標

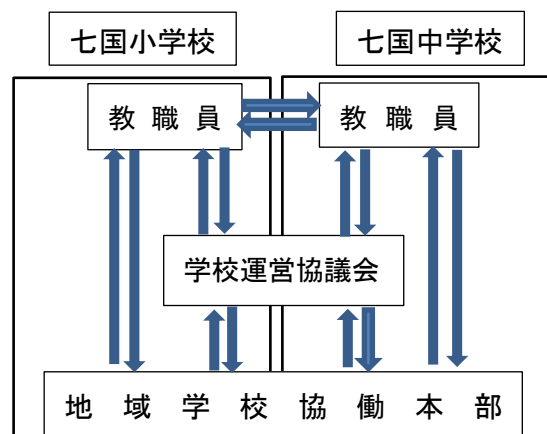
### ○学校運営に係る協議

両校の学校教育目標の達成を目指し、両校の状況を把握しながら、学校運営協議会委員全員で知恵を出し合い、両校の学校運営に意見を反映させる。

### ○教育活動に係る支援

児童・生徒の様々な教育活動を参観し、必要な関わりをもつ中で、両校の児童・生徒の心身の豊かな成長を支える。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営についての協議等

- ・学校運営を進めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・地域との連携を深めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・地域学校協働本部の役割について協議
- ・他の学校運営協議会の取組についての研修

### ○地域や保護者への周知

地域運営学校として活動したことや学校運営協議会の目的、活動、学校運営協議会委員について学校運営協議会だよりを発行し、学校だよりや学校ホームページへの掲載及び印刷配付を行い、周知を図った。

### ○七国コミュニティ・カレンダーの作成

小学校、中学校、どんぐりの会、ななくに会、地域、青少対、その他関係諸機関等、それぞれの活動・取組を一覧できる七国コミュニティ・カレンダーを作成した。

### ○特色のある取り組み

- ・七国地区学園都市構想（小・中学校）
- ・中学校吹奏楽部による小学校での吹奏楽の発表
- ・中学生による英語スピーチコンテストの小学校での発表会

### ○学校行事

小学校…運動会、学校公開、校内書写展、展覧会、卒業式 等

中学校…避難訓練、道德授業地区公開講座、意見交換会、合唱コンクール、薬物乱用防止教室  
展示発表会、卒業式 等



## ■令和6年度の運営目標

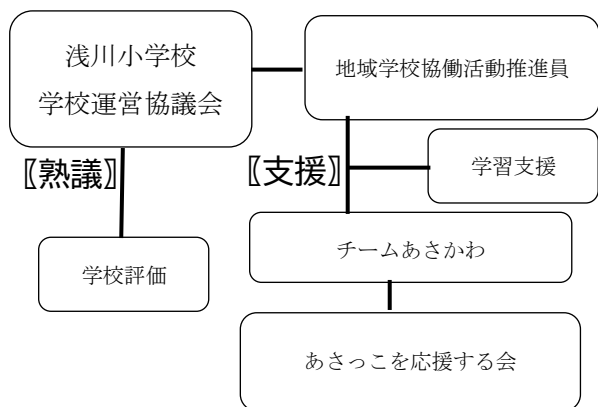
### ○学校運営に係る協議

- ・教育目標「自ら学び」「思いやりをもつ」子の育成における学習面、生活面での支援
- ・PTA、他団体（浅川中等）との連携と親睦により必要な場面での協力体制の構築

### ○教育活動に係る支援

- ・地域特性を生かした郷土学習（日本遺産・霊気満山高尾山）の推進へのサポート
- ・CSが核になった児童、保護者、小中教員が連携した児童の育成
- ・支援が必要な児童へのサポート

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○チームあ・さ・か・わ

学校運営協議会の活動を4分割にして協議会委員が各活動いずれかに参加することで、全員が支援やサポート、参画できる仕組みづくりを行っている。

あいさつチーム・・・・・・・・・・あいさつ運動の実施～地域ぐるみの運動～

さがそうチーム・・・・・・・・・・地域の人材の勧誘～学習支援～

かがやきチーム・・・・・・・・・・基礎学力向上のための活動～郷土学習の実施、個性伸長～

わをつなごうチーム・・・・・・・・地域・組織との連携～親睦とサポート強化～

### ・あいさつ運動

令和6年度は、3回のあいさつ運動を実施し、学校を中心に通学路で教員とともに取り組んだ。

小中連携の活動として同日に実施し、あいさつ運動の幟旗を掲げて、両校の学校運営協議会が力を合わせてあいさつの輪を広げている。



### ・給食補助

令和6年度4月の当初は、1年生の給食補助に学校運営協議会メンバーが加わり、給食指導を手伝っている。1年生は初めての給食であり、担任だけでは指導が難しい場面もあり、学校運営協議会として1週間ほど補助を行った。



### ・学校運営協議会会長がゲストティーチャーに

令和6年度も4年生の環境（水・ゴミ関係）について、市役所に務めている学校運営協議会会長が学校を訪れ、環境部長・水循環部長として取り組んできたことや、その内容について講演を行った。子どもたちからもたくさんの質問があり、学校現場の教育活動を支えながら、学校教育への理解も深めている。



## 令和6年度の運営目標

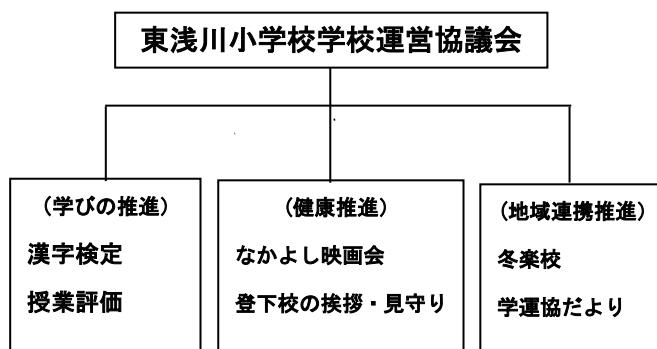
### ○学校運営に係る協議

学校と保護者や地域の方が共に知恵を出し合い、協働しながら、児童の豊かな成長を支えていく「地域と共にある学校づくり」を進める。

### ○教育活動に係る支援

児童のより深い学びを実現するため、学校運営協議会が中心となり、PTA等と連携しながら、多くの教育活動を行う。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○冬楽校

児童が日頃味わえない様々な体験活動を通し、日常生活の中でも生かされることをねらいとして事業を実施した。

内容としては、ボッチャ、昔話語り部、車椅子体験、AEDの使い方、戦争体験学習を各学年の実態に合わせて実施することで、地域への愛着と地域の方とのつながりを深めることができた。

### ○なかよし映画会

1学期の学校公開で、東京都人権プラザから借りてきたDVDを使って、学年ごとに人権教育に関する映画鑑賞会を行った。内容は、いじめや不登校、SNS問題、自殺等の現代社会の問題について取り上げ、親子で語り合い、ともに考え、自他の心に向き合うことをねらいとして学校全体で取組、人権の尊重といじめの防止につなげた。

### ○漢字検定

夏休みに陵南中学校、2学期に本校を準会場として2回実施した。確かな学力を身に付けた子どもの育成のひとつとして、多くの児童の漢字力向上を目指し小・中連携で実施した。

### ○授業参観・授業評価

学校公開での授業参観と授業評価を通して教師の授業力向上をねらいとして行うことにより、児童の学力向上と開かれた学校づくりをめざして実施した。

### ○登下校の挨拶見守り

大規模マンションや大型ショッピングセンターが通学路と近接していることから、甲州街道や町田街道、けやき通り等、通学路における登下校の挨拶見守りを通し、安全・安心な登下校をめざして実施した。

### ○学校運営協議会だより

月に1回の学校運営協議会の内容を、保護者や地域の方々に周知し、理解と協力を仰ぐことをねらいとして発行することにより、学校と地域との継続した連携を行うことができた。

### 令和6年度の運営目標

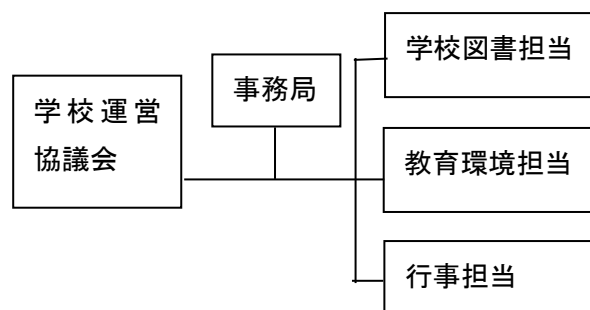
#### ○学校運営に係る協議

- ・教育目標の「すすんで学習しよう・あったかい心をもとう・じょうぶな体をつくろう」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

#### ○教育活動に係る支援

- ・学校運営協議会について、地域住民や保護者に情報を発信していくとともに、組織の活性化を図る。
- ・昨年度、創立150周年の取組により、つながりをもつことができた地域の方々の、学習活動への参画を進めていく。
- ・令和6年度に開設した放課後子ども教室の活動が充実したものになるよう支援していく。

### 運営体制



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○学校運営協議会での協議

本校の学校運営協議会のメンバーの多くは、地域の健全育成に関わる諸団体に所属している。そのため学校の教育活動を支援し児童や教職員を支えようという意識が高い。

以下は、学校運営協議会で協議した内容である。

- ・学校教育目標実現に向けた、学校運営協議会の関わり方について
- ・児童アンケートの報告と、いじめ防止に向けた方策について
- ・放課後子ども教室の活動状況について
- ・図書ボランティア、園芸ボランティアの活動の充実について

#### ○学校図書担当の取組

本校の言語活動向上の一環として、詩の暗唱と読み聞かせを行ってきた。図書ボランティアによる読み聞かせは、月2回程度、全学年で実施した。また、環境整備に力を入れ、図書室前の掲示板には読書への意欲をもたせるような掲示物を作成した。



図書ボランティアによる読み聞かせ

#### ○教育環境担当の取組

学校運営協議会と保護者のボランティアが連携した園芸活動を通して、学校環境向上に取り組んでいる。ガーデニングに詳しい保護者の方の協力を得て、月に1回、花壇の整備を行った。登下校する児童たちだけではなく、由木中央小学校前バス停を利用する地域の方々にも憩いの花壇としても親しまれている。入学式では花々をバックに写真撮影をする家族が多くみられた。



園芸ボランティアによる花壇整備

#### ○行事担当の取組

学校運営協議会委員が、小中一貫教育3校が合同で開催した「いじめ防止研修会」に参加した。学校のいじめ対応について、理解を深めることができた。

学校運営協議会委員対象の給食試食会を実施し、学校給食について理解を深めた。



### 令和6年度の運営目標

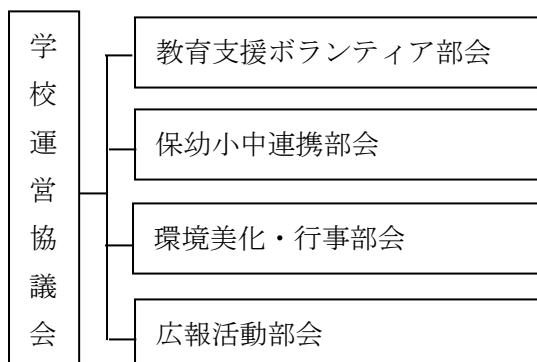
#### ○学校運営に係る協議

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりをさらに推進する。

#### ○教育活動に係る支援

年間行動目標を「地域の良さを生かした運営体制」とし、学校運営協議会として協議を行う。

### 運営体制



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○由木東小学校運営協議会での協議に関すること

##### ・別室指導(ゆずルーム)の運営

本校は別室(ゆずルーム)に通っている不登校気味の児童が在籍している。不登校になる要因は様々であり、対応も個々によって違ってくる。その児童の見守り体制をどうするのか。今後の別室指導の在り方・運営方法等の協議を行った。近隣の大学と連携してボランティアを募集し、その人材を活用しながら別室の運用を行った。

##### ・地域と連携した学習活動の計画

4年生の総合的な学習の時間で行う川の学習を、地域の大栗川や里山の自然を活かした学習計画に見直した。また、その学習活動が、教員が行う上で無理がなく、継続的にできる方法を協議した。

#### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

##### ・講演会の実施

9月の学校公開の際、学校と家庭・地域が連携し、子ども達をどのように育成するべきなのかを目的にし、講師の先生を招き、「家庭でできる子どもの意欲の伸ばし方」という表題で講演会を行った。



##### ・校内の水田での稲作体験・学習

5年生の稲作体験では、田おこし・代掻き等を保護者・地域の方に御協力いただき実施した。5年生の児童も参加し、稲作で行う最初の作業を体験することができた。今後も継続して行える取組にするために、それぞれの作業を写真に撮り、手順を整理することができた。



##### ・あおぎり祭

今年度もあおぎり祭を開催した。ゲームや工作、各種体験プログラム、模擬店など児童が楽しい時間を過ごすプログラムを実施した。雨の中の実施ということで、来場者数は去年と比較すると100名程度少ないが、低学年・未就学児の参加が多く、次回以降継続的な参加が期待できる。また、保護者の来場も多く、幅広い世代にアピールできた。



## 令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

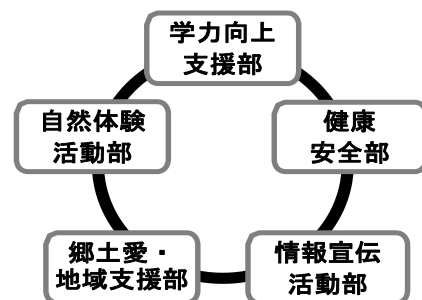
- ・年度初めの学校長からの学校経営計画を受け、学校公開の授業参観や行事を通じて学校運営状況を確認し、児童理解を深める。

### ○教育活動に係る支援

- ・由木西小の児童や地域の特性やよさを生かし、PTAと連携した取り組みの企画や、専門部会活動を進める。

## 運営体制

### 由木西小学校学校運営協議会 組織図



5つの部会が中心となって活動しています

## 令和6年度の特徴ある取組

### ○筍まつり

保護者と学校運営協議会をつなぐ企画を提案し、4月に学校林の竹林整備を兼ねた「筍祭り」を行った。保護者のマンパワーで密集した竹を切り出し、竹を祭りのイベントに利用するこの企画の中心となり、保護者や学校と協力して楽しむことができた。

### ○音楽鑑賞教室

学校運営協議会企画事業として、今年度は6月に音楽鑑賞教室を行った。全校児童と保護者・教職員とともに、朗読と音楽による演奏を鑑賞することができた。

### ○地域歴史研修会

9月に郷土愛・地域支援部が地域歴史研修会を企画し、児童・保護者・学校運営協議会委員30数名と、鍾水諏訪神社の史跡や地域に現存する地層を見学した。学区域を共に歩くことで、地域遺産への理解とPTAの交流に努めた。

### ○学校運営協議会だよりの発行

隔月で「学校運営協議会だより」を発行し、学校運営協議会・地域・学校関係者のコラムや、由木西小の歴史、地域の史跡などの情報を発信することで、学校や地域への関心や理解につなげた。

### ○朝の読み聞かせ

PTA図書ボランティアとともに毎月絵本の読み聞かせを行い、児童がより本に親しむ機会をつくるとともに、「第四次読書のまち八王子」を推進している。

### ○校内外の花壇整備

年間を通じて、学校運営協議会組織ガーデニングラバース、グリーンファミリーズによる校内や通学路花壇の整備と管理を行い、四季を通じて花に囲まれた明るい学校づくりに尽力した。



### ■令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

教育目標「じょうぶな子 よく考える子 なかよくする子 がんばる子」を達成するため、学校・保護者・地域が協働する学校づくり、地域に根ざした、地域とともにある学校づくりを実現する。

#### ○教育活動に係る支援

- ・ 特色ある教育活動の一層の充実のため、地域人材の確保や活用推進及び組織的に進めるための体制を作る。
- ・ 小中一貫教育推進のため、3校合同学校運営協議会を行い、児童・生徒のよりよい育ちについて協議する。

### ■運営体制

#### 3校合同学校運営協議会

鹿島小学校学校運営協議会  
松が谷小学校学校運営協議会  
松が谷中学校学校運営協議会



青少年対策

松が谷地区委員会

鹿島連絡協議会

松が谷連絡協議会

### ■令和6年度の特色ある取組

#### ○生産活動

なかよし班（縦割り班）活動でサツマイモを栽培し、収穫し、保護者や地域の方の協力を得て、焼き芋を焼き、学校公開として収穫祭を実施した。

#### ○地域の人材活用

1・2年生の生活科において、多くの地域の方から「昔遊び」のご指導をいただいて実施した。

#### ○あいさつ運動

青少年対策松が谷地区委員会と、本校の保護者と教師の会が門に立って、「あいさつ運動」を行った。

登校してくる児童にあいさつをすると、少し照れながらも、すすんであいさつをする児童がたくさんいて、気持ちの良い一日のはじまりになる。地域と学校が一体となって、すすんであいさつをすることができる児童を育てている。

#### ○小中一貫教育

松が谷中学校、松が谷小学校の3校で、「自ら考え判断し、行動できる児童・生徒」「自主的に学習に取り組むことができる児童・生徒」「思いやりや感謝の心をもった感性豊かな児童・生徒」「地域に愛着をもち、貢献できる児童・生徒」の育成を目指し、9年間を通した教育課程の編成について協議した。

#### ○3校合同学校運営協議会

令和7年度3校同時に迎える創立50周年に向けての行事等について情報交換を行い、記念式典の日程確認を行った。





## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

「松が谷・八王子の未来をつくる『元気でなかよくがんばる子』の育成に向け、すべての児童が自己発揮・自己実現しながら共に伸びる、他者（ひと）も自分も大切にする学校」

学校経営計画に基づき、保・幼・小・中・高・大・地域連携や郷土学習とのつながりを重視して、児童が自発的に学びを深め、共に伸びる教育活動の実現に向けた協議を行う。

### ○教育活動に係る支援

「学校・家庭・地域が互いに協力して児童の育成に努める、地域に根差し開かれた学校」

松が谷地区の地域と保護者、幼・保・小・中・高・大が一体となり、幼児、児童、青少年の健全育成に繋がる活動を創造する。

## ■運営体制

松が谷小学校  
松が谷小学校学校運営協議会  
3校合同学校運営協議会  
松が谷中学校学校運営協議会  
鹿島小学校学校運営協議会

家庭  
保護者と教職員の会

地域  
青少年対策松が谷地区委員会  
松が谷連絡協議会

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議

松が谷中学校、鹿島小学校と共に迎える来年度の創立50周年に向け、児童の育成方針と各種行事、地域との連携について協議した。松が谷・八王子の未来をつくる「元気でなかよくがんばる子」の育成に向け、行事や授業、生活指導、いじめ対応、不登校対応、保護者対応等について幅広く協議した。

### ○学校運営協議会委員による行事・授業の参観・視察

道徳授業地区公開講座で意見交流を行ったり、体育的・学芸的行事、授業等の参観・視察を行ったりすることで、学校・家庭・地域で共通した児童像をもち、その成長を支えるために、教育活動に対し助言・提言を行った。

### ○英会話学習指導補助

地域人材として英会話学習指導補助者を活用し、低学年段階から英語のコミュニケーション能力を伸ばすことを目的とする英語活動を行った。多くの低学年児童が楽しみながら活動し、中学年以降の英語に対する抵抗感を減らしながら、児童の学習意欲をいっそう引き出すことができた。

### ○放課後英語活動

松が谷高校のESS同好会による放課後英語活動を3年生・4年生を対象に行った。ESS同好会の生徒とALT、顧問の教諭が来校して、児童と英語で季節に合わせたゲームや歌を楽しんだり、英語のフレーズを使って楽しくコミュニケーションを図ったりして、英語への関心を高めることができた。

### ○小中一貫教育(松が谷中学校・松が谷小学校・鹿島小学校)

6年生が中学校で授業体験を行ったり、合唱祭りハーサルを参観したりした。中学校教諭による小学校での出前授業も実施した。3校合同チームを設置して、各教科の授業改善や人権教育に取り組んだ。



## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

食育の支援

### ○教育活動に係る支援

小中一貫の取組として、中山中学校の学校運営協議会と協力した漢字検定の実施。(年2回)

## ■運営体制

中山小学校学校運営協議会

学校コーディネーター

生き生き部会

栽培・食育

元気な子部会

行事

のびのび部会

学習

地域・校内支援団体

おやじの会 ひまわりの会

放課後子ども教室

図書ボランティア

(読み読みの運営を含む)

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○食育の支援

令和6年度は地域人材・環境を生かし、生活科・総合的な学習の時間に児童に農業体験をさせた。それにより、学産学消(学校で作った野菜・米等を給食等で使用する)・食育・日本の伝統文化の継承につながった。



### ○読み語り・エコキャップ運動

通年、毎週水曜日、朝の時間に図書ボランティアや教員による「読み語り」を各教室で実施し、心を安定させて始業することにつながっている。



また、児童会が中心となり、エコキャップ運動(児童や地域の方が持ってきてくださるキャップを集めて、発展途上国へ支援をする活動)を推進できるように、活動を継続的に支援している。

### ○焼きいも祭り

さつまいもの栽培活動を支援し、収穫を祝い焼いて食べる活動までを、子どもたちと一緒にやっている。焼きいも祭り当日は、保護者(おやじの会等)の協力を得ながら、校庭でかまどのセッティングから後片付けまで協力して行っている。



### ○環境整備

学校の正門前や、校舎の周りの花壇の花植えや手入れなどを定期的に行っている。

また、児童が校舎裏のビオトープの維持のための環境整備や手入れ、清掃活動等を行っている。それにより、学校に対する関心が高まり、見守りの目が増え、児童の安心・安全につながった。



## 令和6年度の運営目標

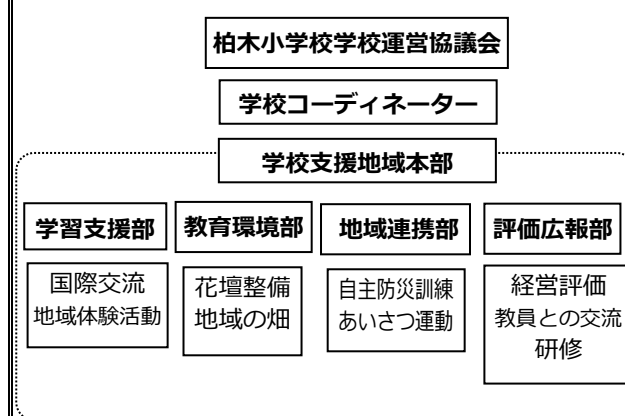
### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営に関する意見・承認
- ・教職員との連携
- ・学校運営協議会の運営等に関する地域への広報活動

### ○教育活動に係る支援

- ・人材バンクの登録の声掛けと名簿の作成
- ・体験活動を通して「学びを実感できる場」の提供
- ・栽培活動を通し、生命尊重への意識を高め、環境について考える機会を作る。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○体験活動の充実「日向緑地遊学会」との連携・田んぼづくり

「日向緑地遊学会」と連携し、6年生が竹林の保全活動に参加した。伐採した竹でプランターを作り、近隣施設に設置する活動を行った。地域の方の力を借り、5年生は田んぼをゼロから作り、米の栽培・収穫を行った。地域の方とのコーディネートを行い、児童に地域を大切に思う気持ちが育った。



### ○花壇・畑整備

校地内に畑を作り、地域の方の協力のもと、野菜を栽培した。収穫した野菜は給食食材としても使用し、食育にもつなげた。花壇やプランターで花を育て、「花いっぱい運動」に取り組み、環境委員会が中心となって、学校環境の整備を図った。



### ○保幼小連携

小学校教員と近隣保育園職員との合同研修を実施した。また、近隣保育園との交流として保育園児が「地域の畑」の野菜を収穫した。



### ○教職員との連携

教職員向け研修会や懇談会を実施した。

### ○おはようコミュニケーション

南大沢中・南大沢小との3校学校運営協議会で「あいさつができる子」の育成とそれを支える地域づくりを目指し、毎月第1水曜日の朝に地域でのあいさつ運動を行った。

### ○地域防災訓練

「共助」のための学校を拠点とした地域防災訓練を行い、消火訓練、地震体験、避難所運営訓練を行った。

### ○広報活動

展覧会で、「地域の部屋」に学校運営協議会の取組や活動の様子の写真展示を行った。





## 令和6年度の運営目標

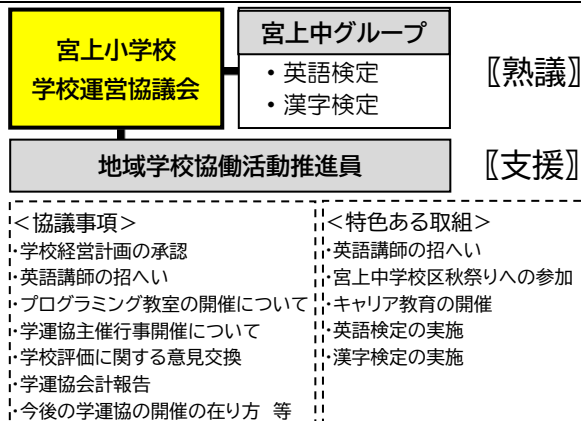
### ○学校運営に係る協議

学校・家庭・地域の連携を深め、信頼関係を強化することにより、学校運営の改善や子どもたちの健全育成を図り、地域に開かれた学校づくりを目指す。

### ○教育活動に係る支援

コミュニティースクールとしての特色を活かした学校教育活動の充実を目指す。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○英語講師の招へい

地域の英語教育で実績のある講師の招へいという形で、充実した英語活動を行っている。子どもたちへの授業のほか、英語講師の授業を教員が参観することにより、英語指導のスキルを高めることにつながっている。

昨年度に引き続き、令和6年度も平日に開催した学校運営協議会の際に英語の授業を参観する機会があった。英語講師の授業はとても充実しており、子どもたちが、とても楽しそうに授業に参加していた。

英語講師の招へい



### ○キャリア教育の実施

10月25日（金）に、6年生を対象としたキャリア教育（はちっこワーキング）を実施した。空手道の団体や化学製品製造企業、IT企業、臨床心理士、キャビンアテンダントの他、警察・福祉・救急救命・金融業界の第一線で活躍する方々を講師に招き、いずれも講師の話を単に聞くだけではなく、職業体験も併せて行い、子どもたちが、将来の職業や生き方を考えるととても良い機会となった。来年度も更に充実した取組が行えるよう計画し、より充実した活動にしていきたいと考えている。

キャリア教育の実施



### ○宮上中学校グループの連携による英語検定・漢字検定の実施

宮上中学校グループ（宮上中・下柚木小・宮上小）の3校が連携し合い、今年度も英語検定と漢字検定を実施した。漢字検定においては、宮上小学校の学校運営協議会が中心となり、保護者の方々のボランティアを募集し、漢字検定の運営を行った。

また、今年度も宮上中学校で行う英語検定に小学生も参加し、小中合同で実施することができた。学校運営協議会の主催によりこれらの取組が持続可能なものになると考えている。今後も3校が連携し合い、更に充実した取組となるよう模索していきたい。

漢字検定の実施





## ■令和6年度の運営目標

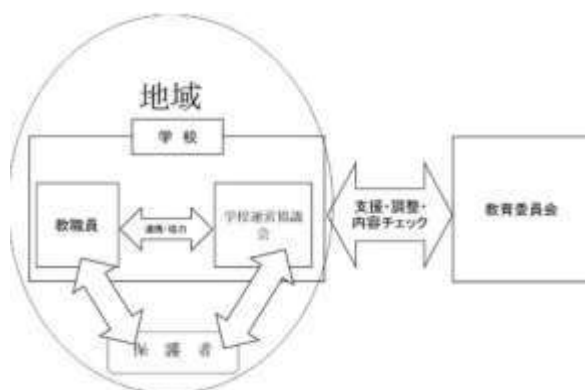
### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営協議会を中核として、各種のボランティア活動（交通安全・花壇・図書・外国語）を組織し、それらの活性化を図る。
- ・学校運営の基本的方針や学校評価について審議し承認する。また学校運営への支援などに関わる意見や教職員の任用に関する意見をまとめる。

### ○教育活動に係る支援

- ・地域の力（大学や有識者ほか）を活かしたサマースクール2024 の開催や、周囲の豊かな自然環境を活かした総合的な学習（水田やカイコの学習）などを支援する。
- ・放課後子ども教室ほか、児童の居場所づくりなど、児童の健全な発達を支える環境を整備し運営する。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での関連な議論

学運協では学校周辺で生起している様々な事象を基底的にとらえ直しながら関連な議論がなされた。

児童の体力や運動能力が劣る傾向にあることについてどのような取り組みが有効であるか話し合った。

地域運営学校の基盤ともなる職員・保護者・地域の交流については特に力をいれて議論しているところであり、そのための方策をいくつか検討している。その中から今年度は、サツマイモを児童とともに栽培・収穫し、それをいっしょに食べる会を学校において実施し、交流の機会を設けた。

### ○地域の豊かな自然と多彩な人材を活かした地域運営学校として

コロナにより2020年から3年間の中断があったが、再開した2023年に続き、多彩な能力をもつ保護者・地域の方々や教員の協力を得てサマースクール2024を企画し、夏休み冒頭の3日間に35の講座を編成して実施した。

児童や保護者などへの周知には学校運営協議会のウェブサイトを開設して活用し、講座内容の周知・募集から児童の参加申込の受付・抽選とその結果の児童への通知などに、デジタル技術を駆使した。参加した児童は270名であった。

学校周辺には環境省の選定した重要里地里山500に含まれる2つの場所があり、豊かな里地里山の自然に囲まれている。地域の公園や里山クラブの協力をえて、伝承されている水田耕作を田起こしから脱穀まで実際の水田で体験したり、里山での野鳥ほかの多様な動植物に接し観察したりするなど学習した。

またニュータウン開発前の地域のありさまを地域の方々から学んでおり、桑都八王子の伝統のもとカイコの飼育から真綿作り・糸紡ぎ・織りの体験学習についても地域からの支援を受けて行った。



サツマイモ栽培



水田学習



地域の歴史



繭から座繰り体験



## ■令和6年度の運営目標

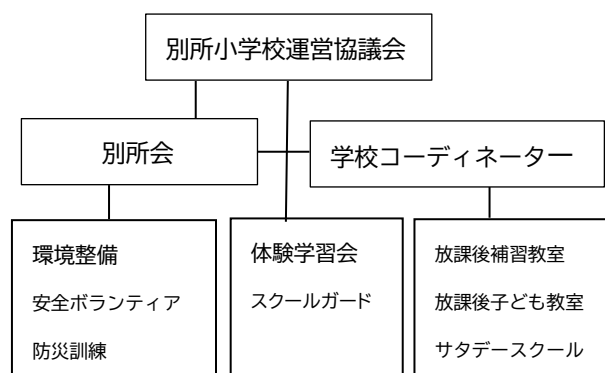
### ○学校運営に係る協議

教育目標の「自分をのびします・心をみがきます・元気にすごします」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

### ○教育活動に係る支援

教職員や保護者との連携を図り、児童の実態を把握し、本校の実態に即した教育活動を推進する。本校の特色を活かし、児童の学習補習、学校花壇や図書館整備を行う。学校と地域を結ぶ役割を担う活動へと展開できそうな情報を共有し、活動の充実を図る。また、地域住民や保護者に対し、学校運営協議会の取組について、学校だよりやホームページで情報提供をしていく。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○土曜日体験学習

サタデースクールと共同して実施した、自由工作イベントや火起こし、ゲストティーチャーを招いての体験活動などを行った。

子どもたちのチャレンジや、達成感を味わわせる大切な機会になるとともに、地域で子どもたちの健康や安全を守るという意味でも有効な活動となっている。

### ○学習支援ボランティア活動

中学生ティーチャーや、地域・保護者の方に協力を仰ぎ、学校の図書室や家庭科室等で補習や自主学習の丸付け等、児童と交流しながら学力向上を図る取り組みを行った。基礎学力の向上に寄与するとともに、子どもたちの居場所の確保にもつながっている。

### ○地域の教育力の活用

地域の方や地域のプロアスリートを講師として招いた体験授業を行った。子どもたちが将来への夢や希望をもち、キャリア教育につながる活動となっている。



### ■令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

「主体的に生きる力を身に着ける」を踏まえ、児童の素地を豊かにする為に多様な人材による経験を与える。

#### ○教育活動に係る支援

保護者・地域・学校が連携を強め、上柚木地域らしい地域学校協働活動を進める。

### ■運営体制

学校運営協議会便りの発行各種事業の業務

#### 環境整備

- ・学校図書館
- ・学校事務、用務との連携

#### 行事担当

- ・放課後子ども教室
- ・愛宕 Camp
- ・漢字検定
- ・保護者ケア
- ・授業サポート

#### 地域連携

- ・保幼小連携
- ・町内会
- ・人材活用（地域住民・近隣大学）

### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○愛宕Camp

夏休みに学校施設を利用した親子の防災体験活動を実施。地域の方や卒業生等にボランティアとして参加してもらった。

参加者は異学年グループで活動し、食事の準備や片付けは共同作業とする。その中で大人同士も知り合い、他の児童の発達段階や他の家族のルールを知る機会となる。

プールでの自由遊泳や、卒業生企画の暗い校舎内での宝探しが人気で、食事は市の防災課からのα化米や水を利用し、宿泊にはマットや毛布を使用して避難所の実態を知ってもらった。

#### ○教育支援

学校コーディネーターを中心に地域の方や近隣大学の学生等を巻き込んで活動を展開し、学校と地域が連携して子どもを育てる体制づくりを構築した。

1・2年生：七夕作り 2年生：ピーポくんの家駆け込み体験

3年生：蚕の飼い方と繭の工作・昔の暮らし

4年生：大学生によるサッカー指導・点字授業

5年生：日本の伝統文化（茶道） 6年生：キャリア教育

保護者の方には、漢字検定試験、英語検定試験（上柚木中と連携）、プール授業の見守り、ミシン・調理授業サポート、パパパトロール（運動会）などをお願いした。

#### ○放課後子ども教室

子どもの居場所づくりとして、放課後子ども教室を実施している。令和5年度からは朝の時間にも校庭開放を実施し、始業までの時間に校庭で外遊びができるようになった。

平日午後には、「プログラミング体験」「サッカー体験」「子ども食堂」「（プールから）ヤゴ救出作戦」「中学校の部活動体験」などを企画している。

土曜日には、「スポーツ鬼ごっこ」「バトミントン」「剣道」、夏休みには、学童と共催の「昼食提供」を実施した。





## 令和6年度の運営目標

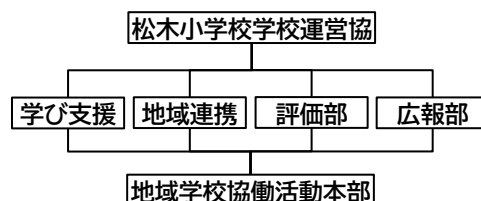
## 運営体制

### ○学校運営に係る協議

学校経営方針の「自己実現できる学校」を目指し、「みんなの子供をみんなで育てる」E S Dを重視した学校・保護者・地域協働の学校づくりを実現する。

### ○教育活動に係る支援

- ・中学校区3校・PTA合同協議会を行い、学校とともに保護者・地域が連携し、参画意識の向上に努める。
- ・協議会が核となり、実働できる人材の確保を行う。
- ・広報・HPなどを活用し、地域運営学校の趣旨や活動内容について積極的に周知する。



協議会内に「学び支援」「地域連携」「評価」「広報」の4部会を設置し、活動を分担して推進。松木中、長池小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会・3校合同地域学校協働活動も展開する。

## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営に係る協議

教育課程、学校経営計画、学校予算、移動教室・運動会の実施内容、教職員の人事具申、学校評価アンケートの内容・実施方法・学校評価など、学校運営全般について協議を行った。

不登校児童や行き渋りの児童への支援、児童の安心・安全な学校生活の支援について協議会で協議をおこなっており、今年度も、松木中学校区3校（松木中学校・長池小学校・松木小学校）の合同学校運営協議会で、児童・生徒の居場所づくり「ぬくぬく」を年間通じて実施。具体的には、水曜日の放課後に居場所づくりとして、地域の自治会館を借りて、自由に過ごせる居場所をつくり（カードゲームなどを用意）、年数回、駄菓子屋を開催。多くの児童・生徒が参加し、相互交流や健全育成につながった。

また、地域全体で児童・生徒を支えるため、松木中学校区3校合同学校運営協議会における協議や熟議も行った。

### ○教育活動に係る支援

#### ・ゲストティーチャー（12歳のハローワーク）

6年生対象。保護者や地域の方を中心とした様々な職業の方を講師に迎え、仕事内容や働くということについて話を聞き、キャリア教育を推進。

#### ・漢字検定

毎年挑戦する子も多く、成績優秀者は朝会で表彰。受検監督は保護者・地域の方々に依頼。

#### ・学習会（放課後・夏休み・春休み）

放課後（5月～10月）、夏休み（3日間）、春休み（2日間）で開催。

指導者は保護者や地域の方々。夏休みは松木中の生徒に学習の補助を依頼。

#### ・はなまるボランティア

児童が自分の課題に合わせて自由に取組んだ「まっぎプリント」を、保護者・地域の方が「はなまる先生」になって丸つけを実施。

#### ・浄瑠璃祭りの企画・運営

松木中学校区3校合同学校運営協議会主催の浄瑠璃祭りを開催。

児童が発表に参加、保護者は模擬店出店や浄瑠璃祭り運営スタッフとして参加。



駄菓子屋



漢字検定



ゲストティーチャー



## 令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

- ・教育目標である「自立・共生」の具現化を目指し、学校運営協議会を中心とし、学校・家庭・地域の協働体制を進める。
- ・学校コーディネーターや学校運営協議会委員を核とした、保護者・地域住民によるボランティア組織を拡充し、児童の教育への直接的・間接的な活動の幅を広げるとともに、保護者相互の関係性を高める支援に努める。

### ○教育活動に係る支援

学校の重点指導目標である「学力向上」に寄与し、具体的な教育活動の支援を行い、児童の育成に努める。

## 運営体制

| 学校運営協議会      |              |
|--------------|--------------|
| (下部組織として)    |              |
| 5委員会         |              |
| 【学力向上委員会】    | 【学校図書館推進委員会】 |
| 【放課後見守り委員会】  | 【地区班担当委員会】   |
| 【学校林活用推進委員会】 |              |

## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会の活動内容

令和6年度は、学期に1回拡大学校運営協議会を開催し、保護者・地域・関係機関と学校とが協働して児童の健全育成に取り組む仕組みづくりをすることにより、学校運営協議会を軸に、「地域運営学校」としての運営力が確実に発揮された。

### ○学力向上委員会

平成25年度に「放課後算数教室」(通称・下柚木道場)を開始。3年生以上の入門希望児童(対象児童の約20%)が、東京都ベーシック・ドリルを活用して学習している。また、授業時間にも保護者や地域からボランティア支援を募り進めた。



### ○学校図書館推進委員会

毎月1回程度、金曜日の朝に予定している読み聞かせや、毎月第二金曜日における学校図書館整備、寄贈図書運動の推進などを主な活動とした。



### ○放課後見守り委員会

主に放課後子ども教室の企画・運営に携わり、委員の人選等も行った。  
また、地域や施設使用団体、近隣中学校とも連携し、同時時間帯に催し等を実施した。



### ○地区班担当委員会

各地区の担当者(保護者)と学校とが意見交換をして課題解決に当たった。拡大学校運営協議会の回を重ね、PDCAが機能してきたため、円滑な運営につながった。

### ○学校林活用推進委員会

八王子市都市公園指定管理者等の支援の下、講師やボランティアの協力を得て、計画的に学校林を活用した学習を進めた。特に5年生は、環境学習の観点から、学校林の自然観察を行い、森林保全についてレクチャーを受けるなどの体験的環境学習を実施した。

### ■令和6年度の運営目標

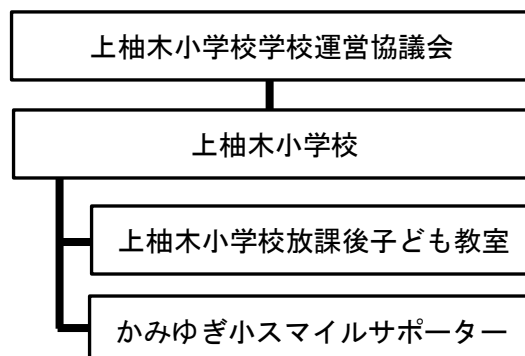
#### ○学校運営に係る協議

学校経営方針のめざす学校像『笑顔と元気なあいさつ、思いやりと優しい心であふれた上柚木小学校』を実現させるため、学校・家庭・地域のより良い協働の仕方について協議する。

#### ○教育活動に係る支援

学校運営協議会を通して『上柚木小学校らしさ』を生かし、学校とともに家庭・地域社会が連携し、『地域で子どもを育てる』を推進するために、地域住民や保護者に対し、運営目標や協議の結果を積極的に情報提供する。

### ■運営体制



### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○漢字検定・英語検定

学校運営協議会設置以前（平成26年度）から、学校コーディネーターや学校運営協議会のバックアップにより、年2回の漢字検定を実施している。令和6年度は漢字検定だけでなく、小中一貫グループの学校運営協議会共催で英語検定・数学検定も実施した。今後も児童の学習意欲の向上に寄与していく。

#### ○星空観望会

令和4年度より「星空観望会」を実施している。コニカミノルタサイエンスドーム館長と八王子天文同好会に協力を依頼し、理科を専門とする教員が中心となって企画した。令和6年度は残念ながら天候不良であったため中止となった。今後、学校運営協議会メンバーも運営に協力し、参加児童とその保護者が安全に参加できるように見守っていく。



星空観望会 R5

#### ○放課後子ども教室「ゆずっこひろば」との連携

保護者の有志が自発的に立ち上げ、学校運営協議会と連携しながら毎日実施し放課後の子どもたちの居場所として重要な役割を担っている。学習教室や多様な「サークル活動」、地域のスポーツ団体と連携したスポーツ教室、サタデー教室、と活動は多岐にわたり年々充実してきた。令和6年度は新たに「朝活動」を立ち上げ、軌道に乗せた。

スタッフは、児童にとって『信頼できる地域の大人』であり、保護者にとっては『子育てお悩み相談所』となっている。今後は不登校支援の一助となるように熟議を重ね、有効な方策の検討を行っている。



工作教室



お面づくり



サマースクール



音楽サークル



園芸サークル



## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

長池小学校の学校経営方針の具現化をめざし、学校・保護者・地域が協力する地域学校協働活動を通じて、「一人も取り残さない」で地域とともにある学校づくりを実現する。

### ○教育活動に係る支援

子どもたちが自分の好きなことに打ち込む、人と関わる、得意な分野で自分の能力を発揮する「子ども輝く@長池」を学校、家庭、地域が協力して支援する。

## ■運営体制



「学び支援」「地域連携」「評価」「広報」の4部会を設置し、活動を分担して推進。松木中、松木小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会としての活動も展開

## ■令和6年度の特徴ある取組



### ○長池茶話会の開催

年間1回2月に教職員、保護者、地域による情報共有の機会を設けることにより、多くの大人で子どもを見守る体制を構築。



### ○あいさつ運動の実施

あいさつの大切さを子どもの社会性を育てるための一つの手段として取り入れ、各学期に3日間ずつあいさつ運動を推進。



### ○いじめ対策委員会への参加

10月のいじめ対策委員会へ参加し、長池小のいじめ対策について、教員との意見交換を実施。



### ○保護者や地域との連携

登校時の危険箇所について学運協として検討し、児童の登校時の見守り活動を企画し、通年で実施。



### ○漢字検定の実施

年間1回1月、土曜日に長池小の児童を対象に漢字検定を実施。  
(4・5・6年生が実施)



### ○学校運営協議会だよりの発行

学校運営協議会だよりを6月と10月と12月に発行、広報活動を実施。また、3校合同学運協のお便り、HPも作成。

### ○その他の活動

松木中学校区3校（小学校2校・中学校1校）合同学校運営協議会（年間2回）、学校運営協議会となが いけ会（保護者の会）との意見交換会、避難所運営会運営の補助、浄瑠璃祭りの企画・運営、子どもたちの居場所づくり（ぬくぬく）、教職員との懇談会 等



### 令和6年度の運営目標

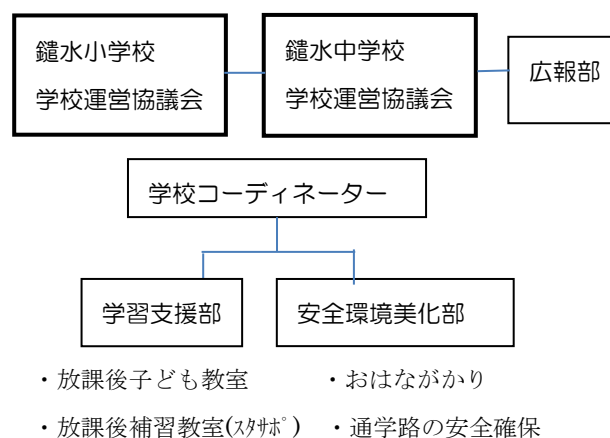
#### ○学校運営に係る協議

子どもの安全確保、学校・地域の環境美化・地域防災等学校経営課題の改善に向けて、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進していく。また、学校コーディネーターと連携して、従来の具体的取り組みを地域学校協働活動に位置づけ、学校支援事業と企画事業を一層推進していく。

#### ○教育活動に係る支援

- ・子どもの学力向上を推進し、教育活動のさらなる充実及び改善を図る。
- ・講演会を開催し、講師の方を招き、家庭教育へのアドバイスとなる機会を設ける。

### 運営体制



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○放課後子ども教室の充実

- ・放課後子ども教室は、令和6年度から始まった朝の時間（あさぷれ）と放課後の時間、また放課後補習教室（スタサポ）を行い、放課後子ども教室の充実を図った。
- ・各学期に数回、放課後子ども教室主催で、子どもが喜ぶイベントを開催した。（音楽会、染物、実験、プラバン作りなど）



#### ○緑あふれる学校づくり

お花がかりのボランティア活動により、学校花壇や校門前にお花を植えたり、学校花壇の整備をしたりした。季節に応じて活動を行い、緑あふれる学校づくりを目指した。



#### ○「おかえり喫茶」との連携・支援

令和5年度から学校運営協議会が後援している「おかえり喫茶」は、放課後の子どもたちや保護者、また地域の方の憩いの場としてイベントなどを行っている。



#### ○教育活動に関わる講師を招いての講演会の開催

外部から教育関係に関わりがある講師を学校運営協議会で検討して招き、保護者や地域の方に向けての講演会を開催した。令和6年度は「伸びしろはもっと伸ばせる！学童期の運動と成長の見守り方」と題して、理学療法士の方を招き講演してもらった。多数の保護者の方に参加してもらい、子どもの運動と成長の関わりについて考える機会となった。



## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

- ・不登校対策拠点校として、状況や課題を明確にして協議する。
- ・本校の抱える課題を明確にし、具体的な改善や対策の協議・助言を行う。
- ・保護者力向上のための施策を検討し推進する。
- ・東京学芸大学との連携事業の対応。

### ○教育活動に係る支援

- ・地域との交流の機会を増やし地域の誇りとなる学校づくりを検討し推進する。

## ■運営体制

高尾山学園学校運営協議会



高尾山学園学校サポート本部



メンバー：保護者・NPO法人・保護者OB  
民生児童委員他

活動内容：放課後カフェの運営  
やまゆりカフェの運営  
学習サポーター  
保護者力向上のための活動など

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議委員会による意見交換会及び情報交換会等

学校運営協議会委員には複数の学識経験者が参画しており、学校運営協議会委員による教員との意見交換会や情報交換会を実施している。また、年度当初には、教員全員と学校運営協議会委員が面談を実施し、教員の抱える課題などに対し的確なアドバイスを行い、円滑な子どもへの指導を行えるようにしている。

### ○学校運営に関する協議

本校学校運営協議会委員の豊かな知識を生かし、不登校対策拠点校として抱える状況や課題を明確にし、具体的な改善や対策の協議を行った。また、学校運営協議会主催行事の企画や運営について協議を行った。

### ○地域ボランティアを活用した「学力と社会性の向上」への取組

地域住民の方々と連携した「防災学習」などの近隣住民とのふれ合いを通じ、「学力と社会性の向上」への取組を行った。



### ○学校サポート本部(通称:TSnet)(教育活動に係る支援及び地域と連携した取組)の取組

平成27年度に設立準備を行い、平成28年度から運用開始。

本校にはPTA組織や青少対、育成指導員、子どもの会などの支援組織がない。また、保護者も八王子市全体に点在し、かつ途中転入生が多くを占めるため、横のつながりがもちにくい環境となっている。そこで不登校対策の一つとして「保護者力向上(参画意識や保護者の体験活動)」を目的として「学校サポート本部」を立ち上げ活動を行った。学校運営協議会委員が中心となり、教職員と連携して活動企画やボランティア募集、イベントの実施、コーディネーションを担当し、保護者の参加を促した。

また、近隣団地住民との交流の場として「落ち葉拾い」や団地の方々との交流を深める「館が丘団地謎解き巡り」などの交流を図った。(年度によって活動内容を検討し実施した。)

- ・図書ボランティア・・・図書館司書による読み聞かせ教室や整備活動支援。
- ・放課後カフェ・・・運営委員や民生児童委員等によってカフェを開催し、児童生徒と保護者や地域の方との交流会を実施。近隣高校の室内音楽部の演奏発表及び参加。
- ・やまゆりカフェ・・・運営委員、民生児童委員等によってカフェを開催し、やまゆり教室在籍の児童生徒と保護者や地域の方との交流会。

## 令和6年度の運営目標

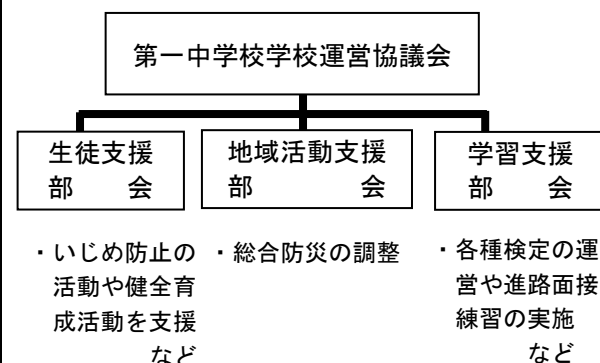
## 運営体制

### ○学校運営に係る協議

- ・思春期の子育てについて、講演を行う講師への依頼について協議し、運営を行う。また、子育てについて悩みを抱える保護者の支援を行う。
- ・漢字や英語の検定の準備、監督を支援することで教員の働き方改革の一助となる。また教員が子どもと触れ合う時間の確保につなげる。

### ○教育活動に係る支援

- ・学校と地域が連携した総合防災訓練において、地域企業との連携を図り、運営の支援を行う。



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○思春期の子育て支援の講演会の実施

今年度は生徒の健全育成を目指した保護者向け講演では、思春期保健相談士、看護師の藤野早織様に講演を行っていただき思春期の生徒との向き合い方を学ぶことができた。また、家庭内での性教育のあり方などについても話があった。講演会後には、意見交換会を行い保護者が抱える悩みを周りと共有することができた。講演はアーカイブでYouTubeにアップし参加できなかった保護者に見ていただいた。



### ○各種検定の準備・当日の監督

年間6回行われる各種検定試験実施の支援などを通して、先生の業務時間が生徒との時間に使われることを目的に支援を行った。各種検定の準備、監督は担当教科の先生に偏ることもあり、拘束時間も長いいため準備・監督の支援を行ったことで先生が生徒と接する時間の確保につながった。

また、昨今話題になっている教員の働き方改革にもつながってきていると感じた。



### ○地域企業との連携

第一中学校の周りには大きな企業が数多く存在する。その中で株式会社KENWOODが移転することになり、企業で使える物品を譲渡していただいた。机や椅子、テント、延長コード、司会台、傘立て、スコップなど状態も非常に良いものが多く学校運営に寄与することができた。

### ○地域と連携した総合防災訓練

「学校と地域が連携した総合防災訓練」は、学校運営協議会の会長が実行委員長を務めている。学校運営協議会は、生徒と地元消防団、地域の消防署、市の防災課と、地域の企業が連携した防災訓練となることを目指し、協議を重ね、具体的な方法を模索した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の防災関係部署と調整がつかず、実技を伴った訓練ではなく、消防署長を講師とした講演を行った。

### ○学区内の3小学校の学校運営協議会との連携

学校運営協議会委員が学区内3小学校の会議に参加することで、協議会レベルでの小中連携を深め、義務教育9年間の取組を模索している。



## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

学校運営協議会を定期的に年6回行い、学校と地域の双方向の情報共有と協力体制の充実を図り、学校、家庭、地域が一体となって生徒を育てる学校づくりを引き続き推進する。

### ○教育活動に係る支援

教育活動に関する年間行動目標を「授業の充実」「地域貢献」とし、学校運営協議会として熟議を重ね、情報交換や授業観察の機会を充実させ、協働的な取組等の進捗を見守りながら支援を続ける。

## ■運営体制

【熟議】

学校運営協議会

学校

【支援】

地域学校協働活動推進員

【学校活動支援】

- ・定期考査前学習教室
- ・不登校支援ボランティア

【地域活動】

- ・ふれあい講座
- ・地域清掃

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○基礎学力定着に向けた協議

学校運営協議会では、生徒の学力向上に寄与するために、基礎学力の定着に向けた取組について熟議を重ねた。

学校運営協議会委員が授業観察を行ったのちに、授業での指導方法、家庭学習や学習教室での工夫について教員とともに協議した。

また、生活習慣に着目し、朝食、睡眠時間、スマホ・携帯の使用を含めた家庭での時間の使い方等についても意見交換した。



### ○登校支援ボランティア

不登校生徒の居場所づくりとして、地域ボランティアの協力を得て別室「オアシス」を毎日開設し運営を定着させた。

不登校傾向や不適応を起こしている生徒が家から外出するきっかけとなったり、家族以外の人とのコミュニケーションを取る場となったりしている。継続的に別室登校できる生徒も出てきている。



### ○ふれあい講座

生徒がスポーツや伝統文化に触れること、地域とふれあうことをねらいとし、下記の14講座を開設して年2回実施した。講師は、地域のボランティア（約50名）に依頼し、はつらつと指導して頂いている。

講座では、生徒が普段できないことを体験したり、興味関心を深めたりしている。実施後は、地域ボランティアから「もっと教えた」「生徒から元気をもらっている」という感想も聞こえてきた。生徒の地域貢献に対する肯定的な回答も年々増えている。

（R4 62% → R5 71% → R6 71%）

「卓球」「ネオテニス」「柔道」「サッカー」「ダブルダッチ（バレーボール）」「ソフトボール」「フラダンス」「囲碁」「大正琴」「手話」「お手玉」「写真教室」「和太鼓」「民謡踊り」



## 令和6年度の運営目標

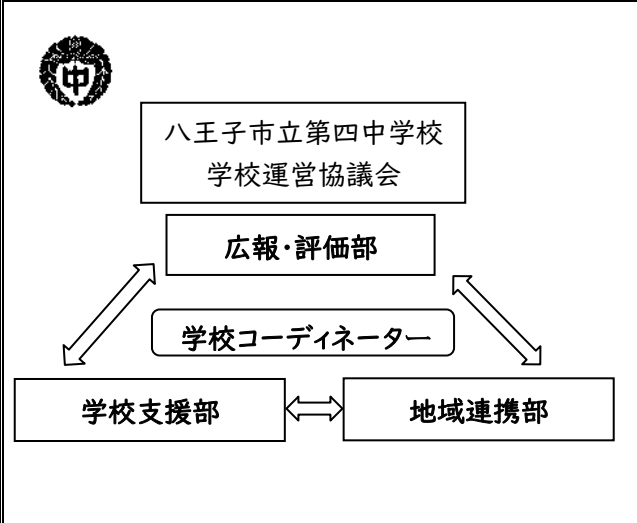
### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営に関する熟議、教職員との協働的な教育活動の実践
- ・保護者、地域住民等の学校運営への参画の促進・連携
- ・義務教育学校開校に向けての準備

### ○教育活動に係る支援

- ・教職員との定期的な協議の実施
- ・不登校生徒対応の支援
- ・放課後学習教室、自習教室、各種検定事業の協働的な実践
- ・花壇整備、清掃活動等への支援

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営、教育活動に関する協議 教職員との連携

年間2回の学校運営協議会委員と教職員の協議会を行った。  
『学校経営計画に基づく学年運営の具体について』『前期学校評価アンケート結果を踏まえ、後期教育活動の充実に向けて』『地域全体で子どもたちの道徳性を育むために』などをテーマとして意見交換を行い、育てたい生徒像を共有し、教育活動への具体的な連携体制を築いた。



### ○学校コーディネーターを中心とした教育活動への支援

学校コーディネーターを中心として、学校支援部、地域連携部、PTA、青少対と連携を図りながら教育活動への支援を進めた。花ボランティアによる校内環境整備、学校図書館の蔵書点検や整備、朝の挨拶運動、放課後学習クラブ、定期考査前自習教室、水泳指導への引率補助、授業への支援など、地域社会の力を教育活動に活用できる体制を築いた。



### ○学校関係者評価の取組

学校が1年間の教育活動について、保護者・地域・生徒によるアンケート調査結果や授業評価等を基に成果と課題を明らかにし、次年度の教育活動における改善点を示す自己評価を行った。学校が示した成果と課題、改善点などの自己評価について、その妥当性や今後の方向性について学校運営協議会で熟議し、次年度の教育活動への指針を提示するための学校関係者評価を行った。





## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営協議会の役割を改めて確認し、本校の学校運営と、そのために必要な支援についての協議を深め、地域に開かれた学校運営の実現をめざす。

### ○教育活動に係る支援

- ・学校行事、学習活動、教員研修の支援。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会委員と教職員の連携

年2回、学校運営協議会委員と教職員が協議を行った。年度初めは「五中の子どもたちをどのように育てたいか」、夏季休業中には「教員の働き方改革」をテーマとした。相互に顔の見える関係づくりを進めるとともに、教育活動を客観的に見つめ、具体的な改善策を考える時間となった。

道徳授業地区公開講座では、事前準備である指導案作成の段階から、元小学校の校長である学校運営協議会副会長が指導した。授業後の協議では、「地域の子は地域で育てる」という観点から、学校と地域がそれぞれどのような役割をもつべきかを話し合うことができた。



### ○五中応援団による支援

学校支援部・学校コーディネーターを中心に、PTAや地域との連携を図りながら、教育活動への様々な支援を進める「五中応援団」のコーディネートを行った。

「放課後楽習会」「学校図書館ボランティア」「体育大会、合唱コンクール等学校行事支援」「学習見守りボランティア」等の充実を図り、子どもたちの育成環境の質を高めることができた。

「放課後楽習会」は、毎週水・木曜日の放課後、受付を地域の方が行い、実際の学習補助として、教員やインターンの大学生、学習サポーターが支援を行った。特に定期考査前には、多くの生徒でにぎわった。

「学校図書館ボランティア」では、月1回「おすすめ本コーナー」の掲示物を作成した。色鮮やかな画用紙に、イラストや手書きのコメントを加えた掲示物は、正面玄関入ってすぐの場所に貼っており、いわば「学校の顔」としての役割も果たしている。





## 令和6年度の運営目標

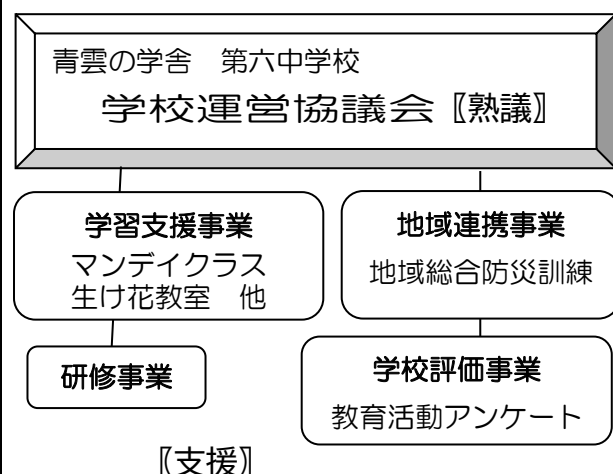
### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営協議会を年8回(うち、評議員会との合同会を3回、さらに、別途研修会1回)開き、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- ・年間行動目標を「学力の向上」「グローバル人材の育成」「いじめ対策」とし、学校運営協議会として協議を行う。

### ○教育活動に係る支援

- ・教職員の勤務負担軽減への地域協力の在り方について検討していく。
- ・市立第三小学校との学校連携をさらに推進する。
- ・地域との協働による学習支援(マンデイなど)と放課後学習教室(寺子屋)を運営する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会

- ・年間8回実施。うち3回は学校評議員も出席し、活発な質疑を行っている。
- ・いじめ対策に特に注目し、毎月実施している生徒アンケートの結果について学校から詳細な報告が行われ、不登校生徒の情報交換も定期的に実施している。
- ・第三小学校との合同開催を毎年9月に開催。

### ○学習支援事業

- ・教育サポートセンターコーディネーターと地域の人材との連携による、生徒への各種学習支援活動
- ・マンデイクラス(放課後自習教室)
- ・寺子屋(テスト前自習教室、夏季休業中)
- ・生け花教室
- ・図書サポート(図書館開館)
- ・音楽サポート(合唱の指揮者・伴奏者など)



マンデイクラス



生け花教室

### ○地域連携事業

- ・平成23年度から生徒と地域による協働行事「地域総合防災訓練」を実施。
- ・地域20町会中、毎年15町会以上、総勢400名規模。
- ・初期消火訓練、仮設トイレの設営、避難所設営、炊き出し、防災討議。
- ・学校・地域・消防署・市役所(防災課等)と多岐にわたり連携。



地域総合防災訓練

### ○研修事業

- ・「グローバル人材の育成」に関する理解の深化を図るために、ヨコタミドルスクール生徒が本校へ2月に訪問。お互いの文化の紹介や、各教科での学習の取組を通じた交流を行った。

(12月と1月には、オンラインによる事前交流を行った)



ヨコタミドルスクールとの交流

## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

保護者を含めた地域住民の学校運営への参画として、学校運営協議会では、以下の3項目について見直し、組織を維持していくための在り方を検討する。

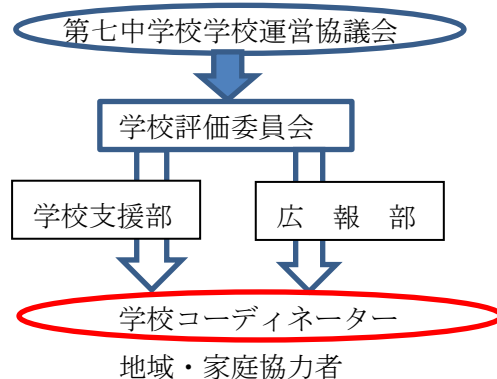
- ①地域連携 ②外部連携 ③防災/安全支援

### ○教育活動に係る支援

第七中学校の生徒が生き生きとした学校生活を送れるようにすることや、地域住民に張り合いや生きがいを創出することを実現するため、学校運営協議会では、以下の3項目について見直し、組織を維持していくための在り方を検討する。

- ①学習支援 ②環境支援 ③普及活動

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会の取り組み

<協議会での協議>

- ・青少対第七地区や各町会との連携・対応、地域行事への参加を検討。
- ・道徳授業地区公開講座の講師選定を学校へ依頼。他の活動における地域人材の活用について検討。
- ・学校周辺の通学路の交通状況について情報収集。
- ・学習ボランティア活動支援やPTAと連携し漢字検定を検討。
- ・美化ボランティア活動、図書ボランティア活動支援の検討。
- ・あいさつ運動の実施や学校情報の発信について検討。

### ○令和6年度の成果

- ・夏祭りにて吹奏楽部が演奏を行い大好評。
- ・七中生の自尊感情・自己有用感や、我が国の伝統文化への関心を高め、未来の地域人材育成に貢献。
- ・1学期と2学期に漢字検定を実施し、120名近い生徒が受検。
- ・学校図書館誘導フォトギャラリー、美化ボランティアの学校花壇が充実。生徒たちの学校図書館来館数が増加。
- ・第五小、第七小、山田小、第七中が合同実施したあいさつ運動において学校運営協議会の「あいさつ運動実施中」のぼりを使用。
- ・PTAと連携して制作した巨大卒業証書を卒業式当日に設置。

### ○協議会として実施した特色のある取組

- ・地域行事への吹奏楽部参加依頼と実施。
- ・道徳授業における講師及び音楽科と連携した箏の演奏家の招へい。
- ・漢字検定を年2回実施。
- ・学校花壇等の美化整備、図書館整備及びフォトギャラリーの充実。
- ・あいさつ運動ののぼりを制作。
- ・PTAと連携した巨大卒業証書の制作。



## 令和6年度の運営目標

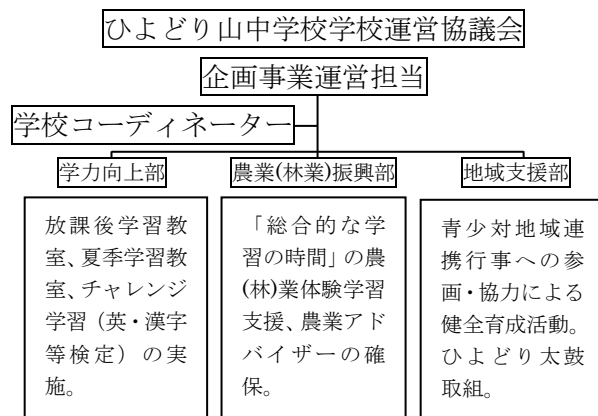
### ○学校運営に係る協議

- ・教員との意思疎通の充実を図り学校運営に反映させる。
- ・保護者の意見の集約を図り、学校運営に反映させる。
- ・生徒の自主性の醸成を図り、学校運営に反映させる。
- ・小学校との連携を図り、学校運営に反映させる。

### ○教育活動に係る支援

- ・本校の特色である農業・体験学習を引き続き推奨する。
- ・本校のレガシーとしての取組であるひよどり太鼓活動の指導・支援を引き続き行う。
- ・学力向上を目指した学習支援活動を引き続き推進する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学力向上部の活動

学校運営協議会設置当初より、生徒の基礎学力の定着・向上をめざし取組を展開してきた。令和6年度は、年5回ある定期考査前に「放課後学習教室」、7月下旬・8月下旬に「夏休み学習教室」をそれぞれ、地域の学習ボランティアと教職員が連携して開催し、英語・数学を中心として学習支援を行った。

また、学力の充実を図りながら、達成感を味わう取組として、漢字検定、英語検定、数学検定に学校運営協議会を中心として取り組んだ。



### ○農業(林業)支援部の活動



総合的な学習の時間(ひよどりタイム)に全学年で「農(林)業体験学習」に取り組んだ。指導スタッフは、教職員はじめ、市農業塾修了生等、地域の農業経験のある方に依頼し「農業アドバイザー」として指導・支援していただいた。

「土づくり・畑づくり」⇒「種まき・苗植え」⇒「雑草とり・肥料散布」⇒「収穫」という、作物を収穫するまでの一連の活動を生徒個々が体験し、「食」「いのち」「共存共栄」「地産地消」「命のリサイクル」等のキーワード=『生きる』

力を身近に感じた課題学習に取り組んだ。

### ○地域支援部の活動

青少年対策地区委員会、町内会や自治会と連携した活動に取り組んだ。ひよどり山中学校のレガシーとして受け継がれている「ひよどり太鼓」は学校運営協議会が中心となって運営し、地域行事にも参加した。小中一貫校である第十小学校の体育館で開催される「ひよどり山音楽祭」には太鼓としての参加だけでなく、実行委員としても参加した。

令和6年度は17名のメンバーにより、3つの地域行事に参加した。

また「青少対クリーン作戦」には、生徒会役員が運営に関わり、中学生約30名、小学生を含め全体で60名を超える参加があった。





## ■令和6年度の運営目標

## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

- ・学校経営計画の重点目標である「確かな学力の定着と向上」「心身ともに健全な生徒の育成」を図る、を受け、学校運営協議会として学校・家庭・地域と連携しながら目標達成のために支援していく。
- ・学校運営協議会を年6回開催し、学校・家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

### ○教育活動に係る支援

- ・学習支援
  - ①学習ボランティアの人材確保と授業における計画的な支援。
  - ②チャレンジタイム（水曜日の放課後、長期休業中の自学自習教室）の運営による学習意欲の向上及び基礎学力定着の学習支援。
- ・図書ボランティアの人材確保と図書室運営の支援。
- ・「地域に貢献する甲中生」を育成するための支援。

### 《学校運営協議会の運営方針》

- ・肩ひじ張らず力まない。
- ・小さくゆるやかに活動する。
- ・スモールステップ(小さな一歩)精神を大切にする。
- ・学校運営協議会委員の個性を活かす。
- ・学運協だよりを発行する。
- ・開催通知は、メール等で発信する。

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校への主な支援

令和6年度、下記三点に対して重点的に取り組んだ。

#### ・学力向上の支援

- ①テスト勉強における学習支援
- ②チャレンジタイム(学校主催の自学自習教室：希望者)の支援
  - ・毎週水曜日の放課後：全校生徒対象
  - ・夏季休業中：全校生徒対象   ・冬季休業中：3年対象



テスト勉強時の学習支援

#### ・図書室運営及び図書環境向上の支援

- ①平日の図書室の開館、閉館業務の支援と生徒の見守り
- ②図書ボランティア定例会
  - ・月1回、学校司書の勤務日に開催
  - ・図書担当教員、学校司書、図書ボランティアが参加
  - ・図書、書架の整理、飾り物の制作と図書の廃棄作業



チャレンジタイムでの学習支援

#### ・地域に貢献する甲中生の育成の支援

- ①青少対活動への参加
  - ・健全育成標語   ・クリーン大作戦   ・小さな冬の音楽会
- ②ボランティア募金



図書ボランティア：書籍の廃棄作業

### ■令和6年度の運営目標

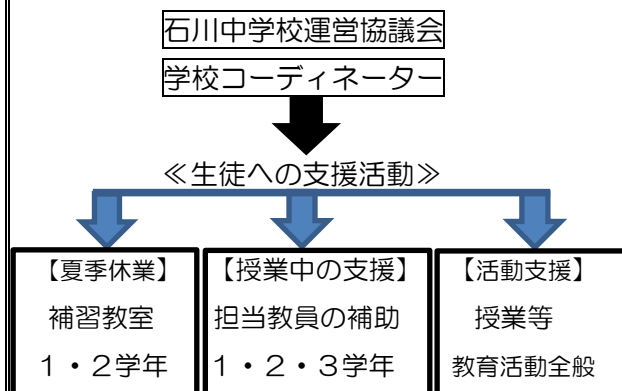
#### ○学校運営に係る協議

学校・家庭・地域の信頼関係を深め、連携を強化することで学校運営の改善や子どもたちの健全育成を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指す。

#### ○教育活動に係る支援

- ・校内・大会等における運動活動の見守り
- ・地域人材を活かした教育（武道）
- ・学校コーディネーターによる教育活動への支援

### ■運営体制



### ■令和6年度の特徴ある取組

#### ○教員との懇談及び授業・行事への参観

生徒及び教員との懇談回数を増やし、学校運営協議会委員が授業参観、道徳地区公開講座、体育大会及び合唱コンクールへ積極的に参観し、入学式及び卒業式には必ず参列した。生徒と一緒に正門であいさつ運動にも参加し、地域の身近な大人として、生徒・保護者にも周知され、様々な相談を受けて、学校運営を十分に支援していた。

#### ○放課後の補習教室からの基礎学力の充実を目指す

平成29年度から、放課後の学習教室の充実を核として「学ぶことが楽しい」と感じることができるよう、基礎学力の定着を目指している。

少人数指導を行う数学・英語は、放課後学習教室を定期的に行った。支援者は地域の方々や学校運営協議会委員で、担当教員と共に教室に入り、生徒たちの様子を共有し、石川中生への理解を深めた。また全学年の授業に入り、机間巡視や生徒への声掛け等、支援活動も行った。

支援者が入ることにより、生徒が安心して授業に取り組むことができる環境づくりの一助となっている。

#### ○授業等の参観における支援活動

生徒の思考・判断・表現の力の向上のため、日頃から新聞を全生徒が読む時間を設けた。

小中一貫教育では、2学年生徒が新聞記事から考えた意見を発表する「意見発表会」を実施。

道徳授業地区公開講座を授業参観することにより、現在の道徳授業への理解を深め、生徒の思考活動の様子を直接見て、教員への授業展開について活発な意見交換をし、生徒の育成と教職員の指導力向上につながった。



## 令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

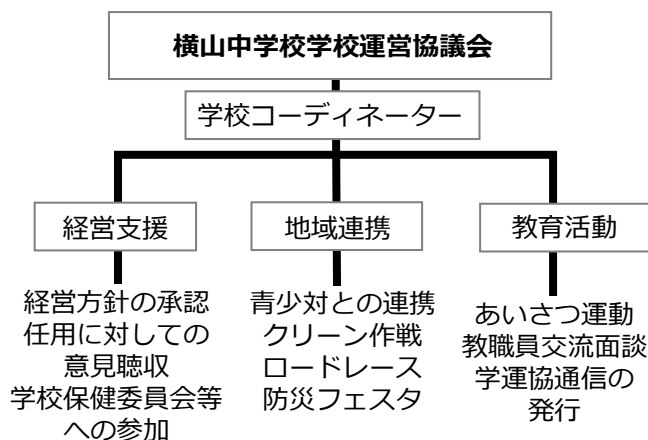
「地域の力を生かした学校づくり」

横山中学校と保護者・地域の方が生徒の健やかな成長のために考え、話し合える環境作りに努める。  
横山中学校が地域のコミュニティの中心となるように支援し、横山中学校の学校力、生徒育成力の向上を目指す。

### ○教育活動に係る支援

学校運営協議会として学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動を行う仕組みを構築する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○教職員との交流面談と授業参観

学校運営協議会委員と教職員との交流面談、学校運営協議会委員による授業参観を行った。教職員から意見を聞いたり、授業参観をしたりすることで、学校の様子を知ることができて、具体的な支援策の策定・実施につながった。

### ○経営支援

学校保健委員会や修学旅行業者選定等で意見を出した。また、学習支援室への地域ボランティアの導入では、学校コーディネーターが地域人材の導入計画を立て、配置を行った。

### ○地域との連携

ロードレース大会（12月）、防災フェスタ（3月）等の青少対に関わる行事に協力して取り組んだ。多くの地域の方にもボランティアとして参加していただき、中学生も地域の一員として活躍した。多くの生徒が参加することで、地域の活性化にもつながるとともに、学校と地域の協力関係を高めることにもつながった。





### 令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

学校での生徒たちの様子や学校運営協議会の運営等を含め広く地域に広報し、支援の輪を広げる。

#### ○教育活動に係る支援

落ち着いた環境、落ち着いた生徒の授業態度の中で、生徒の基礎学力の定着と更なる学力の向上を目指す。

- ・授業内容の改善、生徒の習熟度の向上
- ・挨拶や礼儀の徹底と思いやりの心の育成
- ・基礎学力の定着と学習習慣の育成（重点目標）

### 運営体制

#### 地域運営学校【長房中】

落ち着いた環境、落ち着いた生徒の授業態度の中で、生徒の基礎学力の定着と更なる学力の向上を目指す。

- ・基礎学力の定着と学習習慣の育成・・・支援部
- ・授業内容の改善、生徒の習熟度の向上・・・評価部
- ・挨拶や礼儀の徹底・・・・・・・・・・健全育成部

### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○学校運営協議会での協議に関すること

- ・学校での課題について検討協議

家庭の人間関係や学習等が原因での不登校生徒が全都的に増加の傾向であるが、本校でも増加の傾向があり、担任の先生を中心に空き時間に面談等を実施し対応した。

しかし、個々の生徒に教員が対応するには時間等の限界があるため、令和4年度に不登校生徒対応の学校内の居場所作りの検討を行った。その結果、民生委員さんに協力を依頼し、登校支援教室「はばたき」を週1回、2時間開設することになり、令和6年度も継続して支援を行った。

#### ○放課後学習教室『まなび』の内容

- ・放課後、自学・自習する場所を学校が提供した。
- ・本校の実態に合わせて開室時間を決めた。（17時00分閉室）
- ・自習教材は原則として各自が持参。自習している時にいつでも質問ができるように、学生を中心とした学習ボランティアをお願いした。
- ・放課後学習教室担当教員と連携して、個別の支援を行った。
- ・週1回開室。（木曜日）
- ・夏季休業中にも1週間程度開室し、1学期の復習などを行った。



まなびの様子

#### ○英検直前教室の内容

- ・地域住民等によるボランティア活動によって行った。
- ・英検直前の自習の場を学校が提供した。
- ・二次試験前には、模擬面接を実施した。

#### ○図書ボランティア・園芸ボランティアの内容

- ・学校コーディネーターを中心に、ボランティア活動の計画を立て、環境整備を行った。
- ・図書ボランティアは月1回程度、書庫整理、展示物作成等を行い読書活動を推進した。
- ・園芸ボランティアは季節に応じて、花壇の整備、落ち葉掃き等で美化活動を推進した。



英検直前教室の様子

## 令和6年度の運営目標

## 運営体制

### 〇学校運営に係る協議

- ・会議を通して、学校の教育活動についての理解を深め、指導・助言を行う。

### 〇教育活動に係る支援

- ・花壇の整備を通して、潤いのある学校生活の援助を行う。
- ・支援教室「ひだまり」の運営を通して、教室に入るのが困難な生徒の居場所づくりを行う。

 梶田中学校  
学校運営協議会

 評価部  
広報部

【熟議】

地域学校協働活動推進員

【支援】

地域連携部

## 令和6年度の特徴ある取組

### <学校運営協議会での協議に関すること>

#### 〇学校運営に関する協議

- ・学校長が提示した学校教育目標や経営方針、教職員の異動・任用について質疑応答や意見交換の上、協議を行った。
- ・各学年主任や養護教諭からの報告、年2回の保護者アンケート結果を受け、学校運営についての意見交換を行った。
- ・各行事に参加し、事後に意見・感想を共有し改善点等について協議した。
- ・道徳地区公開講座に参加し、学校が取り組んでいる「命を大切にする教育」について意見交換を行った。
- ・オンラインでの学校保健委員会に参加し、生徒の保健環境について学校医と意見交換を行った。



### <教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること>

#### 〇地域のボランティアと連携した登校支援教室の運営

登校支援教室「ひだまり」の運営を行い、不登校生徒の居場所づくりや学習支援などを行った。「ひだまり」を安定的に運営できたことで、不登校生徒が引きこもりにならず、定期的に通学してくるきっかけとなった。また、「ひだまり」のボランティアが生徒の話し相手になり、学習支援を行うことで、通常登校への橋渡しやスクールカウンセラーとの面談の契機となるケースもあった。

#### 〇校内外の環境美化活動

生徒とともに学校の花壇整備を行い、明るい校内環境を作ることに努めた。また、入学式、卒業式の会場内外を花で飾り、生徒の入学・卒業を祝うムード作りをした。学校の中に花があることで、生徒、教職員の気持ちが和む要因となった。また、生徒が地域住民と協働して花壇の整備を行ったことで、地域やそこに住む人々に関心を向け、地域の一員としての意識をもたせることができた。



#### 〇地域人材の発掘と活用

スクールサポートスタッフや「ひだまり」のスタッフ、環境整備活動のスタッフ、部活動支援のボランティアなどの地域人材を発掘し、日常の教育活動に活用することができた。

## 令和6年度の運営目標

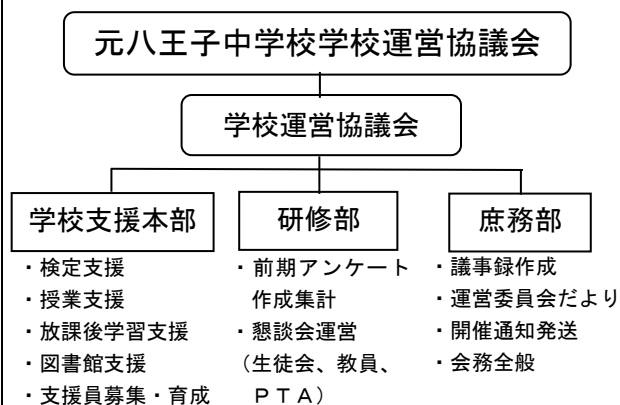
### ○学校運営に係る協議

- ・生徒、保護者及び地域との情報共有を図る。
- ・地域との関わりを深める。
- ・いじめや問題行動等の未然防止と早期解決。

### ○教育活動に係る支援

- ・生徒の学力向上のための学習支援として、各種検定試験の企画と支援。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

学校の教育活動を充実させ、今後の取組に生かすため

- ・生徒の学習状況、学力調査の結果、学校生活の様子等を把握し、必要な取り組みについて熟議した。
- ・3校合同の学校運営協議会を実施し、地域の子どもを協働して育てていくための情報共有と共通理解を図った。



3校合同学校運営協議会の様子

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### ・各種検定試験の実施

地域ボランティアの方々に運営の協力をしてもらい、学力向上のための学習支援として令和6年度は、英語検定3回、漢字検定3回、数学検定1回の計7回の検定試験を実施した。

元八王子中学校の生徒だけでなく、近隣の小学校とも連携したことで、元八王子小学校と貳分方小学校の児童の参加もあった。また、保護者や卒業生等、地域の方の参加もあった。

#### ・放課後学習サポート教室の実施

令和6年度も地域の方に学習ボランティアとしてお手伝いをしてもらい、放課後学習サポート教室を実施した。年間20回実施し、延べ約260名の生徒が参加した。各自が課題等に取り組み、分からないところはボランティアの方や教科の先生に質問しながら学習を進めた。



検定試験の様子



放課後学習教室の様子



## ■令和6年度の運営目標

## ■運営体制

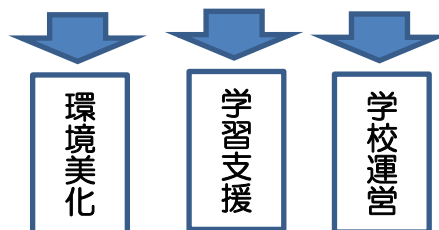
### ○学校運営に係る協議

- ・「学力向上」を基本方針とし、学校運営協議会として協議を行う。
- ・教職員の勤務負担軽減への地域協力の在り方について検討していく。
- ・小中連携を推進する。

### ○教育活動に係る支援

- ・学校運営協議会を年6回開き、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

### 四谷中学校学校運営協議会



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

学校運営協議会を開催する際には、生徒の活動を必ず参観し生徒の実態に基づいて協議を行っている。  
令和6年度の主な協議内容は以下のとおり。

#### 【主な協議内容】

|                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ・基礎学力未定着生徒への対応について | ・ラベンダーの匂い袋の作成、販売について |
| ・家庭学習の定着について       | ・環境整備について            |
| ・ラベンダーカフェの開催       |                      |

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### ・学習教室の運営と検定実施

地域人材を活用した授業サポートや放課後学習教室を実施しており、一斉授業では学習内容の定着が困難な生徒たちに対し、個別指導や少人数指導の学習形態で丁寧に学習支援を行った。

また、大学生ボランティアを採用し、個別指導や少人数指導に適した「学習室」を設置したことで、居場所づくりや不登校対応をすることが出来た。

6月と10月にラベンダーカフェを実施した。不登校の問題や子どもに対する大人の関わり方などの情報を共有することが出来た。

漢字検定や英語検定を年2回ずつ実施した。漢字検定については実施前に勉強会を開いた。受検者は増加傾向にあり、地域の小学生も受検するようになった。

#### ・校内外の環境整備

学校運営協議会を設置してから、恒常的な取組として「学校花壇の整備」を毎月定期的に行っている。

雑草で荒れ放題だった花壇が、今では一年中花が咲くようになった。生徒たちが優しい心で学校生活を過ごすためには、「まずは環境美化」と考え、学校運営協議会最初の取組として始めた。

特に入学式や卒業式に向けては、たくさんの花で学校が飾られている。生徒たちは登下校時だけでなく、教室の窓から美しい花・可愛らしい花を見ながら学校生活を送ることができている。

令和6年度も四谷ガーデンのメンバーと四谷ハンズ部がコラボして年3回のラベンダーの匂い袋の作成や販売を行った。ハンズ部の生徒にとっては地域の方々と触れ合う機会となり、また、裁縫の技術的な指導を受ける機会にもなり有意義な時間となった。

自分たちで作ったモノを販売することで、モノを大切に作る心や売れた時の達成感を味わうこともできた。

## ■令和6年度の運営目標

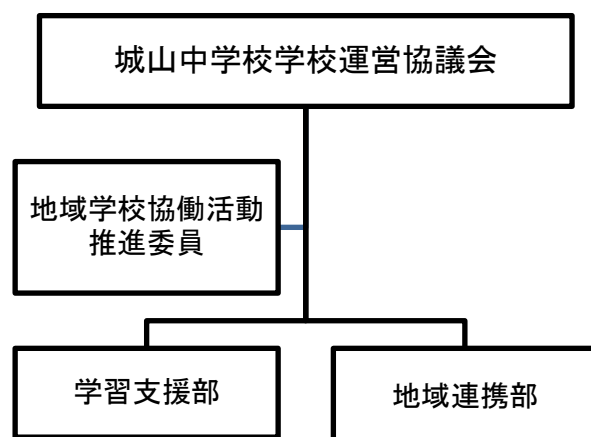
### ○学校運営に係る協議

- ・ P T A 改革推進
- ・ 部活動改革推進

### ○教育活動に係る支援

- 〈学校教育活動支援（学習支援）〉
- ・ 補習支援
- 〈地域協働活動支援（地域連携）〉
- ・ 地域防災
- ・ 学校施設環境整備

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○小中一貫教育を目指した運営体制

学校運営協議会の構成員の半数を小学校と中学校両校で兼務する形をとっている。このことによって、課題の対応や議論の視点等を共有しやすくなり、効果的に小中一貫教育の視点に立った運営ができています。

### ○OPTA改革

保護者の負担軽減を含め、持続可能な活動の継続に向けて会則を一時停止し、会の在り方については「学校運営協議会一任」で協議に臨んだ。

協議では、①今年度継続事業の確認 ②課題の洗い出しと改善策の検討・改革の方向性確認 ③改革案の提示・検討・決定 の三段階を経て、保護者と学校との協力体制を再構築した新会則を作成・発効した。

### ○部活動改革

令和9年度完全実施に向けたロードマップの提示と本校の部活動運営スタイルについて提案があり、その内容について協議をした。また、地域人材を活用した中学生の活動場所の確保について検討を始めた。

### ○学習支援

英語検定と漢字検定を実施した。そこで検定試験に関する支援ができないか協議を行い、検定会場の一本化や、検定実施前の補習教室等について提案をした。

### ○地域連携

小中合同クリーン活動、防災フェスティバルへの参加等、青少年対策城山地区委員会の事業に対して小中一貫教育の視点から連携を進めた。



「しろりん」と「しろこ」（新標準服）

## ■令和6年度の運営目標

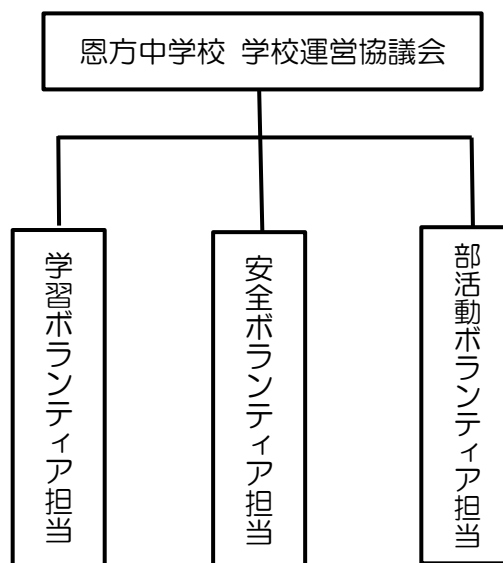
### ○学校運営に係る協議

- ・教育目標の「自ら考え、学ぶ人」「理解し合い、協力する人」「健康で心の豊かな人」をめざして、学校・家庭・地域の協働を推進する。
- ・学校運営協議会を原則月1回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりに取り組む。

### ○教育活動に係る支援

年間行動目標を「学力向上」として、学校運営協議会として協議した企画に取り組む。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○放課後基礎教室

本校の課題である学力向上への対応として、平成27年度から実施している。水曜日の放課後に定期開催、定期テスト前に特別開催として、基礎・基本の定着を目的とした補習学習を行った。地域人材の活用により、個に応じた少人数指導を実現し、令和6年度は高校受験前に参加した全員が合格を果たした。

また長期休業期間中には「夏休み（春休み）基礎教室」として、補習学習を実施した。特に、夏休み基礎教室では、教員と協働運営をすることで活動を充実させることができた。さらに令和6年度も引き続き、漢字・英語・日本語検定を主催し、リスニングや面接指導などの検定対策講座を実施した。小中一貫の活動としても定着し小学生を含め合格者を多数出している。



### ○夏休み環境整備

より良い教育環境をつくることを目的として、平成27年度から実施している。夏季休業中、普段は十分に取り組むことができていない場所（体育館や特別教室等）の清掃を重点的に行った。教員・生徒・PTA・地域との協働により、活動に対しての成就感や一体感を味わうことで、それぞれの立場における「愛校心」の醸成に結びついている。



### ○特色ある様々な取組

基礎学力向上と学習意欲喚起を目的として、英語・漢字・日本語検定に対する取り組みに力を注ぎ、長期に渡り継続させてきた。今後も基礎学力の定着を図る「放課後基礎教室」と「各種検定対策」を活動の根幹に据えていくとともに、更なる学習意欲の向上に繋げる。また特色ある恩方地域の伝統、文化をより浸透させるべく新任、転任教員の地域巡検も再開した。また、姉妹校である北海道苫小牧市立勇払中学校との交流のために、恩方地域の紹介や地域学習の面で各種団体との橋渡しを学校運営協議会が行った。



## 令和6年度の運営目標

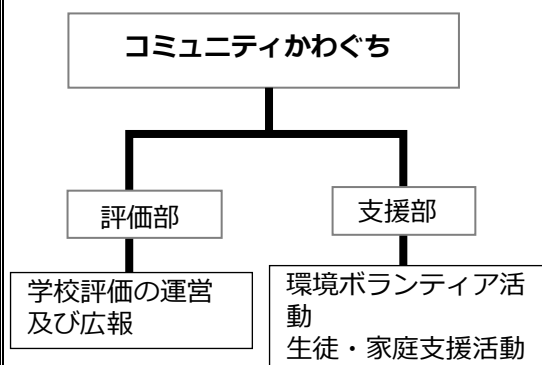
### ○学校運営に係る協議

- 校長の経営方針にある「豊かな心の育成」の為に、学校・家庭・地域の協働を学校運営協議会として推進していく。
- ・学校運営の成果と課題、現状についての理解を深め、委員会としてより良い学校運営を支援していく。
  - ・教育活動その他の学校運営が適切に行われているかを把握し、学校評価の結果を公表、説明することにより、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを推進する。

### ○教育活動に係る支援

- ・英語検定の支援・体育祭における教育活動支援。
- ・定期考査前の放課後学習教室における支援活動。
- ・学校運営協議会委員の学校行事や学校公開日、道徳授業地区公開講座等への参加。
- ・花植え（花壇、プランター）の整備をボランティア部と協働実施。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○定例会、公開授業・学校行事等への参加

定例会は年6回実施。他にも学校公開をはじめ、様々な学校行事に積極的に参観し、学校経営方針や生徒の様子、課題等について意見交換を行った。

### ○教養講座

平成26年度から講座を開設し、地域の方と生徒との交流を図った。

#### 【開設講座（令和6年度）】

- 火・金曜日：囲碁教室〈ふるさと学習室〉  
水曜日：竹クラブ竹細工教室〈地域の部屋〉  
（金曜は地域人材がふるさと学習室を生徒に開放）



### ○支援部（フラワーサークル、学習支援、標準服リサイクル）

生徒が花のある環境のもと、落ち着いて学習に取り組む学校をめざして、フラワーサークル活動として、秋・冬の2回、花の植え替えを行った。12月に青少年対策地区委員会主催で行われる地域清掃には、生徒がボランティアとして参加した。

生徒・家庭への支援活動として、英語検定の実施や標準服等のリサイクル活動の取り組みを行った。年3回の英語検定では、2級から5級まで、多くの生徒が受検した。

令和5年度より、定期考査前の放課後学習教室にボランティアを募集し、生徒の学習支援を行った。

### ○評価部（学校評価）

前期と後期の年2回、学校評価アンケート・学校関係者評価を行い、学校経営に活かしている。集計・考察の結果は、学校だよりに掲載し、地域や保護者に内容を周知した。

## 令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

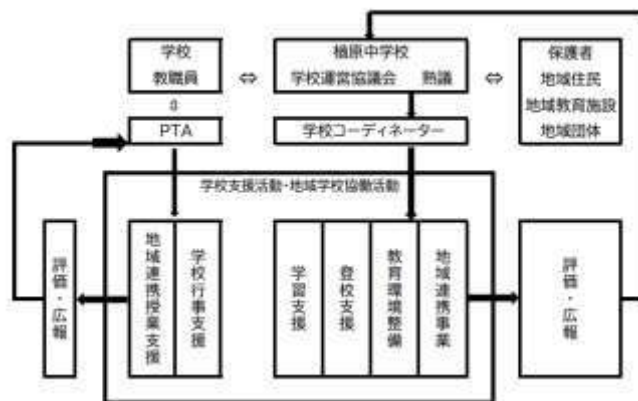
保護者と地域住民と教職員等、互いの意向を適切に把握する機会を積極的に設定し、協議を重ねることで情報共有を一層深め、学校支援体制を強化する。

### ○教育活動に係る支援

檜原中学校の生徒がこの地域で充実した中学校生活を送り、自信をもって社会に出ていけるよう支援

- ①「困っている時に助けてもらえる」という体験を積ませる。
- ②学ぶことに前向きな気持ちを持てるように支援。
- ③多様な学校運営協議会メンバーによる檜原中学校学運協ならではの特色ある学校支援に取り組む。

## 運営体制



## 令和6年度の特色ある取組

### ○学校経営に関わる課題共有と活動支援

学校運営協議会委員と教職員が、学校の教育課題を積極的に意見交換し、改善策を模索した。

その結果、特別に支援が必要な生徒に対して、学習支援サポートを実践し、教育環境を整えながら、学習活動を展開することができた。

### ○生徒の登校支援室「ポケットルーム」「ポケットクック」の実施

学校に登校できず、なかなか教室に入ることができない生徒を対象に「ポケットルーム」として毎週火曜日・水曜日・金曜日に図書室にて学習支援や創作活動、話し合い活動等を実施した。また、学校運営協議会委員の自宅にて「ポケットクック」として料理教室を年7回実施し、生徒同士の交流を行った。学校に少しずつ慣れていく取り組みを通じて、様々な活動に参加できるように、これからもサポート体制を充実させていきたい。

### ○漢字検定・英語検定監督サポート

学校運営協議会委員、保護者、地域のボランティアの方々が、学習意欲向上のための各種検定に取り組む生徒に対して、試験監督を通じて支援を行った。

### ○放課後学習支援教室

毎週火曜日の放課後に、希望生徒対象に図書室で学習支援（15：40～16：30）を行った。生徒の疑問や質問には教員や創価大学の学生ボランティアが答えた。

### ○制服リサイクル

卒業生から譲っていただいた制服をサイズ別に管理し、様々な形で生徒たちに利用してもらえるよう、体制を構築した。

### ○小・中・高・大 地域社会との連携

八王子北高校生徒会と連携し、「服のチカラプロジェクト」に参加し、協働しながら、社会貢献について考えた。また工学院大学・創価大学と連携し、「生協」で職場体験を実施した。地域にある高等学校や大学で、中学生が将来を身近に感じながら、地域と共に学ぶことができる環境を提供していく。

学校運営協議会委員の中には、小中一貫連携校である、檜原小学校・陶鎔小学校の委員を兼任している方が複数名おり、3校での情報共有がしやすい状況にある。今後は3校の学校運営協議会で連携した、地域学校協働活動も充実させていく。



### 令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

- ・小中一貫教育グループにおける義務教育修了段階において育成すべき生徒像「自分で考え判断し行動できる生徒・社会に貢献できる生徒・夢をもって挑戦できる生徒」の実現に向けて、学校、家庭、地域との連携・協働を図り、本校の特色を生かしながら推進をする。

#### ○教育活動に係る支援

- ・地域と学校が本校の教育理念、教育目標を共有し、相互にパートナーとして連携し、学校を核とした協働的な活動が行えるよう支援する。

### 運営体制



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○OCC大作戦(避難所受付、炊き出し訓練)

青少年対策由井西地区委員会、PTA、GSO(おやじの会)、学校運営協議会が連携し、地域の清掃活動と災害時に備えての避難所受付の訓練を行っている。本活動は生徒の地域への所属意識を高めるとともに、学校と地域との交流を深める貴重な機会となった。

#### ○放課後学習教室

地域の方(放課後学習ボランティア)や学生サポーターの協力の下、放課後の学習教室を開催した。前期・後期各10回をベースに実施し、本校教員が作成したプリントや学習用端末を活用して、個に応じた少人数学習を展開した。

#### ○救急救命講習

青少対、消防署と連携し、毎年2年生で実施している。講習会では、心肺蘇生やAEDの使用法、止血法などを学んでいる。講習を受けた生徒には、「救命技能認定証」が付与された。

#### ○障害理解教育

全学年で障害理解教育を行った。1学年は視覚に障害のある方と盲導犬、2学年は車いすを利用している歩行が困難な方、3学年は聴覚に障害のある方にゲストティーチャーとして講話を伺った。障害理解教育を通じて、生徒がお互いの違いを認め合い、尊重する心を育むことを大切にしている。

#### ○いのちの授業

八南助産師会による「いのちの授業」を、全学年で行った。学年の発達段階によりテーマを変えて、生命の大切さを学んだ。自分を大切にすること、相手を思いやることを意識させ、性について正しい判断ができる力を身に付けられるよう指導した。



炊き出し訓練(カレーライス作り)



救急救命講習



いのちの授業



## 令和6年度の運営目標

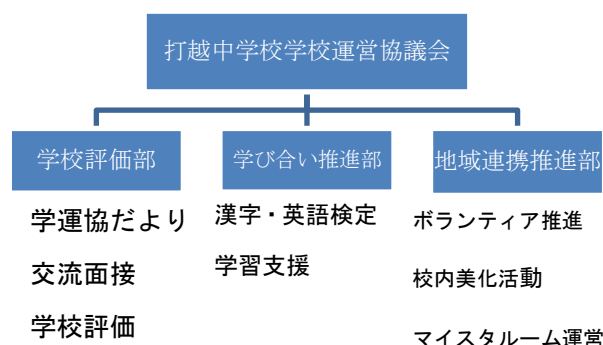
## 運営体制

### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営協議会を定期的に行い、教職員との交流面接を通じて、家庭・地域社会と連携した学び合いを重視した学校づくりを推進する。
- ・教育目標の「自ら考え、学ぶ人」「理解し合い、協力する人」「健康で心の豊かな人」をめざして、学校・家庭・地域の協働を推進する。

### ○教育活動に係る支援

- ・実用英語技能検定等の各種検定試験を実施するとともに、授業の学習支援を行い、学力の向上を推進する。
- ・放課後学習教室（マイスタールーム）の運営を進めることで、放課後の居場所づくりと生徒の学力向上を支援する。



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

#### ・部活動の在り方に関する協議

「八王子市の部活動改革」に基づき、今後の部活動の指導体制等についての協議を進めた。現行の部活動の縮小、再編を進めるにあたり、意見を提案するだけでなく、受け入れクラブチームの情報交換、児童生徒、保護者、地域への周知の方法など細かい点について協議、アドバイスした。

#### ・学校運営に関する協議

ボランティア活動、放課後学習教室（マイスタールーム）、検定業務など、様々な活動について協議を進めた。

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### ・地域と連携した総合防災訓練の実施

これまで、各町会自治会、学校個々の防災訓練に加えて学校と地域が連携した総合防災訓練「地域と共に・打越中防災フェスタ」を実施してきた。これは、学校と学校運営協議会が主体となり、各町会自治会、青少対由井東地区委員会、打越中学校区の小学校、PTA、関係各機関が連携して行っていた。

コロナ禍で途切れたこれらの伝統を再開させるべく、今年度は学校運営協議会、市防災課、消防署、各町会自治会とともに、「防災フェスタ」を実施した。中学生の防災意識を高めるとともに、地域の方と一緒に訓練を行い、交流を深めることで、地域の一員であることの自覚を促し、万が一の災害時に中学生が少しでも地域の力となれるようにすることをねらいとし、この取組を企画・実施した。

#### ・漢字・英語・数学検定の実施

学校運営協議会の主催で漢字検定、英語検定、数学検定を実施した。また、由井第一小学校とも合同で漢字検定を実施した。

#### ・学習支援

授業の学習や実技教科の実習、放課後補習の人材支援を行った。

放課後学習教室（マイスタールーム）として、毎週月曜日の放課後に教室を開放して落ち着いて学習できる環境を整えた。

#### ・ボランティア活動の推進

平成29年度より、ボランティアカードを導入し、地域の行事や活動への打越中学生の積極的な参加を促している。生徒の地域貢献に対する意識も高まり、地域ボランティアへの参加も増えてきた。特に青少対主催のクリーン活動では、部活動単位で毎回100名を超える生徒の参加があり、自主的に地域に貢献しようという意欲の高まりがみられた。

#### ・評価活動

学校生活アンケートやいじめアンケート等の各種アンケート、学校評価等を分析し、課題や成果の確認を行うことで、学校改善に向けて協議を行った。また、各学年の学力調査の結果を分析し、生徒の学力の達成状況を把握することで、課題や改善点を整理した。



クリーン活動

### 令和6年度の運営目標

#### ○学校運営に係る協議

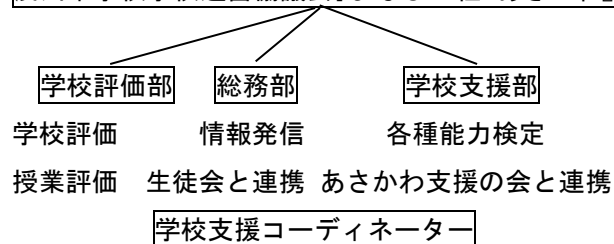
- ・学校運営協議会の活動の維持、発展を図る。
- 総務、支援、評価の3本の柱の担当と活動内容を協議する。

#### ○教育活動に係る支援

- ・生徒会役員と連携した取り組みを行う。
- 年1回生徒会役員との懇談会を実施
- ・漢字検定、英語検定を実施する。
- P T A・地域と連携して各種検定を実施する。

### 運営体制

浅川中学校学校運営協議会『まなびの杜 あさかわ』



あさかわ支援の会

- ・授業支援
- ・学習支援
- ・施設、環境整備
- ・部活動支援
- ・図書支援
- ・行事支援 など

### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○学校評価

評価部が主体となり、年間2回、「学校評価アンケート」と「授業評価」「グループ学習についてのアンケート」をオンラインで実施した。「学校評価アンケート」は、保護者、生徒、教職員（年2回）、地域住民（年1回）を対象に実施、集計、分析し、学校運営協議会が推薦した評価委員により提言を校長に行い、校長の学校経営を支援した。

#### ○あいさつ運動

年3回（4月、9月、12月）浅川小学校運営協議会と合同であいさつ運動を行った。

生徒、教職員、保護者、地域から約100名が参加し、通学路の各所で朝の声掛けをした。子どもたちからも元気な声が返ってきて励まされる。

#### ○生徒会役員との懇談会

年1回生徒会役員と学校運営協議会委員との懇談会を行った。生徒目線の展望や要望を聞くことができ、大変貴重な機会となった。

#### ○高尾駅前のプランター

支援部が中心となり、高尾駅前に花を植えたプランターを置いた。

日々の世話は、地域の方が担ってくださっている。

駅を利用する方々からも好評で、癒しの空間となった。



## ■令和6年度の運営目標

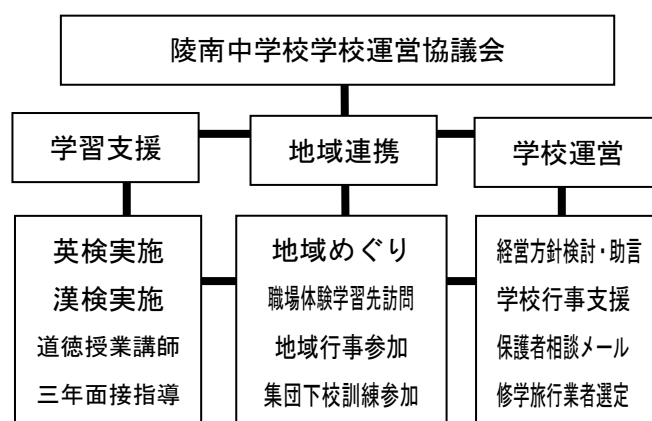
### ○学校運営に係る協議

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

### ○教育活動に係る支援

教育活動に係る支援目標を「学力向上と生命尊重教育」とし、学校運営協議会として協議を行う。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○花と緑に囲まれた学び舎をめざす取組

陵南中学校では、生徒たちが、「心和む空間」で成長していく環境づくりに力を入れた。この取組を主体的に担っているのが学校運営協議会で、令和6年度も継続して取り組んだ。

「心和む空間」とは、花と緑が発揮する自然の力を借りて、生徒たちがさわやかな気持ちで学校生活を送ることができる環境のこと。

具体的には、正門入り口の花壇（虹花壇）、校舎内二つの花壇（風花壇）、東門入り口の左右花壇（夢花壇）と校舎周りに配置しているプランターを活用し、四季折々の花を咲かせ「花いっぱい」の学び舎とした。

活動の担い手は、生徒たちを中心に、地域ボランティアの方々、教職員、保護者。月1回の活動を継続している。

この取組は、教室になじめない生徒も参加している。教職員からも「花壇を見ることで癒される」との言葉もいただいている。また、地域の方々は、花壇の前で足を止めて、ひととき花を觀賞しながら散歩を楽しむなど、様々な方々に好意をいただく取組となっている。



### ○陵南中学校「ふれあいプロジェクト」事業支援の取組

学校運営協議会では、「学校とともに、家庭、地域社会が連携した学校づくりを推進する」ことを目標にしている。この目標に向けた取組として、陵南中学校では、「ふれあいプロジェクト」事業を行った。

事業としての活動は次の3つである。

①陵南中学校花づくりの会 ②陵南中学校和太鼓の会（陵南翼太鼓） ③陵南地区空手道同好会（からっぱ）

具体的活動として、和太鼓は、高尾町会の夏祭り、浅川市民センター祭り、高尾の森自然学校等で演奏しながら地域の活性化に協力してきた。また、空手同好会は、小学生から大人まで25名の練習生が加入して切磋琢磨しており、陵南中学校の体育大会で演武を披露している。

各事業とも毎年着実に加入者も増えており、活動域も広まってきている。学校運営協議会の学校運営目標に沿った取り組みが着実に定着してきているといえる。引き続き、この活動に携わっていくことで、生徒たちの健全育成に貢献していく。



## ■令和6年度の運営目標

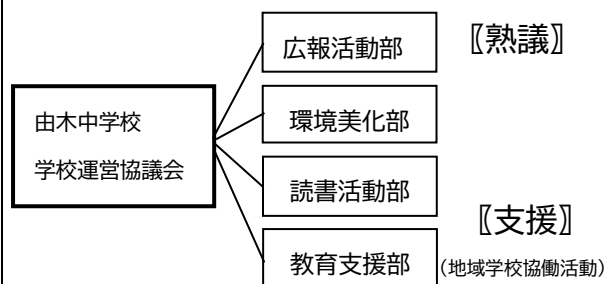
### ○学校運営に係る協議

- ・学校運営の基本方針や教育活動について学校評価を行い、地域とともにある学校づくりをする。

### ○教育活動に係る支援

- ・学校図書館の活用を活性化させ、広義の学力を向上させる。
- ・ボランティア活動を推進し、社会や地域に貢献する生徒を育てる。

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関する事

- ・教育活動に係る支援に関する協議  
学校行事（体育祭、移動教室、職場体験、合唱祭など）
- ・地域との連携に関する協議  
部活動地域移行に関する協議

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関する事

平成 28 年度から始まった本活動は、毎週水曜日の放課後に学校図書館を利用して生徒の勉強会を行っている。学習ボランティアとして地域の方や大学生に入ってもらい、数学や英語等の基礎学習を中心に授業の補習や宿題などの学習サポートを行った。

「楽習会」の名称通り、強制的な勉強会でなく「楽しい場所と時間」となるように、コミュニケーションをとりながらの活動として大切にしていきたい。

### ○花いっぱいプロジェクト(環境美化部会)

春に花開く花の苗を校庭にある 11 か所の花壇に植える活動を行った。生徒・教員・保護者・地域の方でコミュニケーションをとりながら、自然を愛する心情を育てることを目的としている。

日常の水やりや花壇の整備は生徒会やPTA、生徒ボランティアで行った。登下校時に、自分たちで植えた花を見ながら花壇の横を通るのが楽しみであるという生徒の声もあった。

学校の環境美化だけでなく、生徒の豊かな心を育てる活動となった。



## ■令和6年度の運営目標

### ○学校運営に係る協議

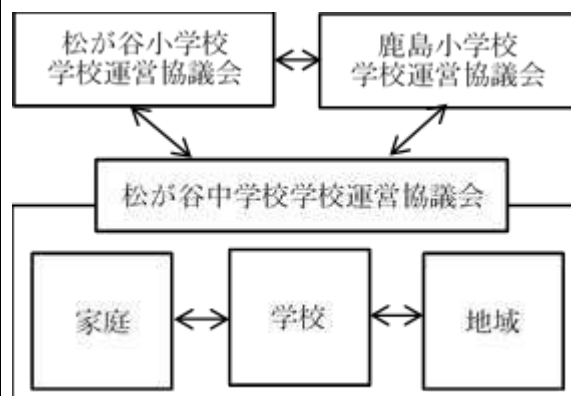
学校・家庭・地域諸団体等地域と連携・協力を推進し、学校運営協議会の責任を果たすとともに、松が谷中学校の生徒の健全育成、学力の向上を図る。

### ○教育活動に係る支援

小中一貫教育の推進

3校合同の学校運営協議会の開催（年3回）

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

#### ・学校の状況について(生徒、教員の様子)

- ①学校経営計画とその成果、体育祭・合唱祭・授業参観等の保護者アンケートの内容と回答について
- ②各種検定や作文コンクール・部活動等の成果について
- ③不登校生徒の状況とその対応について
- ④来年度の学校運営協議会の充実について

#### ・開校50周年行事に向けての準備について

- ①近隣小学校での取り組みの様子
- ②式典の原案について



### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

#### ・大学生による補習指導の支援

令和6年度は教職課程の大学生ボランティアの協力により、平日（火、水、木、金の4日）の放課後に「放課後学習教室」を開催し、生徒の基礎学力の定着を図った。参加者数も1・2年生を中心に増加しており、引き続きこの取組を実施する。また、長期休業中（夏、冬、春）も「学習教室」を実施した。

#### ・花いっぱい運動

毎年3月に、卒業・入学に向けて青少年対策松が谷地区委員会が実施している「花いっぱい運動」に参加・協力した。中学校では、園芸部がプランターに花を植え、校内に配置する活動を展開している。

#### ・合同挨拶運動

毎年11月に青少年対策松が谷地区委員会が実施している「あいさつ運動」に近隣の小学校、高校とともに参加した。中学校では、11月を「あいさつ月間」として、「地域の中でも小学生や知っている大人の方に積極的にあいさつしよう」をスローガンに取組を展開している。

#### ・その他

- ①学校参観…体育祭、合唱祭及び授業
- ②校内研修（授業改善）への参加
- ③施設の点検…敷地内の樹木や建物等

### ■令和6年度の運営目標

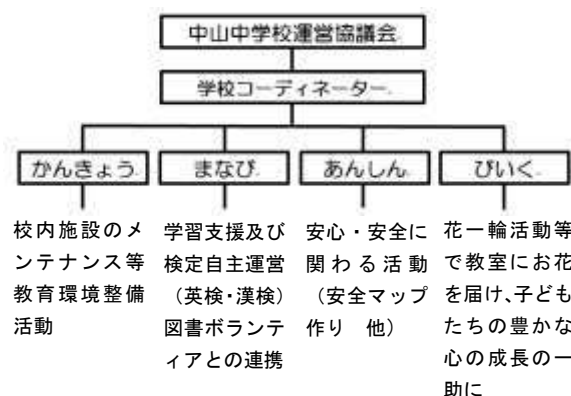
#### ○学校運営に係る協議

- ・中山中学校区学校運営協議会が「共に育てる」という理念で連携し、地域とつながる学校づくりを推進
- ・学校・家庭・地域の連携・協働による学校の活性化
- ・「めざす学校」実現に向けた学校支援体制の構築

#### ○教育活動に係る支援

- ・「地域運営学校」を基盤とした特色ある小中一貫教育の推進
- ・PTA杉の沢会と連携した、生徒のより良い成長の支援

### ■運営体制



### ■令和6年度の特色ある取組

#### ○「花一輪の活動」

平成25年度から花をとおして心を癒し、情操を高めて欲しいとの願いから活動を開始。月に1度、地域の方から花をいただき、各教室、職員室、保健室、校長室、応接室に花を届けている。



#### ○地域と連携した「環境整備」の実施

石碑と花で飾られた花壇の一つである「希望の丘」を中心に校庭に点在するいくつかの花壇の整備。(年4回、本校の「ボランティア部」、PTAである「杉の沢会」、と共同して、草取り、種や苗の植え付け)を行った。



#### ○「英語検定」「漢字検定」の自主運営

学校運営協議会の主催で地域の方に支援(受付、監督等)していただき、「英語検定」「漢字検定」をそれぞれ年間2回実施した。

#### ○「中山カフェ」～地域と生徒の交流ひろば～

地域と生徒の交流の場として、第2回「中山カフェ」～地域と生徒の交流ひろば～を開催した。中山中の生徒、保護者、教員、地域の方なら誰でも参加可能として、1階の「会議室」と「PTA杉の沢会室」を開放して、フリードリンクの飲み物を飲んだり、おしゃべりをしたり、ゲームをしたり、思い思いに楽しみ交流することができた。当日は、生徒、地域の方や保護者など100名以上が参加した。



実施後の感想では生徒も大人も「楽しかった」「また開催してほしい」という声がたくさん寄せられた。3月末に「中山お話しサロン『風』」のプレ開催を行った。今後どのように開催していくか、時期や回数、内容などをさらに検討していく。



## ■令和6年度の運営目標

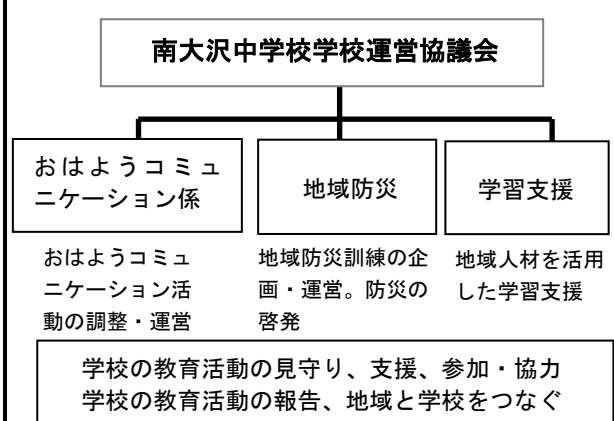
## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

- ・地域の活力を活かした学校づくり
- ・地域の学校としての南大沢中学校づくりの推進
- ・学校運営協議会の活動を通じた学校教育の充実
- ・学校ボランティアや学校サポーター、学生ボランティア等人材の確保
- ・小中一貫教育南大沢中学校グループでの共同活動を促進

### ○教育活動に係る支援

- ・学校の教育計画に基づいた学習活動・校外活動の推進



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

- ・地域の生徒・家庭支援活動と学校の活動をつなぐ役割をめざし、学校運営協議会での提案・協議をし、地域と学校が一体となり、地域を担う生徒の育成を促進した。
- ・月1回実施 18時30分から19時30分で開催（年8回開催）
- ・年3回は小中一貫教育南大沢中学校グループ（南大沢中学校、柏木小学校、南大沢小学校）で合同開催

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

- ・個別最適な支援をめざし、学校運営協議会で作成した教材等を使用しながら大学生等地域人材を活用し、放課後に補習や学習支援に取り組んだ。
- ・地域防災の担い手を育成するため、保護者・地域と協力し、地域防災の体験型の学習を支援した。
- ・学校と地域のつながりを深めるため、挨拶運動である「おはコミ」（おはようコミュニケーション）を行った。
- ・小中一貫教育南大沢中学校グループ校の地域の方を招き、講演会や給食試食会等、地域の方の交流の場を提供した。
- ・コミュニティ・スクール通信を小中一貫教育南大沢中学校グループ校3校合同で作成して、地域の方に様々な情報を発信した。
- ・小中一貫教育南大沢中学校グループの小学校から小学生を招いたり、中学生が小学校に行ったりすることで南大沢中学校での生活に憧れを抱いて入学する生徒を増やす取組の手伝いをした。



小中一貫教育グループ校の地域の方々を招いた給食試食会

### ○活動の特徴

- ・各係は小中一貫教育南大沢中学校グループ3校で連携し活動を行った。
- ・小中一貫教育南大沢中学校グループ3校合同の学校運営協議会の開催を定期的実施した。

### ○特記事項

「南大沢地域自主防災協議会」、「青少年対策南大沢地区委員会」と連携し防災教育を推進した。

### ○令和6年度的主要協議事項

- ・小中一貫教育南大沢中学校グループで協働した教育活動について
- ・入学希望者を増やすための魅力ある南大沢中学校の発信について

## ■令和6年度の運営目標

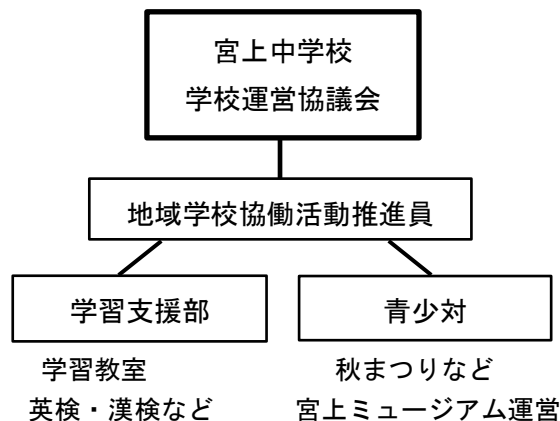
### ○学校運営に係る協議

- ・校長の作成する学校経営計画の承認
- ・学校運営に関する課題の共有と意見・提案
- ・教職員の任用に関する意見
- ・地域への広報活動

### ○教育活動に係る支援

- ・地域への広報活動 地域連携活動の推進と学校協力人材導入
- ・生徒の学習支援策の具体化と実行
- ・英検・漢検の地域共同実施
- ・その他教育活動全般への支援

## ■運営体制



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○土曜学習教室

平成26年から、定期考査準備期間の土曜日午前中に教室を開放して学習教室を運営している。生徒は自主的に出欠を届け出る。教室の運営はPTA学習支援部が行っており、毎回2～4名程度の学生ボランティアが学習補助を行っている。学生ボランティアは地域の大学生ボランティアや教育実習生、インターンシップ経験者等をお願いしている。

参加者一人ひとりが静かな空間で、学習に集中できる環境を提供している。令和6年度は6月、9月、11月、2月に実施し、毎回15名程度が参加した。



### ○漢字検定、英語検定

漢字検定や英語検定を、宮上小学校及び下柚木小学校と合同実施している。

漢字検定は小学校の学校運営協議会が運営し、中学生が小学校へ行き、小学生と一緒に受検している。英語検定、漢字検定は中学校のPTA学習支援部と学校運営協議会が運営し、小学生も中学校に来て一緒に受検している。令和6年度は10月に実施した。

### ○秋祭り

毎年秋には青少年対策委員会と連携し、宮上中学校を会場として宮上・下柚木地区の秋祭りを開催している。学校運営協議会が中心になって運営し、生徒会や部活動もボランティア等で運営を支えている。出店や舞台発表等が行われ、地域の方が数多く訪れるイベントとなっている。令和6年度は10月26日(土)に開催した。



## ■令和6年度の運営目標

## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

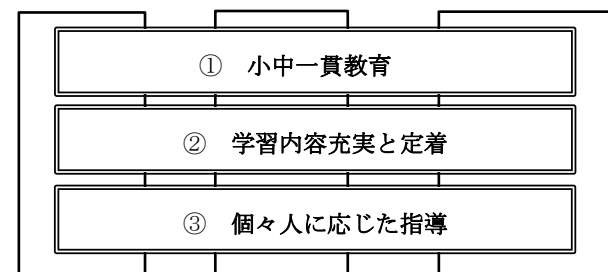
別所中学校の状況を把握し、学校経営計画の中長期3本柱「(1)小中一貫教育(2)学習内容の充実と定着(3)個々人に応じた指導」について、支援内容の現状確認、今後どのような支援が求められるか?どのような支援が可能か?を協議し決定する。

### ○教育活動に係る支援

上記「(1)小中一貫教育(2)学習内容の充実と定着(3)個々人に応じた指導」について、学校運営協議会委員の中から各々とりまとめ担当を決定し、地域組織(別所シニア・学校支援チーム(世話人会))と協働し、支援活動を実践する。

【学校・教師】 【学校運営協議会】 【学校支援地域スタッフ】

(30名規模) (10名定員) (R6年度末40名規模)



## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○小中一貫教育

- ・これまで個別の活動として実施してきた、小学校児童と中学校生徒との連携活動を、令和5年度から、中長期の経営計画の柱の一つとしての位置づけ、令和6年度も加速拡大した。
- ・これまで学校中心で実施してきた小中一貫教育の日に学校コーディネーターが参画し、より広い参加者(児童・生徒)での計画を立案した。
- ・中学校合唱コンクールの小学校での披露など、6つの小中合同の活動を実施した。



小中一貫・小学校訪問

### ○学習内容充実と定着

別所中学校の教育現場での重要課題と認識されている生徒の『学力の2極化』に対し、躓きのある生徒に対する『個別指導』を基本とする学習支援を実施した。

- ・夏休み学習支援(参加生徒数70名)
- ・試験前学習支援(同40名)

加えて、授業では聞けない独自・固有の疑問を持つ生徒に対しても、丁寧に対応出来ており、別所中学校が目指す『誰一人取り残すことのない公正に個別化された学びができる』学校像の実現のための『基本的な取り組み』と位置づけて実施した。



学習支援・試験前学習支援

### ○個々人に応じた指導

学運協として、特別支援学級の生徒のサポートを実施している。令和5年度からは、更に一歩進んだ不登校生徒に対するアウトリーチの支援を立ち上げていくための第一段階として、不登校生徒の親の会『いちよう葉フィーカ』を設立。令和6年度には茶話会計2回、講話会計2回を実施した。今後も活動を継続する。また不登校生徒個々人に対する支援については、地域の学習教室の講師も加わり、立案・実施していく。

また、秋葉台小・別所小5・6年生と別所中の保護者を対象とした茶話会と講話会も実施した。茶話会では子育てに関する悩み、不安を情報共有してイメージをつけてもらい、講話会では、子どもの自己肯定感を上げる話術などを中心に行っている。

### ○地域に潜在する人材の積極的な発掘と組織化

地区の諸団地、近隣のスーパーへの募集広報などを通し、積極的に募集し、約40名の多彩かつ有能な講師陣で構成する地域学校協働活動グループを実現した。今後、新たに『英検一次試験の別所中準会場での実施、二次試験支援』に向けて、組織・担当の最適化、『部活の地域移行』に向けての人材発掘および分担の最適化・組織構築を進める。



### 令和6年度の運営目標

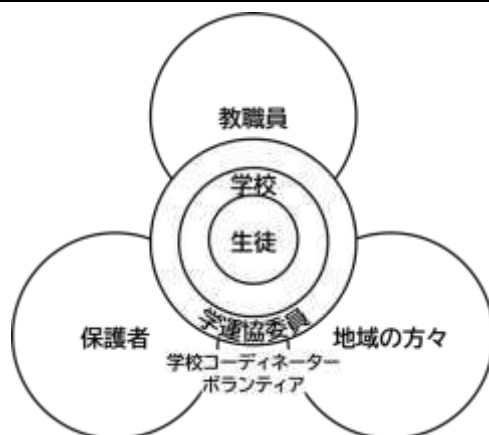
#### ○学校運営に係る協議

- ・保護者や地域の住民に対し、部活動の地域移行など学校への一層の理解や協力を求めるために協議・運営を行う。
- ・小中一貫教育を念頭に、愛宕小学校・上柚木小学校とともに学校運営協議会としても3校で連携を図る。

#### ○教育活動に係る支援

- ・生徒と教員の健康・安全を第一に考えつつ、ポストコロナを見据え、生徒の学力向上、健全育成を目指して、教員・生徒とも協力しながら支援する。

### 運営体制



### 令和6年度の特徴ある取組

#### ○学校運営協議会での協議に関すること

- ・教育活動に係る支援に関する協議  
修学旅行先、30周年記念卒業生祝辞動画作成、放課後カフェ、キャリア教育などについて学校と協議。
- ・教育活動に係る支援および地域との連携に関する協議  
英検準会場実施の受験可能者や運営体制などを小学校学運協と協議。
- ・地域との連携に関する協議  
部活動地域移行、令和4年度開設のコミュニティガーデンなどを学校と協議。

#### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

##### ・放課後カフェ開催

先生からの提案や市から学校への依頼に基づき、生徒たちが安心して居場所を確保するために、本校生徒を対象に「上柚木中 放課後カフェ」を開催。地域からも物資支援や当日の話し相手や遊び相手として協力いただき、生徒と地域との交流増加、生徒の校内外での安心につながる。好評のため、令和6年度は年4回開催した。

##### ・小学校学運協と英検準会場共同実施

令和4年度まで本校生徒を対象に漢検・英検を準会場実施。学校および地域小学校学運協との熟議の上、令和5年度より愛宕・上柚木両小学校児童の本校での英検準会場受験を開始し令和6年度も開催。

生徒・児童の学習意欲向上に加え、小中一貫教育の一層の実現に向け、準会場共同運営を介した3校学運協の連携が促進された。

##### ・コミュニティガーデン(愛称レインボーゲートガーデン)運営

地域に開かれた花があふれる学校として、コミュニティガーデン(地域・生徒と愛称決定)を運営。毎月2回の花壇整備だけでなく、市グリーンアドバイザーを講師に招き、タネだんごやスワッグ作りなど、生徒や保護者、小学生も参加できる活動を開催し、生徒と地域との交流も増加した。



上柚木中 放課後カフェ



生徒・児童が同時に英検受験



レインボーゲートガーデン

## ■令和6年度の運営目標

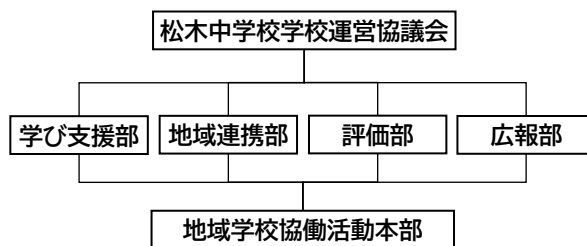
## ■運営体制

### ○学校運営に係る協議

創立 30 周年を機に、学校運営に対して適切な提言ができる体制を維持する。特に教育課程や学校評価の体制を丁寧に審議する。生徒会・教職員・保護者との意見交換の機会を設け、学校運営の参考として、「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。

### ○教育活動に係る支援

中期目標の実現に向け、生徒が自主性をもって、地域貢献の機会を増やす。学習支援や居場所づくりでも生徒の主体性を重視し、地域とのつながりの再構築を目指す。学校運営協議会を起点に、学校・地域・保護者が連携し、「誰一人取り残されない」地域社会の実現を目指す。



○協議会内に「学び支援」「地域連携」「評価」「広報」の4部会を設置し、活動を分担して推進。松木小、長池小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会・3校合同地域学校協働活動も展開する。

## ■令和6年度の特徴ある取組

### ○学校運営協議会での協議に関すること

- ① 毎年9月には、全教職員と協議会委員が個別に話し合う場を設け、課題を共有している。生徒会との意見交換、教員との意見交換も実施した。
- ② 毎月の校内報告、教職員との面談、授業観察、学校評価などを通して課題を話し合い、教育課程の検討につなげた。

### ○教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関すること

子ども達と地域の大人や卒業生との接する機会を増やし、多様な体験や地域貢献をする場を提供することを目的に企画を進めた。自己有用感を高め、社会性の育成につながることを目標としている。

#### ① 浄瑠璃祭り

11月16日に第10回を開催し、約1700名が参加した。中学生は、部活動発表やステージ発表に加えて、スタッフとして模擬店に参加した。小学生も「ながいけ太鼓」と「まつぎマンガクラブ」が発表に参加した。スタッフに卒業生（社会人、高校生、大学生）の参加もあり、地域のつながりも生まれる大切な行事である。



書道部パフォーマンス



中学生スタッフ

#### ② 英語検定・漢字検定・数学検定

各検定とも年1回ずつ学校を準会場として、地域支援スタッフ・地域講師の力をお借りして開催している。英検では、2次面接試験対策の練習会も実施した。

#### ③ 放課後学習教室

10月～2月の間に毎週2回、生徒の自習を地域の大学生ボランティア、シニア、保護者などが見守り、質問を受ける形で実施した。大学生は少し先の未来を考えるためにもとても大切な存在である。

#### ④ 子どもの居場所

##### Third place めくめく・だがしや

地域の子供達達が自由に過ごせる居場所として、「だがしやさん」を自治会館や町会の会館をお借りし、3校合同学校運営協議会で開設した。学期に2回程度実施しており、毎回10～30名ほどの子どもが楽しんでいる。

#### ⑤ あさかぜ Fika/みどりの会

保護者にも交流しておしゃべりを楽しんでもらいたいとの思いから、あさかぜ Fika を、不登校などの悩みを話せる場所としてみどりの会を開催した。

#### ⑥ 放課後カフェ なないろ

ほぼ毎月1回、生徒の交流の場所になるように、自由にお茶を飲みながら、ボードゲームや雑談をする場所を提供した。毎回約60名前後の参加があった。中学生は意外におしゃべりをする機会がなく、開催を待っている生徒もいる。



放課後カフェ なないろ



## 令和6年度の運営目標

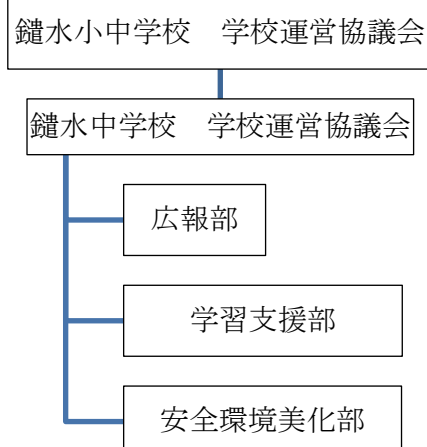
### ○学校運営に係る協議

- ・「鏈水中学校グループで育てたい児童生徒像」について意見交換する。
- ・「ルールメイキング（校則改定の取り組み）」で生徒が教員や保護者等と対話しながらルールを見直していく活動を支援する。

### ○教育活動に係る支援

- ・不登校生徒や子育てに悩みを抱える保護者の支援や教員と保護者、保護者間の交流を推進する。
- ・学校・地域の環境美化を図り、「鏈水中学校 2020 レガシー」に基づき、生徒のボランティアマインドを育成する。

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○生徒の当事者意識をもって行動する力や社会参画への意識を高めるために

#### ～「認定 NPO 法人カタリバ ルールメイキング講座」の実施～



↑「対話」のワークショップ

←講演会の様子

#### 「対話」を通じて納得解をつくるためのポイント

- ▶ 相手の意見をまずは否定せずに受け入れる
- ▶ なぜと問いかけ、意見の背景を知る
- ▶ お互いの意見の共通点を探す
- ▶ AorB ではなく、 $A \times B = C$  をつくる

↑「対話を通して納得解をつくるためのポイント」

令和6年6月8日（土）に認定NPO法人カタリバの浜田美貴さんを講師に招き、生徒・保護者・地域住民を対象に「ルールメイキング講座」を実施した。講演会では、生活のきまり（校則）の改訂を検討するにあたって、「ルールが必要な理由」や意見が対立したときに大切な「対話を通して納得解をつくるためのポイント」について、ワークショップを通して学んだ。参加した保護者・地域住民からは「ルールを決めたり変えたりする場面だけでなく、家庭でも対話を通して子どもたちと接することが大切だと思いました。」等の感想が聞かれた。

### ○不登校生徒や子育てに悩みを抱える保護者の支援や教員と保護者、保護者間の交流の推進

#### ～「フィーカ@鏈水中学校」と「鏈水中カフェ」の実施～

##### 【フィーカ@鏈水中学校】

「フィーカ」とは北欧の生活習慣で、お茶を飲みながら、ゆっくりくつろいでおしゃべりをして過ごすこと。「フィーカ@鏈水中学校」では、金山滋美様（松木中学校学校運営協議会長）をファシリテーターとして招き、茶話会形式によるリラックスした雰囲気の中で参加者とコミュニケーションを図り、参加者（保護者）の心理的負担を軽減させた。

令和6年度は4回実施。お父さんも一緒に子育ての悩みをおしゃべりすることができた。

##### 【鏈水中カフェ】

学校と保護者や地域にお住まいの方が交流する場として、学校公開日の土曜日、「鏈水中カフェ」を開催した。コーヒーを片手に、学校のことや、学習のこと等、日頃気になっていることを気軽にしゃべりできた。



←鏈水中カフェの様子と  
鏈水中カフェで珈琲を淹れる本校生徒（2年生）



## 令和6年度の運営目標

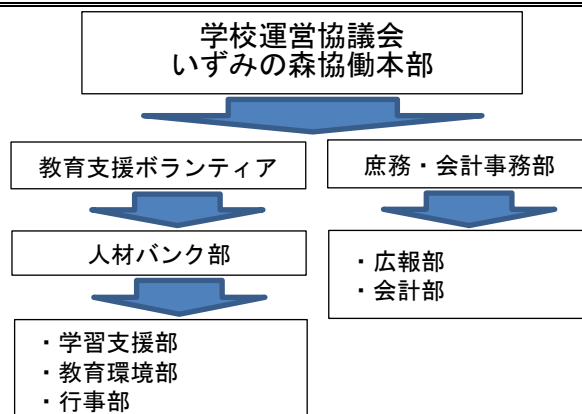
### ○学校運営に係る協議

- ・教育目標「創造～知の創造～、共生～人・自然・文化の共生～、健康～健康・鍛錬・耐性～」を学校、家庭、地域の協働により実現
- ・学校運営協議会の協議と協働本部の取組・活動を相互に関連付け、地域とともにある学校を実現

### ○教育活動に係る支援

- ・複合施設の効果的な活用の検討及び実施
- ・地域人材の活用による幅広い教育活動の検討及び実施

## 運営体制



## 令和6年度の特徴ある取組

### ○地域とともにある学校づくりの推進

- ・地域との連携を深めていく上での課題や今後の取組についての協議
- ・学校運営協議会及びいずみの森協働本部の役割についての協議
- ・学校複合施設としての活動の企画・調整・運営についての協議

### ○教育課程編成及び学校複合施設としての活動の企画・調整・運営についての在り方を検討

- ・道徳授業地区公開講座（学校公開）を「自分と地域を大切にする日」と位置付け、地域や保護者の方に本校の道徳教育や安全教育を知っていただくとともに、命の大切さや地域でつながることの大切さを考える機会とした。中でも、第3学年、第5学年、第8学年が、各町会、八王子市防災課、消防署、青少対防災教室と連携した防災教室を実施し、児童・生徒が充実した体験活動を行うことができた。
- ・夏季休業日中にいずみの森サマーフェスタを実施した。在校生・卒業生・保護者・地域の方々を招待して大同窓会をイメージして開催した。当日は、過去の卒業アルバムの展示、縁日風の遊び場等を用意し、大体育館のステージでは在校生によるダンスやPTAの合唱、地域の方々による演目等多数出演があった。令和5年度を大きく上回る参加者だった。
- ・学校図書館関連事業の充実を図った。地域ボランティアによる図書の貸出・返却、蔵書の整理、掲示物の装飾が定着し、読書に親しみやすい環境が保たれている。
- ・青少対と連携した地域美化活動を年2回実施し、地域や児童生徒、保護者等約300人が参加した。
- ・いずみの森協働本部主催によるクリスマスコンサートを開催した。地域の表現団体や、本校の吹奏楽部、和太鼓部、音楽クラブの児童・生徒が出演した。地域住民と児童・生徒が交流する機会となった。
- ・学校、保育園、学童保育所、町会、青少対、PTA、放課後子ども教室等、それぞれの活動や取組を一覧できるコミュニティ・カレンダーを作成した。



### ○地域のボランティアと連携した学習支援

- ・学校と学校コーディネーターでサポートの必要な児童・生徒の情報共有をした上で、学習支援サポーターの時間調整を行い、地域ボランティア等による年間を通じた学習支援を実施した。
- ・学校コーディネーターがキャリア・福祉に関する授業の講師依頼、当日の接遇、謝金手続きを担った。
- ・地域ボランティアによる漢字検定、英語検定、数学検定の運営を実施した。
- ・長期休業時の学習支援として大学生を含む地域ボランティアが活動した。



地域運営学校 活動事例集  
令和6年度（2024年度）版  
令和7年（2025年）7月発行

（発行） 八王子市教育委員会  
（編集） 学校教育部地域教育推進課  
〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号  
TEL 042-620-7403 FAX 042-627-8811  
E-mail [b302300@city.hachioji.tokyo.jp](mailto:b302300@city.hachioji.tokyo.jp)

右の二次元コードから、八王子市  
ホームページ「学校運営協議会の  
運営状況」より活動事例集を確認  
できます。

